

南砺市地域福祉計画のためのアンケート調査 報告書

令和8年2月
南砺市福祉課

目 次

I 調査結果の概要	1
II 市民アンケート調査	
1. アンケート調査の概要	6
2. アンケート調査の結果	7
(1) アンケート回答者	7
(2) 地域との関わりについて	16
(3) 地域福祉に対する考え方と参加意向について	22
(4) 日常生活について	30
(5) 地域活動やボランティアについて	33
(6) 地域福祉にかかわる機関や団体について	39
(7) 地域防災への取り組みについて	48
(8) 制度について	51
(9) 南砺市の地域福祉推進について	59
III 民生委員・児童委員アンケート調査	
1. アンケート調査の概要	66
2. アンケート調査の結果	66
IV 参考資料	
1. 市民アンケート調査票	76
2. 民生委員・児童委員アンケート調査票	94

■調査報告書の見方

1. 調査結果は百分率で表示した。百分率は小数第2位を四捨五入し算出した。従って、合計値が100%にならない場合がある。
2. 1つの質問に対して2つ以上の回答を求めている設問の百分率は、回答数を本調査の回答者数で割った数値である。
3. 図表中に [N] と記してあるのは、分類別各層の対象者総数である。

I 調査結果の概要

1. 調査設計

(1) 市民アンケート

- ・調査対象 : 市内に居住する満18歳以上80歳以下の市民2,000名（無作為抽出）
- ・調査期間 : 令和7年11月
- ・有効回答数 : 901件（回収率 45.1%）
- ・前回（R2）比較 : 配布2,000件、有効回答1,098件（回収率 54.9%）

(2) 民生委員・児童委員アンケート

- ・調査対象 : 市内の民生委員・児童委員および主任児童委員 全員（155名）
- ・調査期間 : 令和7年11月
- ・有効回答数 : 128件（回収率 82.6%）
- ・前回（R2）比較 : 配布155件、有効回答132件（回収率 85.1%）

2. 市民アンケート調査結果

地域コミュニティの希薄化、社会参加の停滞、そして制度認知の不足という3つの側面において、前回調査からの後退傾向がみられた。

(1) 回答者の属性

- ・対象者を80歳以下としたことから、前回調査時と比較し、回答者の世代構成に変化が見られる。
- ・高齢層の減少：70歳以上の回答割合は、前回の40.3%から30.7%（問3）へと約10ポイント低下した。

(2) 地域との関わり：互助機能の低下

近所付き合いの質が変化し、災害時や緊急時に機能する「共助」の基盤が脆弱化

①近所付き合いの程度 (R7問11 / R2問27)

- ・「困ったときにはお互いに助け合う」と回答した割合は、前回の19.4%から15.2%へと4.2ポイント減少した。
- ・一方で、「あいさつをする程度」は32.1%から39.1%へと増加しており、関係性の「希薄化・形式化」が進行している。
- ・「立ち話をする程度」(34.3%)を含めると約7割が何らかの接触を持っているものの、実質的な支援を伴う関係性は縮小傾向にある。

②「地域」の範囲 (R7問10 / R2問26)

- ・身近に感じる地域の範囲として「隣近所」を挙げた割合は20.6%であり、「自治会・町内会」(32.6%)に次ぐ高さとなった。
- ・広域的な「市全域」や「旧町村単位」を地域と捉える意識は希薄であり、生活圏ごとのちいさな支え合いに関心が集中している。

(3) 地域活動への参加：担い手の減少と二極化

ボランティアや地域活動への参加率は低下しており、その背景には世代ごとの阻害要因が存在

①活動への参加状況 (R7問25 / R2問30)

- ・「現在、参加している」割合は、前回の30.9%から25.0%へと5.9ポイント減少した。
- ・「参加したことはなく、今後も参加しない」層は27.2%を占め、活動への無関心層が固定化しつつある。

②参加しない理由 (R7問25-2 / R2問30-2)

- ・現役世代の阻害要因：最大の理由は「忙しく活動する時間がない」で41.6%（前回35.7%）に達し、増加傾向にある。
- ・高齢世代の阻害要因：「体力や健康に自信がない」は27.8%（前回37.5%）であったが、70歳以上に限定すると51.9%がこの理由を挙げており、従来の担い手であった高齢層のリタイアが数値に表れていると考えられる。

(4) 地域福祉機関・制度への認知：周知の課題

社会福祉協議会等の名称認知は一定数あるものの、具体的な支援制度などの認知は不足

①民生委員・児童委員の認知（R7問31）

- ・自分の地区の民生委員について、「誰か知っており、会ったことがある」は35.6%に留まる。
- ・「誰か知らない」が52.6%と半数を超えており、特に18～29歳では88.7%が認知していない。地域福祉の要となる存在が、住民に見えていない現状がある。

②成年後見制度の認知（R7問42 / R2問54）

「どのような制度か知っている」は29.5%、「名前だけ知っている」は32.5%であり、合計した認知度は62.0%である。

前回（認知計52.8%）と比較すると数値上は向上しているが、依然として3割強（31.3%）が「知らない」と回答しており、高齢化率の高い南砺市においては権利擁護の基盤として不安が残る。

③生活困窮者自立支援制度（R7問37）

相談窓口の存在を「知らない」が72.6%に達している。経済的な不安を抱える現役世代が多い（問22で51.8%が回答）にもかかわらず、セーフティネットの情報が届いていない「情報のミスマッチ」が発生している。

(5) 防災と地域福祉：災害時対応への不安

①避難行動要支援者支援制度の認知（R7問34 / R2問50）

- ・災害時に自力避難が困難な人を支援する計画等について、「知らない」と回答した割合は60.4%であった。
- ・前回調査時の「知らない」（74.2%）と比較すれば改善傾向にはあるものの、依然として6割の市民が制度を認識しておらず、共助による避難支援が機能しないリスクが高い。

②災害時の頼り（R7問33）

- ・多くが「家族・親族」（88.1%）を挙げる一方、「近所の人」は35.1%、「民生委員」は3.2%に留まる。家族機能が縮小する中で、公助・共助への信頼構築が必要である。

3. 民生委員・児童委員アンケート調査結果

地域福祉の最前線を担う民生委員・児童委員からは、高齢者支援の負担感と、制度の狭間にある「ひきこもり」等の複合課題への対応が見られる

(1) 活動の実態と負担感

- ・相談内容（問2）：「高齢者福祉」が77.3%を占め、活動の大半が高齢者の見守りに費やされていることがうかがえる。次いで「介護」（22.7%）、「障がい者福祉」（14.1%）と続く。
- ・活動上の悩み（問4）：最大の悩みは「相談にどこまで関わればよいかわからない」（46.9%）であり、役割の境界線の曖昧さが委員の精神的負担となっている。また、「地域行事への参加が多い」（20.3%）といった業務過多も指摘されている。

(2) 潜在化する「ひきこもり」の実態

行政の窓口には届かない、地域に潜在する課題が数値化された。

- ・実態把握数（問7）：市内の民生委員が把握している担当地区内のひきこもり（または疑い）当事者は、合計87名に上る。
- ・属性：40代が最多（26名）、次いで30代（17名）。男性が70名と8割を占める。「8050問題」およびその予備軍が地域に確実に存在している。
- ・支援の壁（問7-3）：
 - 「当事者の存在は把握しているが、相談につなげることが難しい」が38.3%。
 - 「本人が支援を望んでいない」が29.8%。
- ・民生委員による見守りだけでは介入が困難なケースが多く、専門的なアウトリーチ（訪問支援）体制が求められる。

(3) 行政・地域への要望

- ・安心して暮らせるまちづくりのために、市に対して「生活に関する相談窓口の充実と情報提供」（47.7%）を求める声が多い。
- ・活動環境の改善として、「地域住民や団体と協力・連携を図りやすい体制の構築」（49.2%）が挙げられており、個人の努力に依存しない組織的なバックアップ体制が求められている。

4. 調査の総括と地域福祉施策の方向性

- ・本調査から、南砺市の地域福祉は「担い手不足」と「課題の複雑化」という二重の困難に直面していることが明らかとなった。調査を踏まえて次期計画では、特に以下の3点への対応が求められる。

(1) 「ゆるやかな共助」への転換と防災の連動

- ・近所付き合いが「あいさつ程度」に留まる現状（39.1%）を前提とし、無理に親密な関係を求めるのではなく、「災害時には安否確認ができる関係」を現実的な目標とすることが考えられる。認知度が低い「避難行動要支援者名簿」の活用を防災訓練とセットで推進し、顔の見える関係を再構築することが、平時の見守り機能強化にもつながる。

(2) 複合課題（8050問題）に対する専門的アウトリーチの強化

- ・民生・児童委員アンケートによって可視化された「87名のひきこもり当事者」に対し、ボランティアベースの対応には限界が見られる。本人が拒否する場合でも、家族支援からアプローチを開始するなど、時間をかけて関係を構築する専門職の介入体制も必要である。

(3) 参加のハードルを下げる「活動の細分化」

- ・「時間がない」現役世代と「体力がない」高齢世代の双方が参加できるよう、活動の間口を広げる工夫が求められる。従来の「役員」のような重い責任を伴う形ではなく、「除雪のみ」「ゴミ出しのみ」「スマホでの安否確認」といった、タスクを細分化したスポット型のボランティアを募集・登録する仕組みを検討するなど、新たな担い手を発掘すべく参加のハードルを下げる仕組みを工夫していくことが必要である。

II 市民アンケート調査

1. アンケート調査の概要

(1) 調査目的

- ・本調査は、南砺市における「第4期地域福祉計画」の策定に向け、市民の地域福祉に関する意識、生活課題、地域活動への参加状況等を把握し、今後の施策検討の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査項目

- ・地域との関わりについて
- ・地域福祉に対する考え方と参加意向について
- ・日常生活について
- ・地域活動やボランティアについて
- ・地域福祉にかかわる機関や団体について
- ・地域防災への取り組みについて
- ・制度について
- ・南砺市の地域福祉推進について

(3) 調査方法

- ・市内に居住する満18歳以上80歳以下の市民（住民基本台帳より無作為抽出）に対して調査票を郵送
- ・回収は郵送とインターネットによる回答を併用

(4) 調査期間

令和7年11月

(5) 回収結果

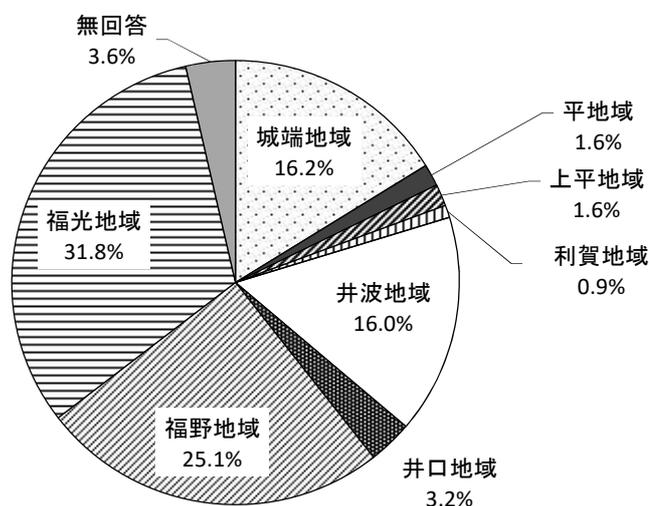
- ・配布数 2,000件
- ・有効回答数 901件(郵送：635件、インターネット：266件)
- ・回収率 45.1%

2. アンケート調査の結果

(1) アンケート回答者

問1. あなたのお住まいの地区はどちらですか。

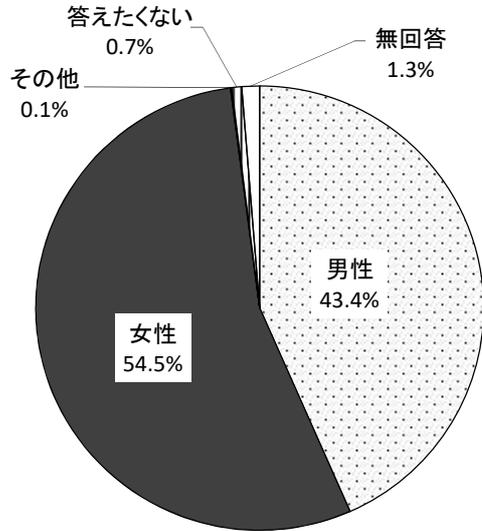
- ・「福光地域」が最も多く31.9%、次いで「福野地域」（25.2%）、「城端地域」（16.2%）、「井波地域」（16.0%）と続く。五箇山地域（平・上平・利賀）は合計で約4.1%であった。



		城端地域	平地域	上平地域	利賀地域	井波地域	井口地域	福野地域	福光地域	無回答
全体	N=901	16.2	1.6	1.6	0.9	16.0	3.2	25.2	31.9	3.6
男女	男性 N=391	17.1	1.0	1.5	0.5	14.3	2.6	25.3	35.3	2.3
	女性 N=491	14.7	2.0	1.6	1.0	17.3	3.9	25.7	30.1	3.7
年齢別	18～29歳 N=62	12.9	1.6	3.2	-	17.7	3.2	24.2	33.9	3.2
	30～39歳 N=83	16.9	1.2	-	1.2	20.5	3.6	24.1	28.9	3.6
	40～49歳 N=122	18.0	3.3	0.8	1.6	17.2	2.5	21.3	33.6	1.6
	50～59歳 N=148	15.5	0.7	2.0	-	15.5	3.4	25.7	29.7	7.4
	60～69歳 N=201	15.9	2.0	1.5	1.0	14.9	3.5	27.4	30.8	3.0
	70歳以上 N=277	16.6	1.1	1.8	1.1	15.2	3.2	26.0	33.9	1.1

問2. あなたの性別をお答えください。

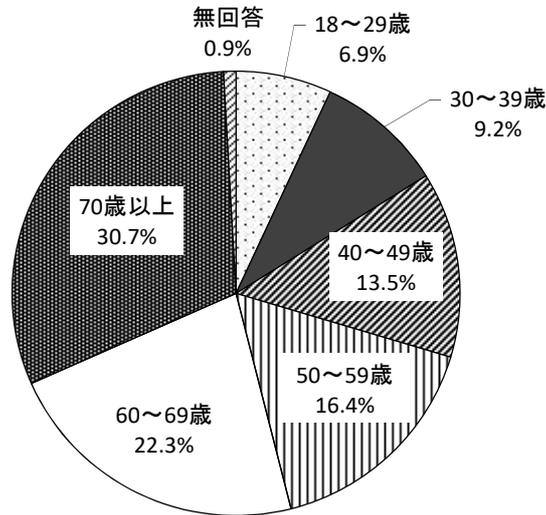
- ・「男性」43.4%、「女性」54.5%であった。



		男性	女性	その他	答えたくない	無回答	
全体	N=901	43.4	54.5	0.1	0.7	1.3	
年齢別	18～29歳	N=62	43.5	56.5	-	-	-
	30～39歳	N=83	44.6	53.0	-	1.2	1.2
	40～49歳	N=122	44.3	54.1	0.8	0.8	-
	50～59歳	N=148	43.9	54.7	-	0.7	0.7
	60～69歳	N=201	38.3	59.7	-	1.0	1.0
	70歳以上	N=277	46.9	51.6	-	0.4	1.1
地域別	城端地域	N=146	45.9	49.3	0.7	2.1	2.1
	平地域	N=14	28.6	71.4	-	-	-
	上平地域	N=14	42.9	57.1	-	-	-
	利賀地域	N=8	25.0	62.5	-	12.5	-
	井波地域	N=144	38.9	59.0	-	-	2.1
	井口地域	N=29	34.5	65.5	-	-	-
	福野地域	N=227	43.6	55.5	-	0.9	-
	福光地域	N=287	48.1	51.6	-	-	0.3

問3. あなたの年齢はおいくつですか。（令和7年11月1日現在）

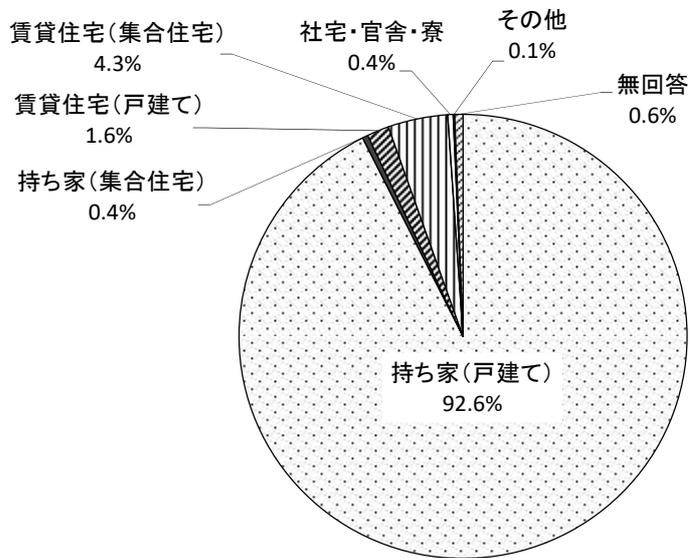
- ・「70歳以上」が30.7%で最多であるが、前回調査（40.3%）と比較して約10ポイント減少した。一方、18歳～59歳の現役世代の割合は約46%を占め、前回（約33%）より増加している。高齢層の回答割合が減少し、現役世代の声が多く反映されている。



		1	3	4	5	6	7	無回答
		8	0	0	0	0	0	
		5	5	5	5	5	歳以上	
		2	3	4	5	6		
		9	9	9	9	9		
		歳	歳	歳	歳	歳		
全体	N=901	6.9	9.2	13.5	16.4	22.3	30.7	0.9
男	男性 N=391	6.9	9.5	13.8	16.6	19.7	33.2	0.3
女	女性 N=491	7.1	9.0	13.4	16.5	24.4	29.1	0.4
地域別	城端地域 N=146	5.5	9.6	15.1	15.8	21.9	31.5	0.7
	平地地域 N=14	7.1	7.1	28.6	7.1	28.6	21.4	-
	上平地域 N=14	14.3	-	7.1	21.4	21.4	35.7	-
	利賀地域 N=8	-	12.5	25.0	-	25.0	37.5	-
	井波地域 N=144	7.6	11.8	14.6	16.0	20.8	29.2	-
	井口地域 N=29	6.9	10.3	10.3	17.2	24.1	31.0	-
	福野地域 N=227	6.6	8.8	11.5	16.7	24.2	31.7	0.4
福光地域 N=287	7.3	8.4	14.3	15.3	21.6	32.8	0.3	

問4. 現在、あなたのお住まいの形態は次のうちどれですか。

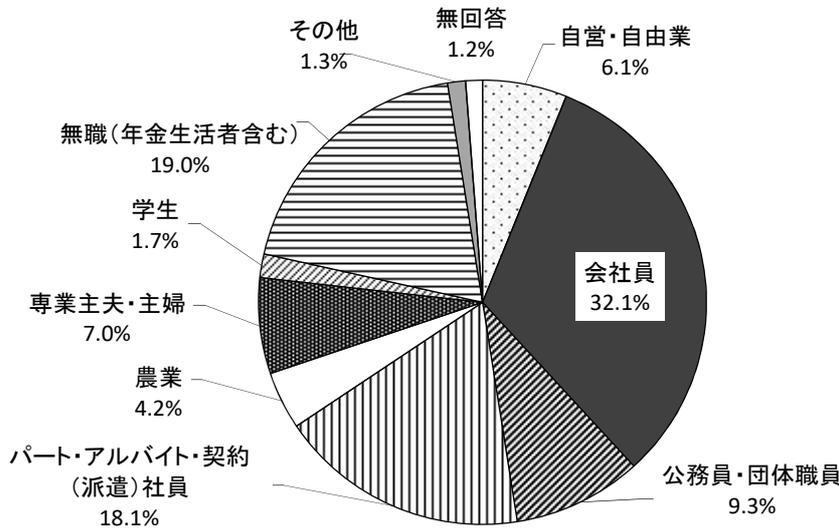
- ・「持ち家（一戸建て）」が92.6%と多数を占めた。



		持ち家 (戸建て)	持ち家 (集合住宅)	賃貸住宅 (戸建て)	賃貸住宅 (集合住宅)	社宅・官舎・寮	その他	無回答	
全体		N=901	92.6	0.4	1.6	4.3	0.4	0.1	0.6
男女	男性	N=391	92.6	0.3	1.5	4.9	0.5	0.3	-
	女性	N=491	93.5	0.6	1.6	3.9	0.4	-	-
年齢別	18～29歳	N=62	87.1	-	6.5	4.8	1.6	-	-
	30～39歳	N=83	88.0	-	1.2	8.4	2.4	-	-
	40～49歳	N=122	88.5	1.6	0.8	7.4	0.8	0.8	-
	50～59歳	N=148	91.9	-	2.7	5.4	-	-	-
	60～69歳	N=201	95.5	-	1.0	3.5	-	-	-
	70歳以上	N=277	96.8	0.7	0.7	1.8	-	-	-
地域別	城端地域	N=146	93.8	0.7	2.7	2.7	-	-	-
	平地域	N=14	85.7	-	7.1	7.1	-	-	-
	上平地域	N=14	100	-	-	-	-	-	-
	利賀地域	N=8	100	-	-	-	-	-	-
	井波地域	N=144	95.1	-	2.1	1.4	1.4	-	-
	井口地域	N=29	100	-	-	-	-	-	-
	福野地域	N=227	91.2	0.9	1.3	6.6	-	-	-
	福光地域	N=287	92.7	-	1.0	5.2	0.7	0.3	-

問5. あなたのご職業は何ですか。

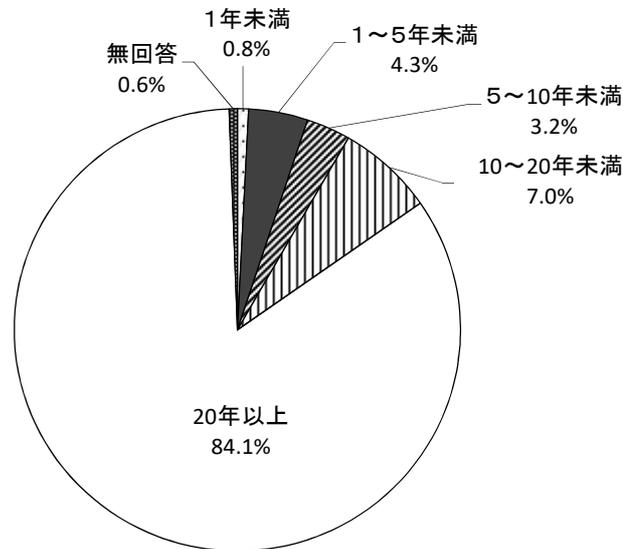
- ・「会社員」が32.1%で最も多く、次いで「無職（年金生活者含む）」が19.0%、「パート・アルバイト」が18.1%であった。回答者の若返りに伴い、「会社員」の割合が前回（25.1%）から約7ポイント増加した。



		自営・自由業	会社員	公務員・団体職員	パート・アルバイト・契約社員	農業	専業主夫・主婦	学生	無職（年金生活者含む）	その他	無回答
全体	N=901	6.1	32.1	9.3	18.1	4.2	7.0	1.7	19.0	1.3	1.2
男女	男性 N=391	7.7	40.9	9.2	9.2	7.9	-	1.8	20.7	1.8	0.8
	女性 N=491	4.5	25.3	9.4	25.5	1.0	12.4	1.6	17.7	1.0	1.6
年齢別	18～29歳 N=62	1.6	50.0	16.1	4.8	-	-	24.2	1.6	-	1.6
	30～39歳 N=83	2.4	48.2	22.9	22.9	1.2	-	-	-	2.4	-
	40～49歳 N=122	5.7	57.4	12.3	16.4	-	2.5	-	4.1	1.6	-
	50～59歳 N=148	7.4	52.0	14.9	16.9	1.4	2.0	-	1.4	2.0	2.0
	60～69歳 N=201	6.5	28.4	7.0	25.4	3.0	10.4	-	16.9	1.5	1.0
	70歳以上 N=277	6.5	4.3	1.1	15.9	10.5	13.0	-	46.2	0.7	1.8
地域別	城端地域 N=146	6.2	30.1	8.2	18.5	6.2	6.2	2.1	19.2	2.1	1.4
	平地地域 N=14	7.1	28.6	7.1	42.9	-	-	-	7.1	7.1	-
	上平地域 N=14	28.6	14.3	21.4	-	-	7.1	14.3	14.3	-	-
	利賀地域 N=8	12.5	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-	37.5	-	-
	井波地域 N=144	5.6	36.8	7.6	18.1	0.7	7.6	1.4	19.4	2.1	0.7
	井口地域 N=29	6.9	31.0	3.4	31.0	6.9	13.8	-	6.9	-	-
	福野地域 N=227	4.0	33.5	7.9	19.8	3.1	7.0	1.3	20.3	1.8	1.3
福光地域 N=287	6.3	30.7	11.8	15.0	6.3	6.6	1.7	19.5	0.3	1.7	

問6. 南砺市での居住年数は何年ですか。

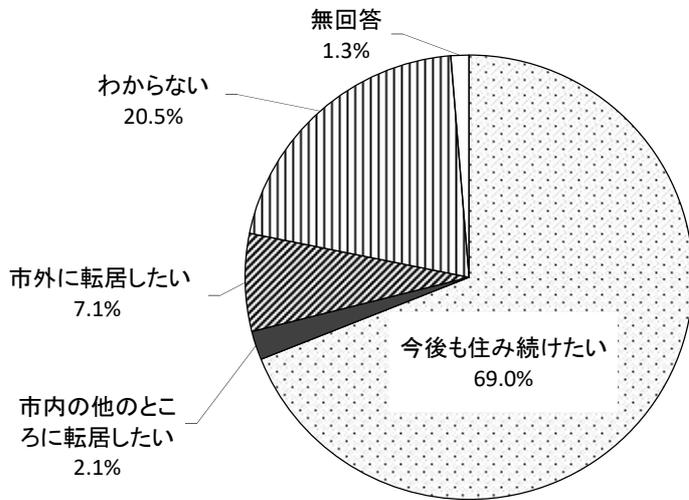
- ・「20年以上」が84.1%に達している。住民の大多数が長期間居住しており、地域の歴史や人間関係を熟知していると考えられる



		1年未満	1~5年未満	5~10年未満	10~20年未満	20年以上	無回答	
全体		N=901	0.8	4.3	3.2	7.0	84.1	0.6
男女	男性	N=391	1.0	4.3	3.3	6.4	84.4	0.5
	女性	N=491	0.6	4.5	3.3	7.5	83.5	0.6
年齢別	18~29歳	N=62	3.2	12.9	6.5	24.2	53.2	-
	30~39歳	N=83	2.4	13.3	3.6	9.6	71.1	-
	40~49歳	N=122	1.6	4.9	9.0	15.6	68.0	0.8
	50~59歳	N=148	-	5.4	2.7	6.8	84.5	0.7
	60~69歳	N=201	0.5	3.0	1.5	1.5	93.5	-
	70歳以上	N=277	-	-	1.4	2.5	94.9	1.1
地域別	城端地域	N=146	1.4	4.1	3.4	6.8	83.6	0.7
	平地域	N=14	-	7.1	7.1	7.1	78.6	-
	上平地域	N=14	-	-	-	-	100	-
	利賀地域	N=8	-	-	12.5	-	87.5	-
	井波地域	N=144	1.4	5.6	2.8	8.3	80.6	1.4
	井口地域	N=29	-	10.3	6.9	-	82.8	-
	福野地域	N=227	-	3.5	3.5	6.6	86.3	-
福光地域	N=287	1.0	3.8	2.8	7.3	84.3	0.7	

問7. 今後も現在のところに住み続けたいと思いますか。

- ・「今後も住み続けたい」は68.9%であったが、前回（74.0%）と比較して5.1ポイント低下した。「わからない」が20.5%を占める。



		今後 も住 み続 けたい	居 し た い の 他 の と こ ろ に 転	市 外 に 転 居 し たい	わ か ら ない	無 回 答	
全体	N=901	68.9	2.1	7.1	20.5	1.3	
男女	男性	N=391	72.4	1.8	5.1	19.4	1.3
	女性	N=491	66.6	2.4	9.0	20.6	1.4
年齢別	18～29歳	N=62	43.5	4.8	19.4	29.0	3.2
	30～39歳	N=83	60.2	4.8	4.8	30.1	-
	40～49歳	N=122	66.4	1.6	12.3	19.7	-
	50～59歳	N=148	64.9	0.7	4.1	29.1	1.4
	60～69歳	N=201	65.7	3.0	8.5	21.9	1.0
	70歳以上	N=277	83.4	1.1	3.6	9.7	2.2
地域別	城端地域	N=146	65.8	1.4	7.5	23.3	2.1
	平地域	N=14	64.3	7.1	-	21.4	7.1
	上平地域	N=14	71.4	-	7.1	21.4	-
	利賀地域	N=8	37.5	-	12.5	50.0	-
	井波地域	N=144	63.2	2.8	8.3	25.0	0.7
	井口地域	N=29	62.1	3.4	3.4	27.6	3.4
	福野地域	N=227	70.9	1.8	7.0	19.4	0.9
福光地域	N=287	72.8	2.4	7.7	16.0	1.0	

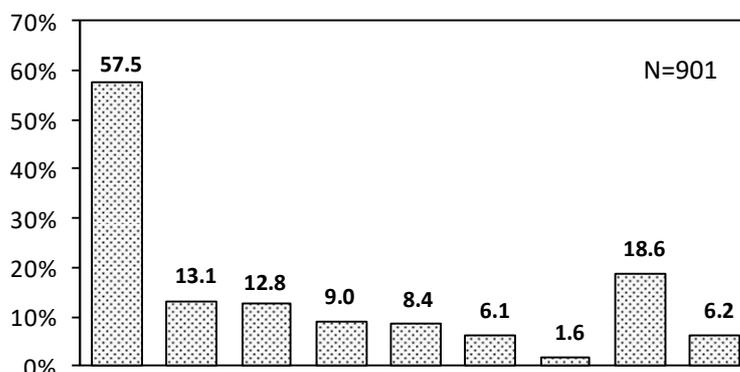
問8. 家族構成は次のうちどれですか。

- ・「二世帯世帯（親と子）」が45.9%で最も多く、次いで「三世帯世帯」が22.2%、「一世代（夫婦のみ等）」が22.3%であった。「単身世帯」は7.7%となっている。「三世帯同居」が前回（28.4%）から約6ポイント減少し、核家族化（二世帯）へのシフトが進行している。

		単身（ひとり暮らし）	第一世代（姉妹のみ、兄弟）	二世帯（親と子など）	三世帯（親と子と孫など）	その他	無回答	
全体	N=901	7.7	22.3	45.9	22.2	1.3	0.6	
男女	男性	N=391	9.5	20.5	46.3	22.3	1.0	0.5
	女性	N=491	6.1	24.0	45.6	22.0	1.6	0.6
年齢別	18～29歳	N=62	3.2	8.1	41.9	45.2	1.6	-
	30～39歳	N=83	4.8	7.2	54.2	28.9	3.6	1.2
	40～49歳	N=122	3.3	7.4	62.3	23.8	3.3	-
	50～59歳	N=148	6.1	14.9	52.7	25.0	0.7	0.7
	60～69歳	N=201	10.9	26.9	45.8	15.9	0.5	-
	70歳以上	N=277	10.1	37.5	33.6	17.0	0.7	1.1
地域別	城端地域	N=146	6.2	21.2	50.7	17.8	3.4	0.7
	平地域	N=14	-	50.0	28.6	14.3	7.1	-
	上平地域	N=14	14.3	35.7	14.3	35.7	-	-
	利賀地域	N=8	12.5	37.5	12.5	37.5	-	-
	井波地域	N=144	11.1	22.2	46.5	18.8	0.7	0.7
	井口地域	N=29	3.4	17.2	44.8	31.0	3.4	-
	福野地域	N=227	7.5	18.5	50.2	23.3	0.4	-
	福光地域	N=287	7.7	23.0	43.9	23.7	1.0	0.7

問9. 同居家族の中にいる方は次のうちどれですか。

- ・「65歳以上の方」がいる世帯が57.5%と過半数を超えている。また、「介護を必要とする方」がいる世帯は9.0%、「障がいのある方」がいる世帯は6.1%であった。
- ・半数以上の世帯が高齢者と同居(または本人)しており、老々介護やダブルケア(育児と介護の同時進行)のリスクを抱える世帯が潜在的にみられる。



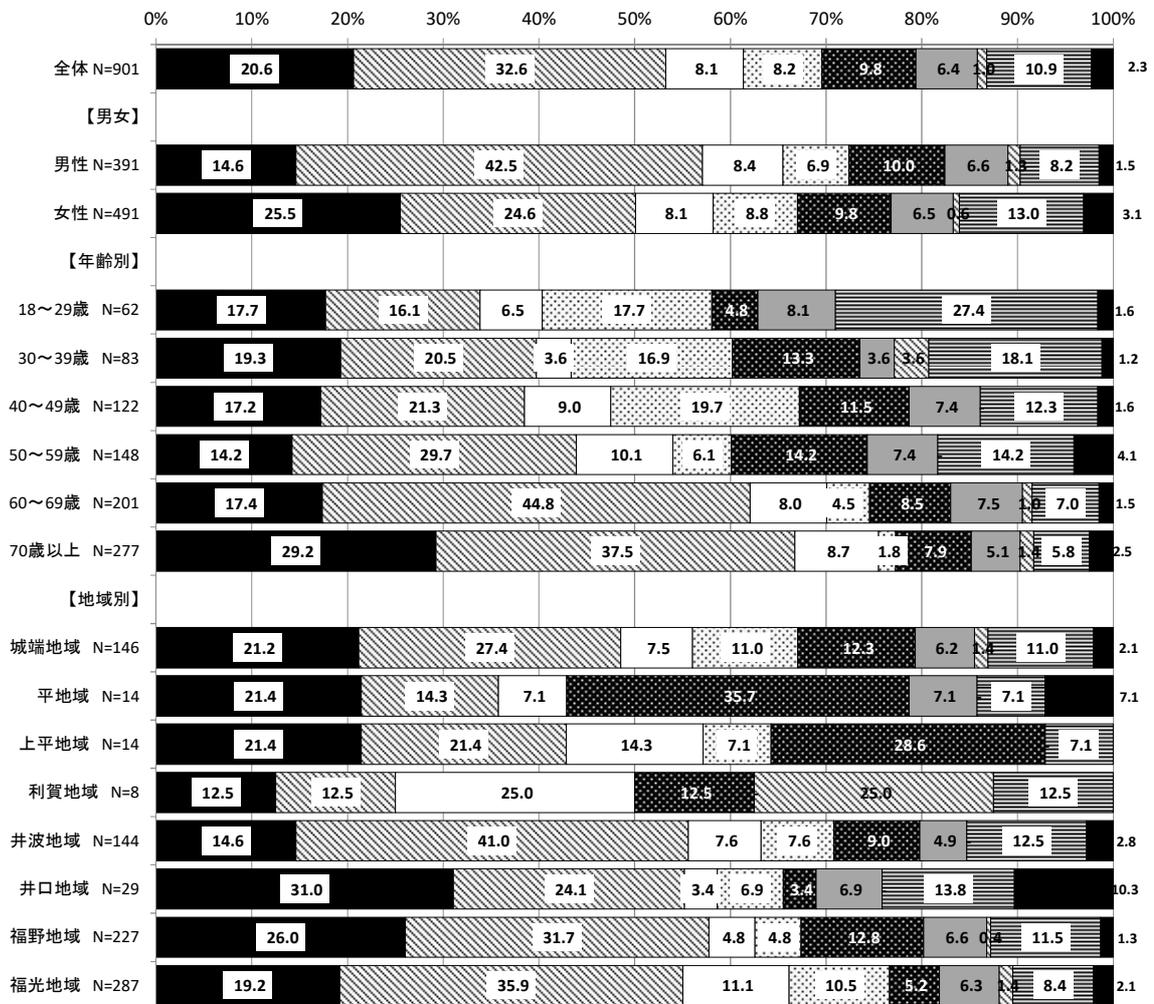
		65歳以上の方	中学生・高校生	小学生	介護を必要とする方	乳児を除く小学校入学前の幼児	障がいのある方	乳児(1歳未満)	いずれもない	無回答	
全体	N=901	57.5	13.1	12.8	9.0	8.4	6.1	1.6	18.6	6.2	
男女	男性	N=391	58.8	13.3	12.3	9.0	8.2	6.9	1.3	20.5	6.1
	女性	N=491	56.4	13.4	13.0	9.2	8.8	5.7	1.8	17.1	5.9
年齢別	18~29歳	N=62	46.8	16.1	6.5	3.2	11.3	1.6	6.5	33.9	-
	30~39歳	N=83	49.4	2.4	32.5	6.0	34.9	8.4	8.4	10.8	1.2
	40~49歳	N=122	49.2	38.5	32.0	5.7	15.6	3.3	1.6	12.3	-
	50~59歳	N=148	60.8	16.2	8.8	6.8	2.7	4.1	-	23.0	3.4
	60~69歳	N=201	62.2	4.0	6.5	13.9	3.5	7.5	0.5	23.9	7.5
	70歳以上	N=277	61.4	9.7	6.5	10.5	3.6	7.9	-	14.1	11.6
地域別	城端地域	N=146	55.5	13.0	13.7	8.9	6.2	3.4	1.4	20.5	5.5
	平地域	N=14	57.1	28.6	21.4	14.3	14.3	14.3	-	21.4	7.1
	上平地域	N=14	64.3	21.4	21.4	-	7.1	-	-	14.3	7.1
	利賀地域	N=8	37.5	12.5	12.5	25.0	25.0	12.5	-	37.5	-
	井波地域	N=144	57.6	9.7	9.7	8.3	11.1	4.9	2.1	20.8	4.9
	井口地域	N=29	65.5	27.6	20.7	13.8	10.3	3.4	-	6.9	6.9
	福野地域	N=227	56.4	14.5	10.6	8.4	9.3	7.5	1.8	19.8	4.0
	福光地域	N=287	59.2	12.2	13.2	10.1	5.9	7.7	1.4	16.7	8.0

(2) 地域との関わりについて

問10. あなたにとって身近に感じられる「地域」の範囲を教えてください。

(○は1つだけ)

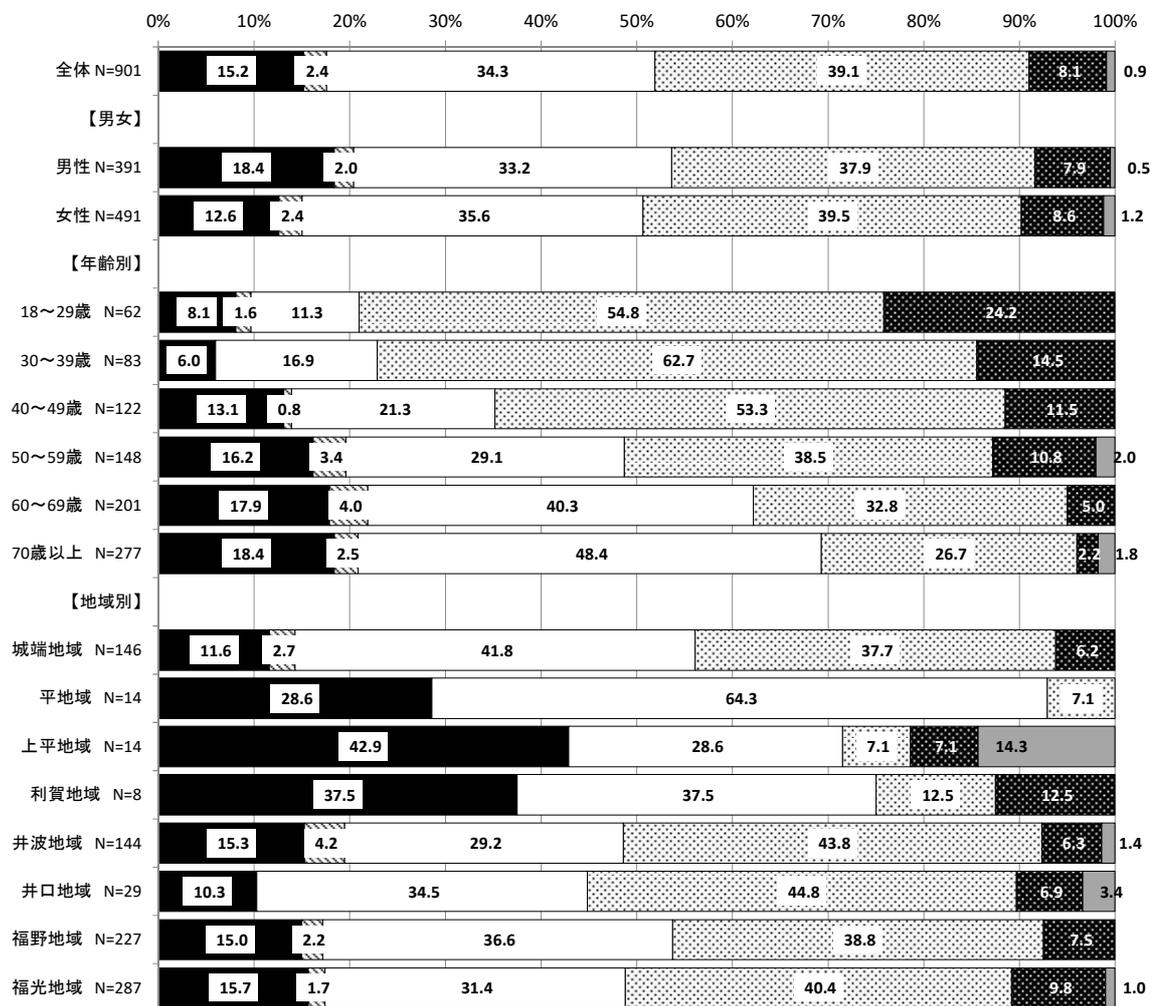
- ・「自治会・町内会」が32.6%で最も高く、次いで「隣近所」が20.6%である。「行政区」や「市全域」といった広域を「地域」と捉える層は少数派である。
- ・男女別に見ると「男性」は「自治会・町内会（42.5%）」を重視する傾向が強く、組織的な枠組みを地域と認識している。「女性」は「隣近所（25.1%）」や「小学校区」など、生活圏・子供の通学圏を地域と捉える傾向が男性よりも高い。
- ・年齢別に見ると「70歳以上」では「隣近所」への意識が高まり、生活範囲の縮小が見られる。
- ・地域別に見ると城端・福野・福光などの市街地では「隣近所」や「自治会」が中心だが、利賀・平・上平地域では「旧町村単位」や「行政区」といった範囲を「地域」と認識している。



■隣近所 □自治会・町内会 □行政区(地域づくり協議会単位) □小学校区・中学校区 ■旧町村単位 ■市全域 □その他 □わからない ■無回答

問11. あなたは、ご近所のお付き合いをどの程度していますか。(○は1つだけ)

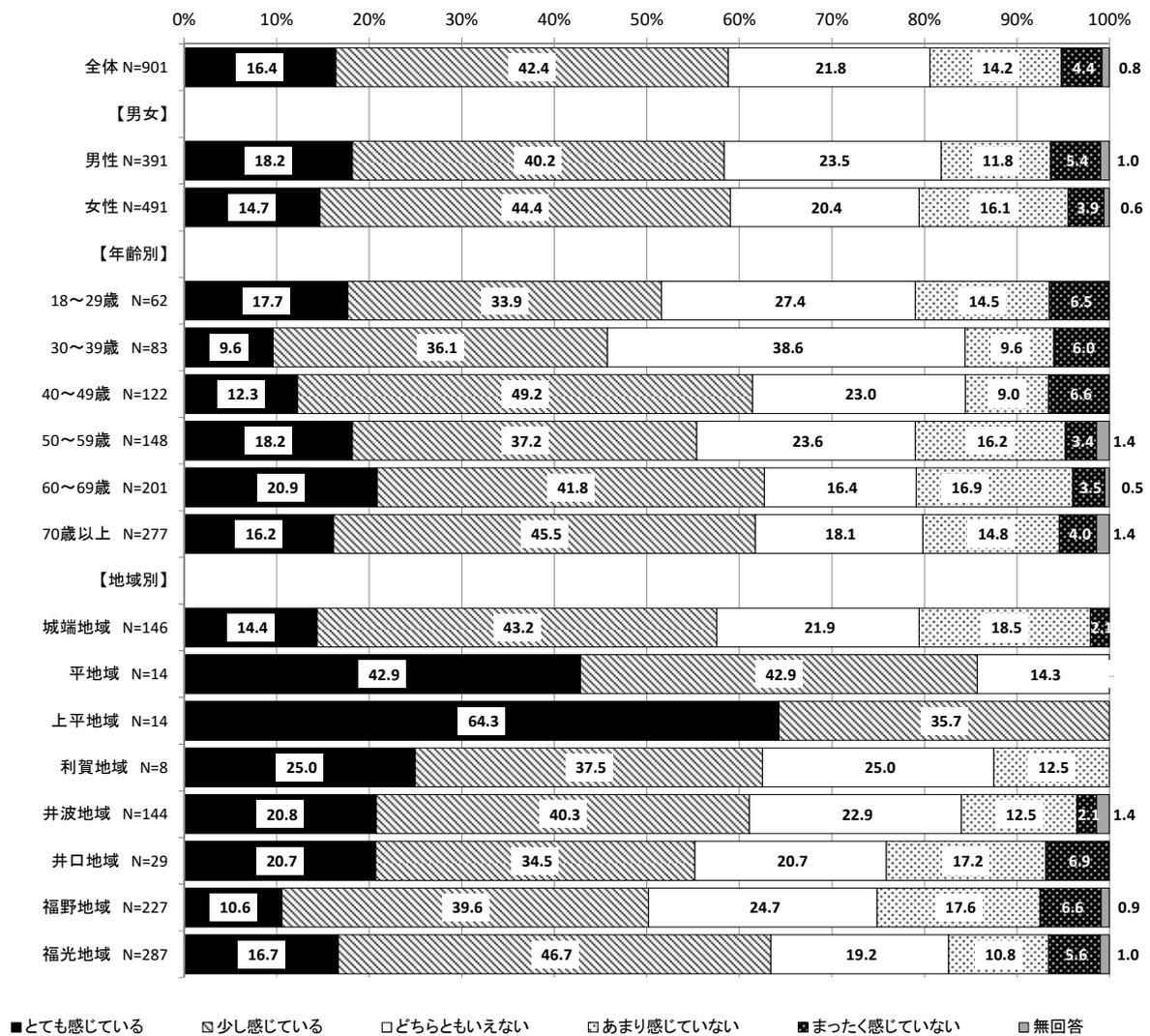
- ・最も多い回答は「あいさつをする程度」が39.1%で最も高く、次いで「会った時には立ち話をする」(34.3%)であった。「困ったときに助け合う」は15.2%であった。
- ・男女別にみると、「困ったときにはお互いに助け合う」において男女差が見られ、「男性」18.4%に対し「女性」は12.6%となっている。
- ・年齢別にみると「会った時には立ち話をする」の回答は、「18～29歳」で11.3%、「70歳以上」で48.4%となり、高齢層ほど付き合いが深い。若年層は「あいさつ程度」が主流である。
- ・地域別にみると、「会った時には立ち話をする」および「助け合う」は、平地域・利賀地域などの山間部で高く、平野部で低い。



■困ったときにはお互いに助け合う □お互いに訪問し合う □会った時には立ち話をする □あいさつをする程度 ■ほとんど付き合いはない □無回答

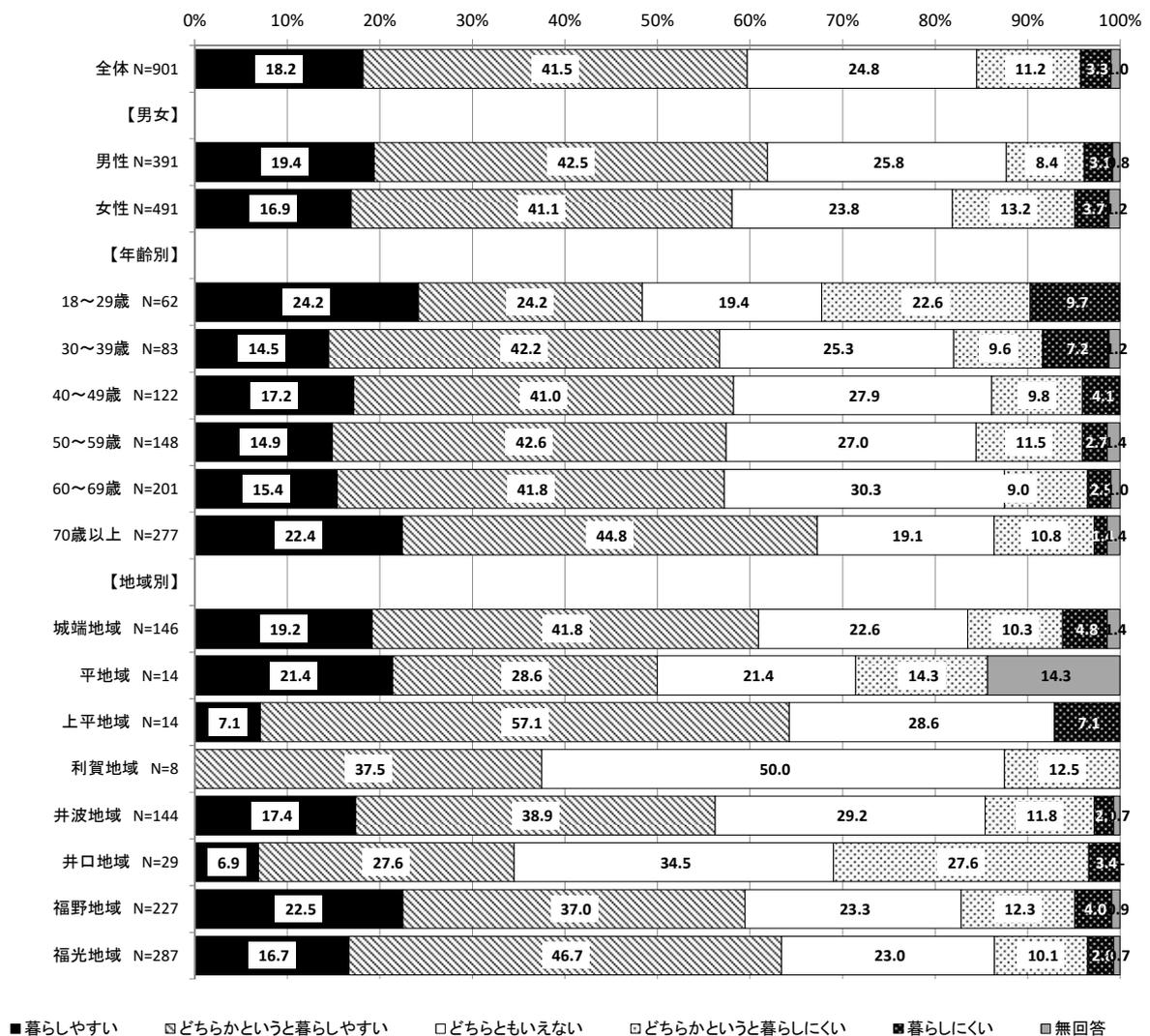
問12. あなたのお住まいの地域では、地域の人々がお互いに支え合い、助け合っていると感じますか。(〇は1つだけ)

- 最も多い回答は「少し感じている」(42.4%)で最も高く、『感じている(「とても感じている」+「少し感じている」)』は58.8%である。『感じていない(「あまり感じていない」+「まったく感じていない」)』は18.6%である。
- 『感じている』は男女間で大きな差はみられない。
- 年齢別にみると『感じている』は「60～69歳」が最も高く62.7%、「30～39歳」が最も低く45.7%となっている。
- 地域別にみると「とても感じている」は、上平地域(64.3%)や平地域(42.9%)で高く、平野部との意識差が大きい。



問13. あなたは、お住まいの地域に暮らしやすさを感じていますか。（○は1つだけ）

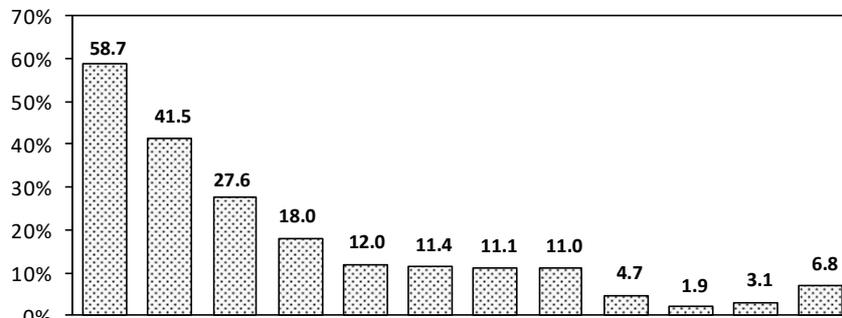
- ・「どちらかという暮らしやすい」が41.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.8%であった。『暮らしやすい(「暮らしやすい」+「どちらかという暮らしやすい」)』は59.7%と6割近い。
- ・男女別にみると『暮らしやすい』は、「男性」が約4ポイント高い。
- ・年齢別にみると、『暮らしやすい』は「18～29歳」で最も低く48.4%、「70歳以上」で最も高く67.2%となっている。最も回答の多い「どちらかという暮らしやすい」について見ると、18～29歳では46.8%、70歳以上では44.8%となっている。
- ・地域別にみると『暮らしやすい』は、「上平地域」、「福光地域」、「城端地域」で6割を超えている。



問14. あなたがお住まいの地域や環境について、どのように感じていますか。

(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください)

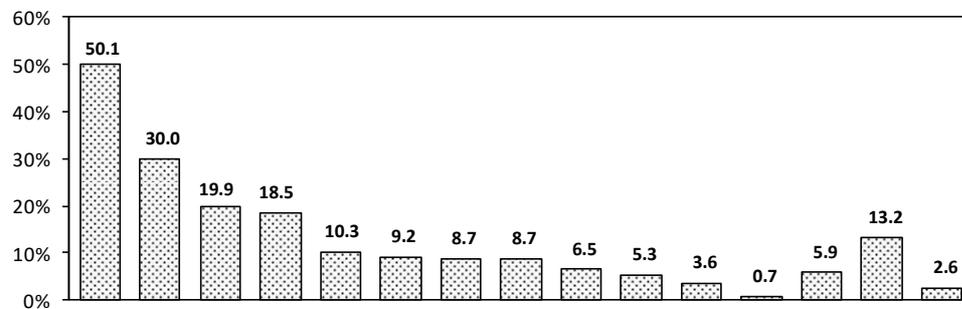
- ・「治安がよく、安心して住める」が58.7%で最も高く、次いで「買い物等の日常生活が便利である」が27.6%であった。
- ・男女別にみると「治安がよく、安心して住める」では「男性」が61.6%に対して「女性」が56.0%と約6ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「治安がよく、安心して住める」は「18～29歳」が71.0%で最も高く、「70歳以上」が53.4%で最も低い。「買い物等の日常生活が便利である」は、『39歳以下』で20%以下と低く、『60歳以上』で30%を超えている。
- ・地域別にみると「地域の助け合いや交流活動が活発である」の割合は、上平地域で最も高く(57.1%)、井口地域で最も低い(10.3%)。



		治安がよく、安心して住める	除雪体制が整っている	買い物等の日常生活が便利である	地域の助け合いや交流活動が活発である	道路や公共交通が充実している	病院や診療所等の医療施設が充実している	発地活動やボランティア活動が活発である	図書館や公民館等の生涯学習施設が充実している	高齢者の憩いの場や施設が充実している	子どもの遊び場や公園が充実している	その他	無回答	
全体	N=901	58.7	41.5	27.6	18.0	12.0	11.4	11.1	11.0	4.7	1.9	3.1	6.8	
男女	男性	N=391	61.6	40.7	29.2	19.7	12.5	12.3	12.0	9.2	3.3	1.5	2.3	5.9
	女性	N=491	56.0	42.2	26.9	16.3	11.8	10.6	10.2	12.6	5.5	2.2	3.9	7.5
年齢別	18～29歳	N=62	71.0	45.2	17.7	22.6	3.2	4.8	-	16.1	4.8	3.2	1.6	9.7
	30～39歳	N=83	59.0	33.7	16.9	13.3	4.8	4.8	8.4	13.3	7.2	1.2	7.2	7.2
	40～49歳	N=122	59.0	40.2	29.5	14.8	14.8	9.8	9.0	12.3	0.8	1.6	1.6	5.7
	50～59歳	N=148	62.2	37.8	28.4	15.5	11.5	5.4	10.8	13.5	2.0	-	4.7	7.4
	60～69歳	N=201	59.2	39.8	30.3	20.4	11.9	11.9	11.9	10.4	3.5	3.0	2.5	4.5
	70歳以上	N=277	53.4	46.9	30.3	19.5	15.5	18.4	14.8	7.6	7.6	2.2	2.5	7.6
地域別	城端地域	N=146	59.6	45.2	30.8	15.1	12.3	10.3	11.0	11.0	5.5	-	2.7	7.5
	平地地域	N=14	50.0	71.4	-	35.7	7.1	-	14.3	-	7.1	-	7.1	14.3
	上平地域	N=14	78.6	78.6	7.1	57.1	14.3	-	14.3	7.1	-	-	7.1	-
	利賀地域	N=8	62.5	62.5	-	37.5	-	-	25.0	12.5	-	-	12.5	12.5
	井波地域	N=144	61.1	30.6	20.1	19.4	6.9	23.6	11.8	9.0	6.3	2.1	3.5	4.9
	井口地域	N=29	62.1	44.8	-	10.3	13.8	-	13.8	-	3.4	-	6.9	17.2
	福野地域	N=227	52.0	47.1	30.0	14.1	16.3	7.0	10.1	12.3	4.8	2.6	2.6	7.5
	福光地域	N=287	60.3	37.3	35.2	19.2	11.8	12.5	11.5	12.2	4.2	2.8	2.4	5.2

問15. あなたがお住まいの地域では、どのような課題・問題があると感じていますか。（あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください）

- ・「地域活動の担い手が不足している」が50.1%で最も高く、次いで「災害時の避難体制が整っていない」が30.0%であった。
- ・「地域活動の担い手が不足している」においては「男性」55.2%に対して「女性」は46.0%と「男性」が約9ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると「地域活動の担い手が不足している」は「60～69歳」が59.7%と最も高く、「30～39歳」が32.5%で最も低い。「30～39歳」では「買い物できる場所が少ない」が42.2%で最も高くなっている。「世代間交流が少ない」は『49歳以下』では10%以下となっている一方、『50歳以上』では20～28%と高くなっている。
- ・地域別にみると「買い物できる場所が少ない」は「上平地域」が85.7%で最も高く、「井口地域」で72.4%とつづく。

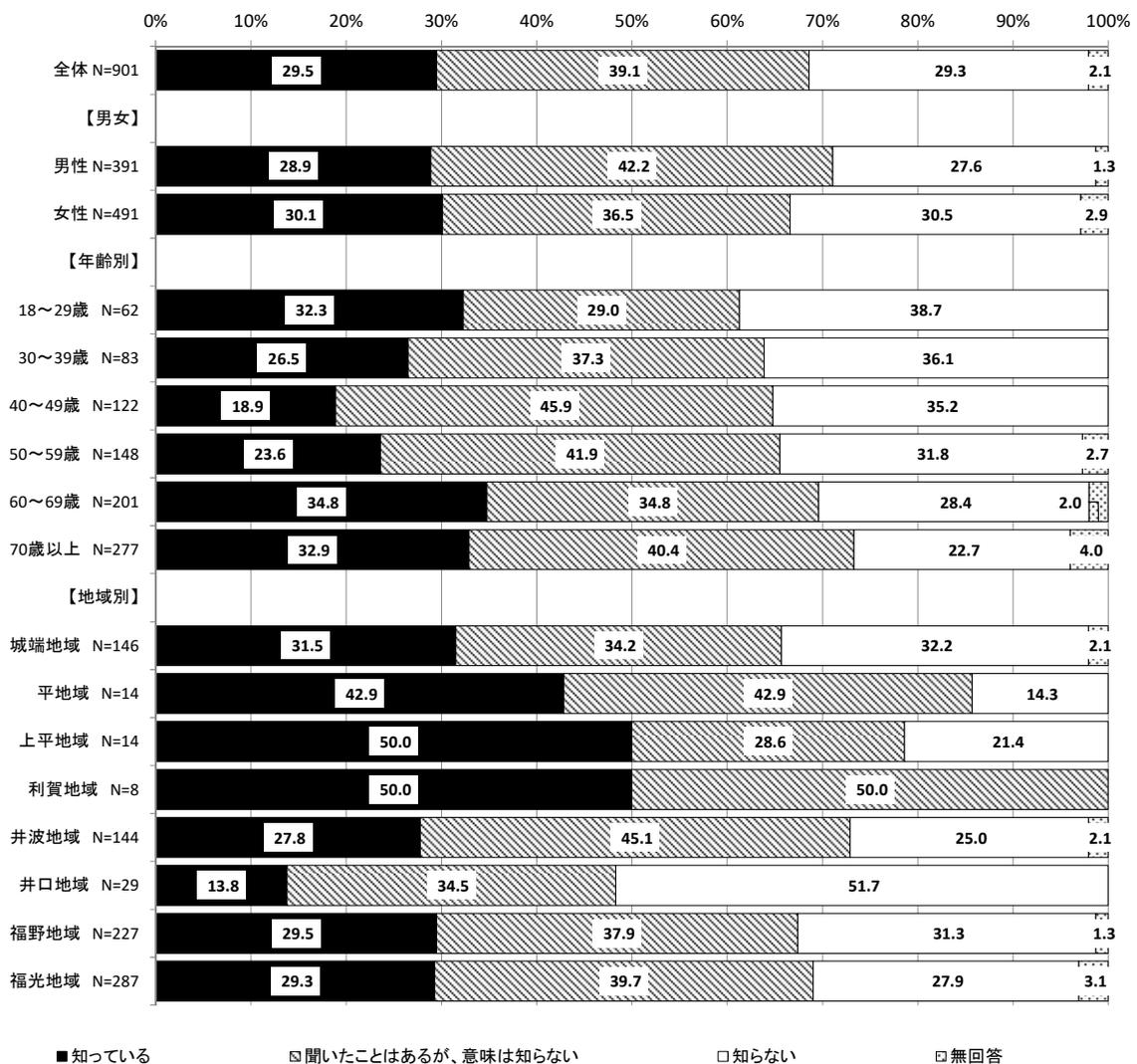


		地域活動の担い手が不足している	買い物できる場所が少ない	世代間交流が少ない	高齢者への支援	子育て世帯への支援	災害時の避難体制が整っていない	地域の交流機会が少ない	道路や歩道が整備されていない	障がいのある方への支援	守られない（他人に干渉され、プライバシーが等）	生活マナーが悪い（ゴミ、騒音）	治安が悪い	その他	特にない	無回答
全体	N=901	50.1	30.0	19.9	18.5	10.3	9.2	8.7	8.7	6.5	5.3	3.6	0.7	5.9	13.2	2.6
男女	男性 N=391	55.2	26.3	22.3	20.5	12.8	11.3	9.0	11.0	6.6	3.3	3.6	0.5	5.9	13.3	1.3
	女性 N=491	46.0	32.6	17.7	16.3	8.1	7.9	8.4	6.5	6.5	7.1	3.7	0.8	6.1	13.4	3.3
年齢別	18～29歳 N=62	45.2	35.5	9.7	12.9	16.1	4.8	9.7	6.5	4.8	8.1	1.6	1.6	4.8	19.4	-
	30～39歳 N=83	32.5	42.2	9.6	10.8	30.1	3.6	2.4	7.2	4.8	7.2	3.6	1.2	8.4	16.9	-
	40～49歳 N=122	48.4	36.1	9.0	15.6	18.0	9.0	6.6	9.8	11.5	10.7	3.3	0.8	12.3	10.7	0.8
	50～59歳 N=148	50.7	34.5	19.6	25.0	7.4	9.5	7.4	10.1	4.7	4.7	2.7	-	7.4	9.5	2.0
	60～69歳 N=201	59.7	26.4	22.9	23.4	5.0	10.4	7.5	8.5	7.5	3.0	5.0	-	4.5	9.5	3.0
	70歳以上 N=277	50.2	22.4	27.8	16.2	4.7	11.2	13.0	8.7	5.8	4.0	3.6	1.1	2.9	17.0	4.3
地域別	城端地域 N=146	52.1	27.4	23.3	21.9	11.6	8.9	8.2	8.2	6.8	6.2	4.8	0.7	7.5	12.3	4.1
	平地域 N=14	57.1	57.1	14.3	7.1	35.7	14.3	14.3	-	14.3	7.1	-	-	-	-	7.1
	上平地域 N=14	85.7	85.7	28.6	14.3	-	-	7.1	7.1	-	7.1	-	-	-	-	-
	利賀地域 N=8	75.0	62.5	12.5	12.5	-	-	12.5	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-
	井波地域 N=144	50.0	31.3	18.8	15.3	12.5	6.3	9.0	2.8	4.2	6.3	3.5	1.4	6.9	13.2	1.4
	井口地域 N=29	41.4	72.4	17.2	10.3	6.9	3.4	10.3	3.4	3.4	3.4	3.4	-	3.4	3.4	3.4
	福野地域 N=227	41.4	29.5	19.8	18.5	8.4	10.6	7.9	12.3	7.9	5.3	3.5	0.4	6.2	15.4	2.2
	福光地域 N=287	55.4	22.0	19.5	19.9	9.8	11.5	9.4	10.1	7.0	4.5	3.8	0.7	5.2	13.2	2.4

(3) 地域福祉に対する考え方と参加意向について

問16. あなたは、地域福祉という言葉や意味を知っていますか。(〇は1つだけ)

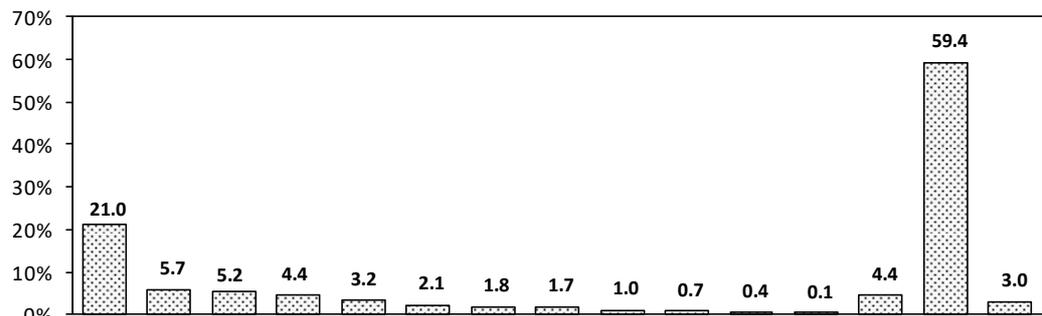
- ・「聞いたことはあるが、意味は知らない」が39.1%で最も高く、次いで「知っている」が29.5%であった。「知らない」は29.3%。(言葉も意味も)「知っている」層は限定的であり、多くは「聞いたことはある」レベルに留まる。行政用語としての「地域福祉」が市民に浸透しきっていない。
- ・男女別にみると「知らない」は、男性27.6%に対し女性30.5%となっている。
- ・年齢別に「知らない」について見ると、「18～29歳」では38.7%、「70歳以上」では22.7%となっており、若年層の認知度が低い。
- ・地域別に「知らない」の割合は、井口地域で最も高く(51.7%)、利賀地域で最も低い。



問17. あなたはお住いの地域でどのような役割を担っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

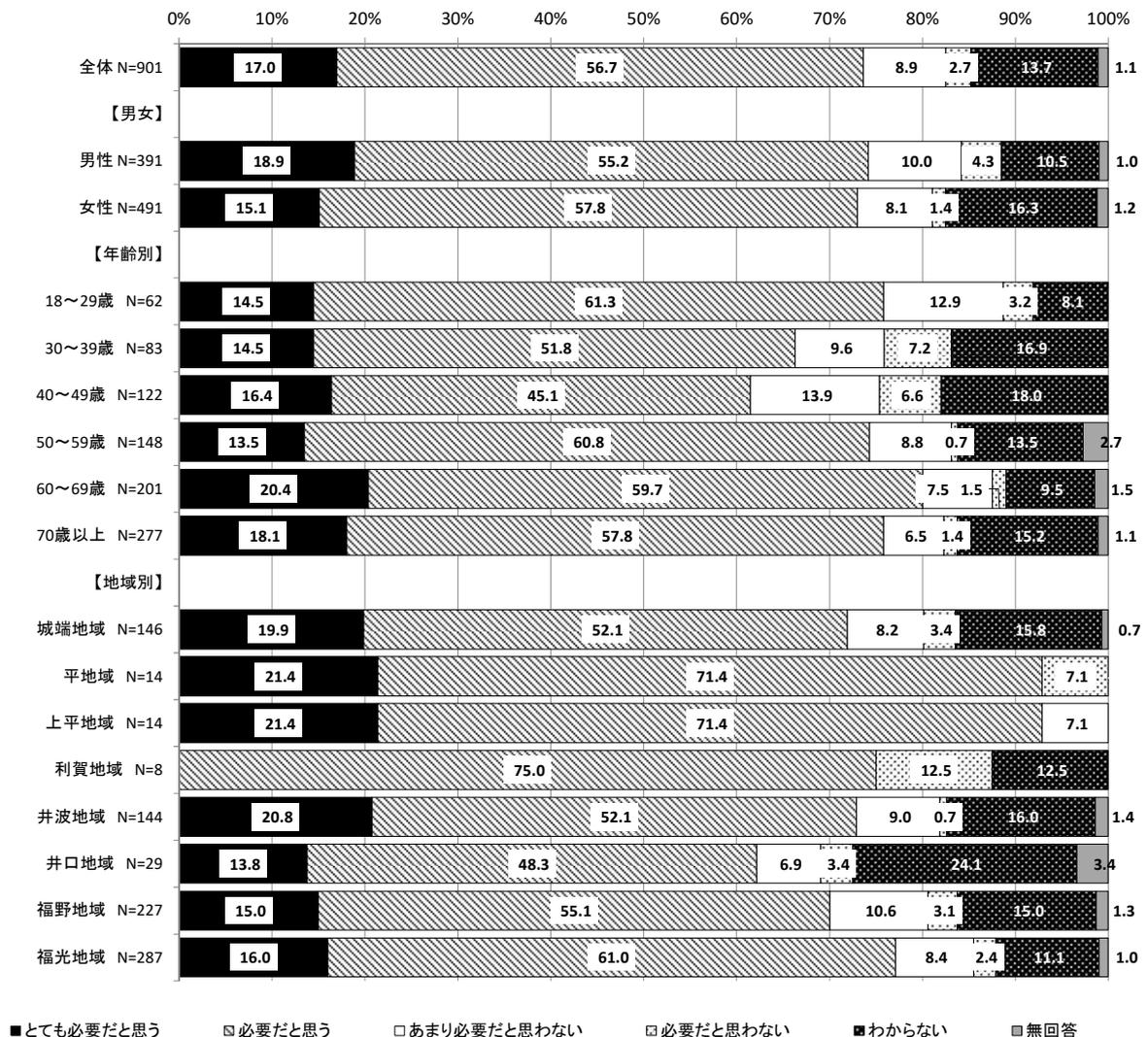
- ・「特にない」が59.4%で最も高い。次いで「自治会、町内会の役員」が21.0%であった。
- ・男女別にみると「特にない」は「男性」が45.0%に対して「女性」が70.7%と「女性」が約26ポイント高い。「自治会、町内会の役員」は「男性」が32.5%、「女性」が11.8%で「男性」が約21ポイント高い。
- ・年齢別にみると「特にない」は、「18～29歳」で95.2%と特に高く、また「50～59歳」で66.9%と他の世代に比べて高い。



		自治会、町内会の役員	老人クラブ役員	農業関係団体の役員	消防団員	子ども会等役員	員含む)	民生委員・児童委員(主任児童委員)	防犯・交通安全関係団体	スポーツクラブ指導者	食生活改善推進員	日本赤十字奉仕団員	母子保健推進員	保護司	その他	特にない	無回答
全体	N=901	21.0	5.7	5.2	4.4	3.2	2.1	1.8	1.7	1.0	0.7	0.4	0.1	4.4	59.4	3.0	
男女	男性 N=391	32.5	6.6	10.2	7.9	3.3	1.0	3.6	2.6	-	-	-	0.3	2.8	45.0	2.8	
	女性 N=491	11.8	4.7	1.2	1.6	3.3	2.9	0.4	0.8	1.8	1.2	0.8	-	5.9	70.7	3.3	
年齢別	18～29歳 N=62	1.6	-	-	1.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6	95.2	-
	30～39歳 N=83	18.1	-	3.6	9.6	10.8	-	-	2.4	-	-	-	-	-	3.6	61.4	1.2
	40～49歳 N=122	23.0	-	4.9	10.7	9.8	1.6	1.6	4.9	-	-	0.8	-	-	3.3	57.4	-
	50～59歳 N=148	17.6	-	4.1	7.4	2.7	-	2.0	1.4	-	-	-	-	-	4.7	66.9	2.7
	60～69歳 N=201	29.4	5.5	4.5	2.0	1.0	4.0	2.5	0.5	0.5	1.5	0.5	0.5	0.5	3.0	52.2	4.5
	70歳以上 N=277	21.3	14.4	8.3	1.1	0.4	3.2	2.2	1.1	2.9	1.1	0.7	-	-	6.5	52.7	4.7
地域別	城端地域 N=146	24.0	6.2	6.8	6.2	4.1	4.8	2.7	1.4	-	-	-	-	-	5.5	54.1	3.4
	平地地域 N=14	21.4	-	-	21.4	-	-	-	7.1	7.1	14.3	7.1	-	-	7.1	42.9	7.1
	上平地域 N=14	21.4	7.1	-	14.3	-	-	-	7.1	7.1	7.1	-	-	-	-	57.1	-
	利賀地域 N=8	25.0	12.5	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	62.5	-
	井波地域 N=144	27.1	6.9	2.1	3.5	2.8	2.8	2.1	2.1	0.7	0.7	-	-	-	3.5	60.4	2.1
	井口地域 N=29	13.8	3.4	6.9	3.4	10.3	3.4	-	-	3.4	6.9	-	-	-	3.4	51.7	6.9
	福野地域 N=227	19.4	6.6	4.4	4.0	4.0	1.8	0.9	0.9	1.8	0.4	1.3	0.4	0.4	6.2	58.6	4.0
	福光地域 N=287	19.2	4.9	7.0	3.5	2.4	0.7	2.1	1.7	0.3	-	-	-	-	3.1	62.7	2.1

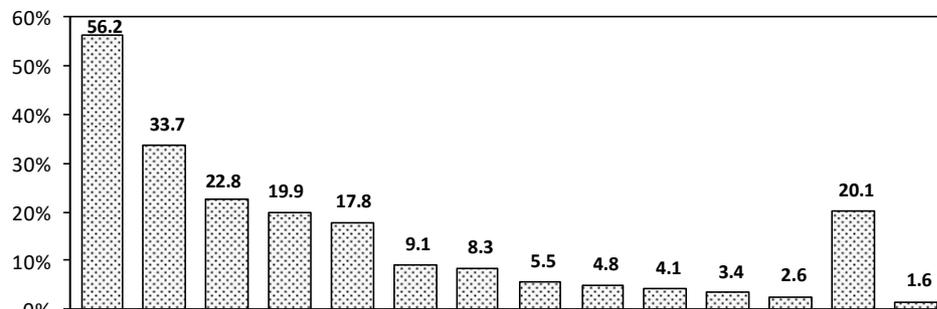
問18. あなたは、住民による自主的な助け合い、支え合いの関係が必要だと思いますか。
(○は1つだけ)

- ・「必要だと思う」が56.7%で最も高く、次いで「とても必要だと思う」が17.0%であった。『必要だと思う(「とても必要だと思う」+「必要だと思う」)』は73.7%と7割を超える。
- ・男女別にみると『必要だと思う』に男女間で大きな差異は見られない。
- ・年齢別にみると『必要だと思う』は「60～69歳」で80.1%と最も高く、「18～29歳」、「50～59歳」、「70歳以上」で7割を超える。「40～49歳」で61.5%と最も低い。
- ・地域別にみると「平地域」、「上平地域」で『必要だと思う』はともに92.8%と高くなっている。



問19. 住民同士の支え合いとして、あなたが近所の人にできることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

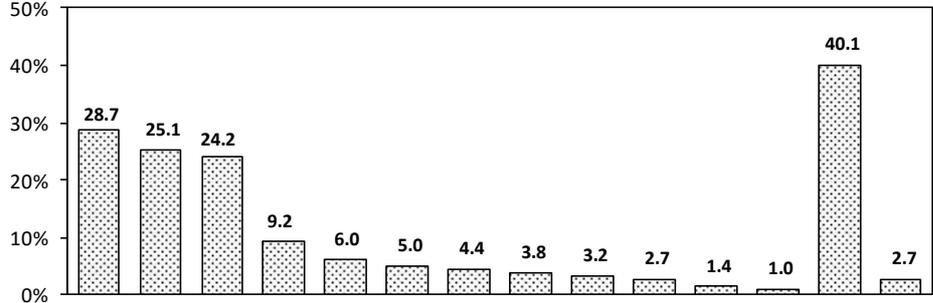
- ・「見守りや声かけ」が56.2%で最も高く、次いで「除雪の手伝い」が33.7%であった。「特に出来ることはない」は20.1%となっている。
- ・男女別にみると「見守りや声かけ」は「女性」57.4%、「男性」54.2%で「女性」が約3ポイント高い。「特に出来ることはない」は「女性」22.2%、「男性」17.4%で「女性」が約5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると「見守りや声かけ」は「60～69歳」で67.2%と最も高く、「18～29歳」で46.8%で最も低い。「特に出来ることはない」は「18～29歳」や「30～39歳」で25%を超えて高く、「60～69歳」で12.9%、「50～59歳」で14.9%と低い。
- ・地域別にみると「特に出来ることはない」は「井口地域」で34.5%と高くなっている。



		見守りや声かけ	除雪の手伝い	地震など災害時の支援	家の周りの掃除や除草	ゴミ出しの手伝い	悩みごとの相談	短時間の高齢者の見守り	市役所の書類などの作成支援	子育てや介護の相談	短時間の子どもの預かりや送迎	外出時の付き添い	短時間の障がいのある方の見守り	特に出来ることはない	無回答
全体	N=901	56.2	33.7	22.8	19.9	17.8	9.1	8.3	5.5	4.8	4.1	3.4	2.6	20.1	1.6
男女	男性 N=391	54.2	43.5	28.6	24.0	12.8	7.2	5.4	6.4	2.0	2.8	4.3	1.8	17.4	1.3
	女性 N=491	57.4	26.1	17.7	16.9	21.4	10.6	10.6	4.9	6.7	4.9	2.6	3.1	22.2	1.8
年齢別	18～29歳 N=62	46.8	41.9	25.8	12.9	16.1	3.2	4.8	1.6	8.1	1.6	-	4.8	25.8	-
	30～39歳 N=83	54.2	45.8	20.5	14.5	14.5	9.6	3.6	3.6	9.6	6.0	1.2	-	25.3	-
	40～49歳 N=122	49.2	41.0	26.2	19.7	16.4	9.0	9.8	8.2	8.2	11.5	2.5	4.1	22.1	0.8
	50～59歳 N=148	56.1	34.5	25.0	19.6	16.9	8.1	7.4	6.8	2.7	1.4	4.1	1.4	14.9	2.7
	60～69歳 N=201	67.2	29.4	24.4	20.4	18.9	10.4	8.5	8.0	3.0	4.0	5.0	0.5	12.9	1.5
	70歳以上 N=277	54.2	28.5	19.1	23.5	19.1	9.4	10.5	3.2	3.2	2.5	4.0	4.3	24.2	2.2
地域別	城端地域 N=146	56.2	41.1	24.7	21.2	17.1	9.6	2.7	4.8	2.1	4.1	0.7	2.1	17.8	2.1
	平地地域 N=14	71.4	42.9	57.1	50.0	50.0	7.1	7.1	14.3	7.1	-	-	-	14.3	-
	上平地地域 N=14	85.7	35.7	35.7	28.6	7.1	14.3	7.1	-	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	-
	利賀地域 N=8	75.0	25.0	12.5	25.0	-	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	-	-	25.0	-
	井波地域 N=144	63.9	37.5	23.6	22.9	25.7	13.2	12.5	4.2	8.3	4.9	6.3	2.8	17.4	1.4
	井口地域 N=29	41.4	31.0	13.8	17.2	10.3	3.4	-	3.4	3.4	6.9	-	-	34.5	-
	福野地域 N=227	52.0	27.8	20.3	19.4	17.6	6.6	8.8	6.2	5.3	3.5	3.5	3.5	21.6	2.2
福光地域 N=287	55.1	32.8	23.0	16.7	13.9	9.4	10.1	5.9	3.1	3.8	3.8	2.4	20.2	1.4	

問20. あなたは、住民同士の支え合いとして、近所の人にどのような手助けをしてほしいですか。（あてはまるものすべてに○）

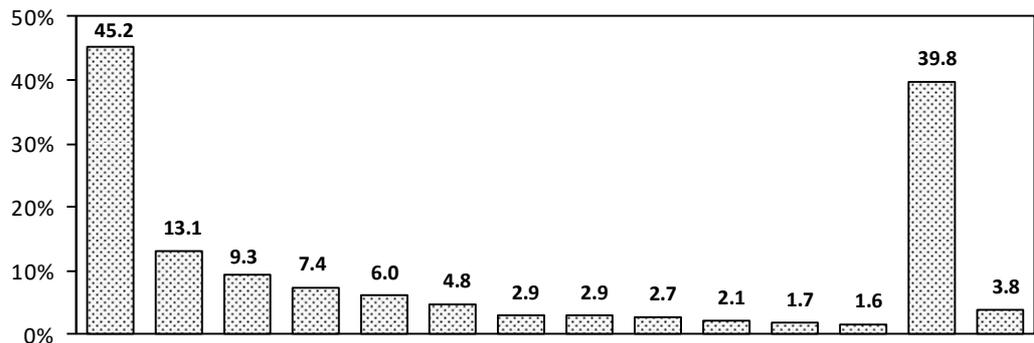
- ・「特にしてほしいことはない」が40.1%で最も高く、次いで「見守りや声かけ」が28.7%であった。
- ・男女別にみると「特にしてほしいことはない」は、「男性」43.0%に対し「女性」38.1%と「男性」が約5ポイント高い。
- ・年齢別にみると「特にしてほしいことはない」について見ると、「18～29歳」で45.2%と最も高く、「60～69歳」で34.3%と最も低い。「70歳以上」では40.8%となっている。
- ・地域別にみると「特にしてほしいことはない」は「利賀地域」で最も高く（75.0%）、「平地地域」で最も低い（28.6%）。



		見守りや声かけ	地震など災害時の支援	除雪の手伝い	家の周りの掃除や除草	短時間の高齢者の見守り	悩みごとの相談	ゴミ出しの手伝い	子育てや介護の相談	市役所の書類などの作成支援	短時間の子ども預かりや送迎	短時間の障がいのある方の見守り	外出時の付き添い	特にしてほしいことはない	無回答
全体	N=901	28.7	25.1	24.2	9.2	6.0	5.0	4.4	3.8	3.2	2.7	1.4	1.0	40.1	2.7
男女	男性 N=391	27.6	23.3	21.2	9.5	6.4	4.1	2.6	2.3	2.3	2.8	2.3	0.8	43.0	2.8
	女性 N=491	29.5	26.1	26.3	9.0	5.7	5.7	5.9	4.9	3.7	2.4	0.8	1.2	38.1	2.6
年齢別	18～29歳 N=62	27.4	19.4	25.8	3.2	3.2	-	4.8	6.5	3.2	1.6	1.6	-	45.2	-
	30～39歳 N=83	28.9	25.3	20.5	10.8	4.8	7.2	4.8	4.8	1.2	4.8	-	-	44.6	-
	40～49歳 N=122	26.2	21.3	16.4	8.2	8.2	5.7	4.1	8.2	3.3	11.5	3.3	1.6	43.4	1.6
	50～59歳 N=148	27.7	25.7	23.0	6.8	8.8	4.7	3.4	4.1	4.7	0.7	1.4	0.7	39.2	3.4
	60～69歳 N=201	31.3	30.3	28.4	8.0	5.0	4.5	3.5	3.0	2.0	1.5	1.0	1.0	34.3	3.0
	70歳以上 N=277	28.5	23.8	26.0	13.0	5.4	5.8	5.4	1.1	4.0	0.4	1.4	1.4	40.8	4.0
地域別	城端地域 N=146	34.9	31.5	23.3	11.0	3.4	5.5	2.7	3.4	2.1	1.4	-	-	32.9	3.4
	平地地域 N=14	35.7	35.7	28.6	14.3	21.4	-	14.3	7.1	-	21.4	7.1	-	28.6	7.1
	上平地地域 N=14	35.7	21.4	21.4	14.3	21.4	28.6	7.1	7.1	7.1	-	-	-	42.9	-
	利賀地域 N=8	12.5	12.5	-	-	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	75.0	-
	井波地域 N=144	35.4	21.5	28.5	9.0	9.0	5.6	10.4	5.6	3.5	2.8	2.1	2.8	35.4	3.5
	井口地域 N=29	27.6	24.1	31.0	10.3	3.4	3.4	3.4	3.4	-	3.4	-	-	34.5	-
	福野地域 N=227	23.8	23.8	19.4	8.8	6.6	4.4	1.8	4.0	4.8	2.6	2.2	0.4	47.1	2.2
	福光地域 N=287	26.5	25.8	26.1	8.7	4.5	4.2	4.2	2.4	2.4	2.8	1.4	1.0	40.8	2.8

問21. あなたご自身も含め、ご近所に、周囲の人の手助けや協力・支援が必要だと思われるご家庭がありますか。（あてはまるものすべてに○）

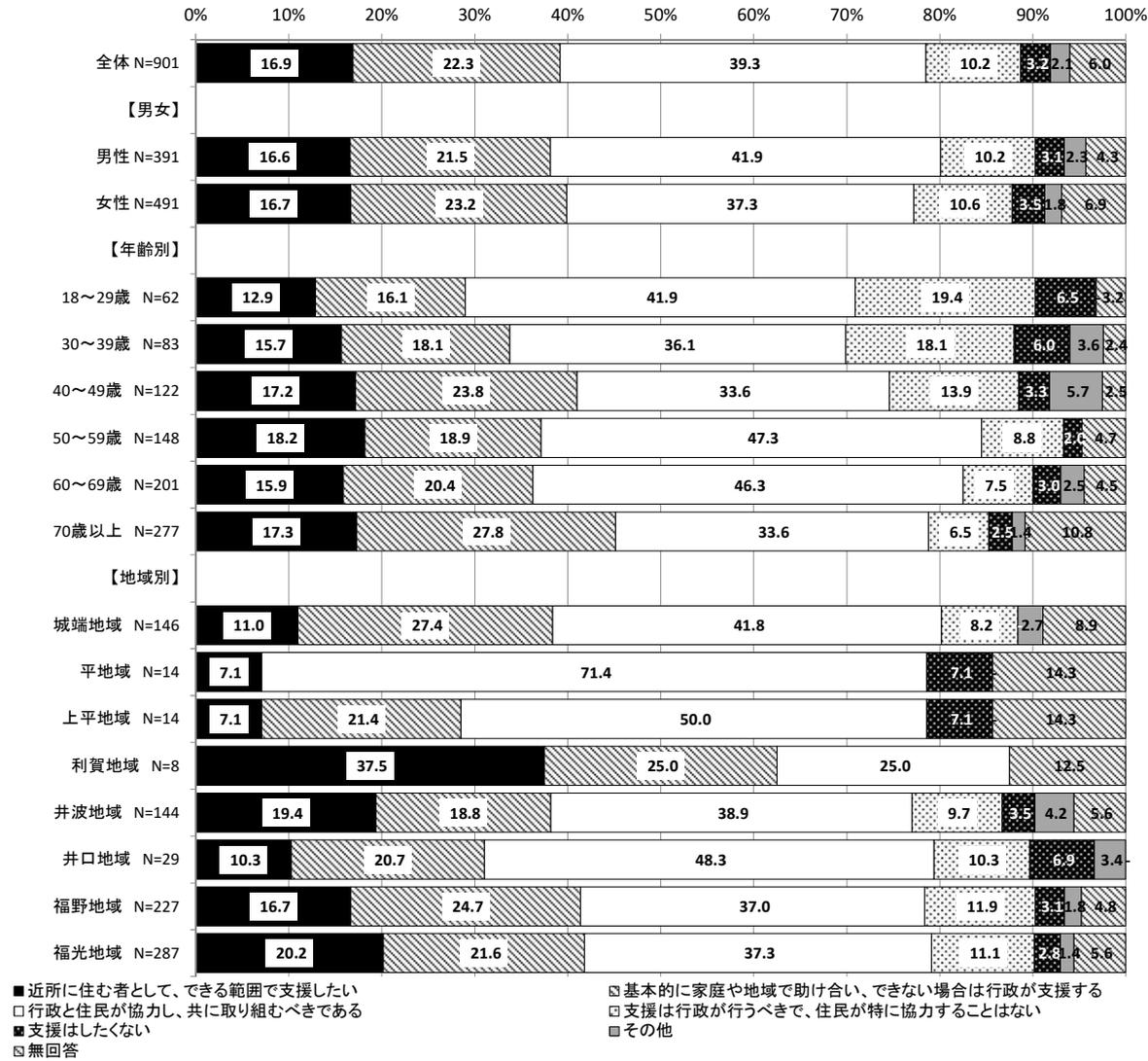
- ・「ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家庭」が45.2%で最も高く、次いで「気にかかる人はいない」が39.8%であった。
- ・男女別にみると、「気にかかる人はいない」は「女性」が「男性」よりも約5ポイント高い。
- ・年齢別にみると「気にかかる人はいない」は、「30～39歳」が48.2%で最も高く「18～29歳」も46.8%と高い。「60～69歳」が33.8%で最も低い。
- ・地域別にみると「気にかかる人はいない」は「利賀地域」で62.5%と最も高い。「平地域」や「井口地域」では20%台となっている。



		み の 家 庭	ひ と り 暮 ら し の 高 齢 者 や 高 齢 者 の み の 家 庭	認 知 症 の 方 や 要 介 護 者 が い る 家 庭	障 が い の あ る 方 が い る 家 庭	地 域 と の つ な が り が な く 、 孤 立 し て い る 家 庭	ひ き こ も り ※ 状 態 の 方 が い る 家 庭	ゴ ミ 屋 敷	る る 家 庭	ケ ア ラ ー 、 ヤ ン グ ケ ア ラ ー ※ の い る 家 庭	生 活 が 困 窮 し て い る 家 庭	虐 待 が 心 配 な 家 庭	不 登 校 の 子 ど も が い る 家 庭	外 国 人 の 家 庭	そ の 他	気 に か か る 人 は い な い	無 回 答
全体	N=901	45.2	13.1	9.3	7.4	6.0	4.8	2.9	2.9	2.7	2.1	1.7	1.6	39.8	3.8		
男女	男性	N=391	47.3	11.5	10.5	6.4	7.4	5.6	2.0	3.3	2.8	2.0	1.0	2.3	37.3	3.1	
	女性	N=491	43.2	14.7	8.6	8.6	5.1	4.1	3.7	2.4	2.6	2.2	2.2	1.0	41.8	4.5	
年齢別	18～29歳	N=62	43.5	16.1	14.5	3.2	8.1	6.5	8.1	1.6	8.1	3.2	3.2	-	46.8	1.6	
	30～39歳	N=83	42.2	12.0	8.4	7.2	6.0	4.8	3.6	3.6	7.2	6.0	3.6	1.2	48.2	-	
	40～49歳	N=122	45.9	15.6	10.7	6.6	6.6	4.1	4.1	3.3	4.1	2.5	0.8	3.3	37.7	1.6	
	50～59歳	N=148	47.3	16.2	10.1	3.4	7.4	3.4	2.7	2.7	2.0	0.7	1.4	0.7	39.9	4.7	
	60～69歳	N=201	51.2	13.4	10.0	8.0	7.0	7.0	2.5	4.0	1.0	2.0	2.5	1.5	33.8	5.0	
	70歳以上	N=277	40.4	10.1	7.2	10.8	4.0	4.0	1.4	2.2	1.1	1.4	0.7	1.8	40.8	5.1	
地域別	城端地域	N=146	54.1	17.8	13.0	8.9	2.1	3.4	4.1	4.1	4.1	2.1	-	-	34.9	3.4	
	平地域	N=14	57.1	21.4	7.1	7.1	21.4	-	-	7.1	-	14.3	7.1	7.1	21.4	7.1	
	上平地域	N=14	50.0	14.3	7.1	-	-	-	-	-	-	7.1	-	-	42.9	-	
	利賀地域	N=8	37.5	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62.5	-	
	井波地域	N=144	54.2	15.3	11.8	6.3	7.6	10.4	2.8	2.8	1.4	0.7	2.1	0.7	31.3	2.1	
	井口地域	N=29	58.6	10.3	3.4	13.8	3.4	3.4	-	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	27.6	3.4	
	福野地域	N=227	37.4	12.8	6.6	8.8	5.3	4.4	4.0	1.3	3.5	1.3	2.2	3.1	44.5	4.8	
	福光地域	N=287	42.2	10.1	9.4	7.0	7.3	3.5	2.4	3.8	2.4	2.8	1.7	1.4	43.6	3.8	

問21-1 そのような何らかの支援を必要としている方への支援（日常生活上の手助けや協力）について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（○は1つだけ）

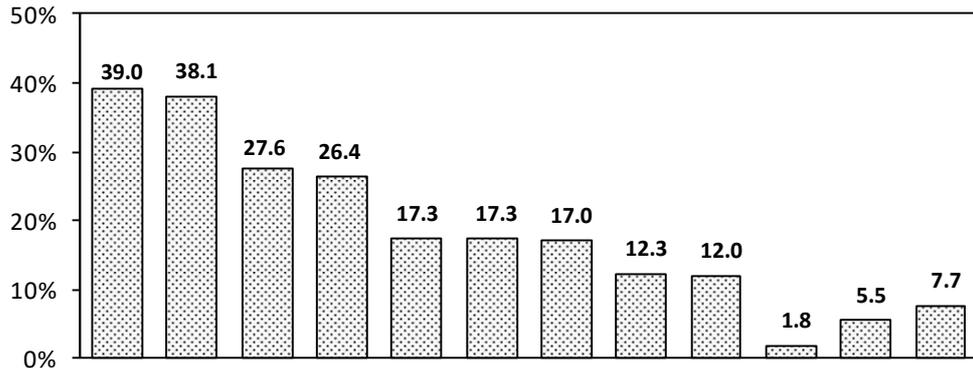
- ・「行政と住民が協力し、共に取り組むべきである」が39.3%で最も高く、次いで「基本的に家庭や地域で助け合い、できない場合は行政が支援する」が22.3%であった。
- ・男女間で大きな差異は見られない。
- ・年齢別に「行政と住民が協力し、共に取り組むべきである」について見ると、「40～49歳」が33.6%で最も低く、「50～59歳」が47.3%、「60～69歳」が46.3%と高い。
- ・地域別にみると「行政と住民が協力し、共に取り組むべきである」の割合は、「平地域」で最も高く（71.4%）、「利賀地域」で最も低い（25.0%）。



問21-2 ひきこもり状態の方に対し、どのような支援策があると良いと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- ・「相談支援体制の充実」が39.0%で最も高く、次いで「各種相談窓口・支援機関の周知」が38.1%であった。
- ・男女別にみると「当事者会や家族会の充実」で「女性」が「男性」より約7ポイント高い。
- ・年齢別にみると「相談支援体制の充実」や「ひきこもり状態の方が気軽に集える居場所の充実」は『40～69歳』で40%前後と高い。



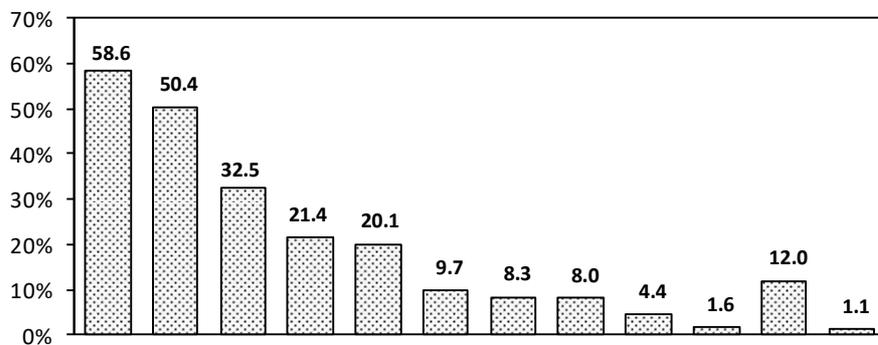
		相談支援体制の充実	ひきこもり状態の方が気軽に集える居場所の充実	各種相談窓口・支援機関の周知	就労に向けたトレーニング	自宅等への訪問支援	福祉サービスの申請支援	当事者会や家族会の充実	ひきこもり支援の普及啓発(市民向けの研修会や講演会の充実)	医療機関の紹介	その他	必要ない	無回答
全体	N=901	39.0	38.1	27.6	26.4	17.3	17.3	17.0	12.3	12.0	1.8	5.5	7.7
男女	男性 N=391	36.6	34.5	25.6	24.8	18.4	13.8	12.8	11.8	9.7	1.8	7.9	7.4
	女性 N=491	40.9	40.5	29.3	27.9	16.5	20.2	20.2	12.4	13.8	1.6	3.9	7.7
年齢別	18～29歳 N=62	32.3	25.8	33.9	37.1	12.9	9.7	14.5	4.8	17.7	3.2	6.5	4.8
	30～39歳 N=83	37.3	28.9	34.9	36.1	15.7	18.1	18.1	9.6	12.0	4.8	10.8	1.2
	40～49歳 N=122	44.3	39.3	32.0	38.5	19.7	18.9	22.1	11.5	13.9	1.6	4.9	2.5
	50～59歳 N=148	41.9	41.2	27.0	29.7	20.3	16.2	18.2	15.5	12.8	0.7	8.1	5.4
	60～69歳 N=201	44.8	45.3	32.3	21.9	14.4	21.4	18.4	16.4	11.9	1.0	2.5	6.5
	70歳以上 N=277	32.9	35.7	19.1	17.7	18.4	15.9	12.6	10.5	9.4	1.8	5.1	14.4
地域別	城端地域 N=146	32.2	34.2	30.1	26.0	18.5	16.4	13.0	11.6	17.1	3.4	6.2	9.6
	平地地域 N=14	50.0	28.6	42.9	35.7	14.3	42.9	28.6	21.4	21.4	-	7.1	14.3
	上平地地域 N=14	42.9	35.7	35.7	7.1	21.4	21.4	7.1	14.3	28.6	-	14.3	-
	利賀地域 N=8	37.5	50.0	-	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-	12.5
	井波地域 N=144	41.7	39.6	25.7	29.2	13.9	13.2	16.0	13.2	6.9	0.7	5.6	6.9
	井口地域 N=29	37.9	27.6	27.6	20.7	27.6	20.7	20.7	10.3	10.3	-	6.9	3.4
	福野地域 N=227	38.3	44.5	27.8	30.0	18.9	21.1	19.4	14.1	14.1	2.2	3.5	8.8
福光地域 N=287	41.1	36.2	27.2	25.1	16.7	15.7	17.8	10.8	9.8	1.4	5.6	6.3	

(4) 日常生活について

問22. あなたは、日頃どのようなことに悩みや不安を感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- ・「自分や家族の健康に関すること」が58.6%で最も高く、次いで「将来（老後）に関すること」が50.4%であった。
- ・男女別にみると、「将来（老後）に関すること」において男女差が見られ、男性63.2%に対し女性54.8%となっている。
- ・年齢別にみると全世代で「健康」「老後」が上位となっているが、現役世代はこれに「仕事」「子育て」「経済」が加わり、多重の不安を抱えている。「30～39歳」では「経済的なこと」が51.8%で最も高くなっている。

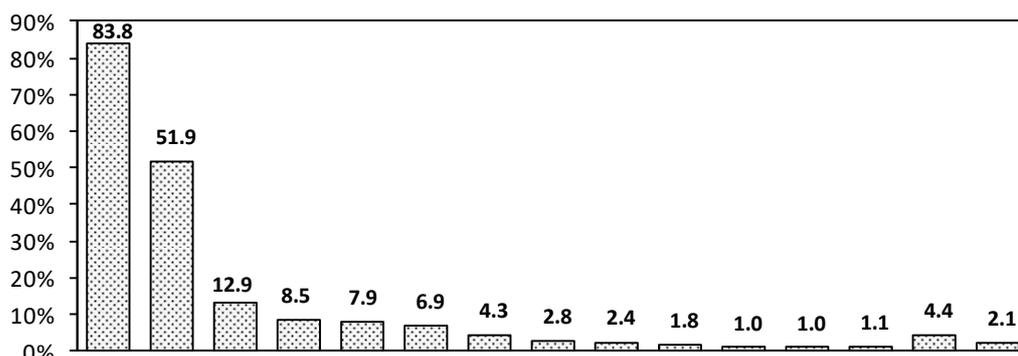


		将来（老後）に関すること	自分や家族の健康に関すること	経済的なこと	介護に関すること	仕事に関すること	家族関係に関すること	近所づきあいに関すること	子育てに関すること	治安に関すること	その他	特にない	無回答
全体	N=901	58.6	50.4	32.5	21.4	20.1	9.7	8.3	8.0	4.4	1.6	12.0	1.1
男女	男性 N=391	63.2	51.7	33.8	19.4	22.5	8.4	9.0	6.4	4.1	1.5	10.7	0.3
	女性 N=491	54.8	48.7	31.8	22.8	17.7	10.8	7.7	9.0	4.9	1.4	13.4	1.6
年齢別	18～29歳 N=62	37.1	32.3	40.3	14.5	27.4	9.7	11.3	8.1	3.2	1.6	27.4	3.2
	30～39歳 N=83	49.4	44.6	51.8	13.3	34.9	12.0	12.0	31.3	6.0	1.2	8.4	-
	40～49歳 N=122	60.7	43.4	40.2	13.9	36.1	15.6	9.0	20.5	7.4	0.8	13.9	-
	50～59歳 N=148	63.5	44.6	37.2	27.7	29.1	10.8	10.1	6.1	4.1	1.4	12.2	0.7
	60～69歳 N=201	67.2	59.7	29.4	24.9	16.4	9.0	6.0	1.0	3.0	2.5	8.5	0.5
	70歳以上 N=277	57.4	56.0	22.0	23.5	4.7	6.5	6.9	1.4	4.3	1.4	10.5	2.2
地域別	城端地域 N=146	53.4	47.9	32.9	17.1	23.3	8.2	5.5	8.9	4.8	4.1	14.4	1.4
	平地域 N=14	78.6	50.0	28.6	21.4	28.6	14.3	21.4	21.4	14.3	7.1	14.3	-
	上平地域 N=14	57.1	57.1	28.6	21.4	28.6	21.4	-	7.1	-	14.3	14.3	-
	利賀地域 N=8	75.0	50.0	37.5	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-
	井波地域 N=144	61.8	50.0	30.6	18.1	18.8	7.6	10.4	4.2	5.6	-	11.1	0.7
	井口地域 N=29	55.2	69.0	10.3	17.2	17.2	17.2	6.9	13.8	3.4	-	10.3	-
	福野地域 N=227	57.3	50.7	36.1	26.0	19.4	13.7	10.1	8.4	3.5	0.9	11.0	0.9
	福光地域 N=287	60.3	49.5	33.8	24.0	19.2	7.3	7.7	8.4	4.5	1.0	12.2	1.4

問23. あなたは、困ったときや悩みがあるとき、どこ（誰）に相談しますか。

（あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください）

- ・「家族・親族」が83.8%で最も高く、次いで「友人・知人」が51.9%であった。
- ・男女別にみると「友人・知人」において男女差が見られ、男性43.0%に対し女性58.7%となっている。
- ・年齢別にみると「家族・親族」は「30～39歳」で90.4%で最も高く、「友人・知人」は「18～29歳」で74.2%と最も高くなっている。

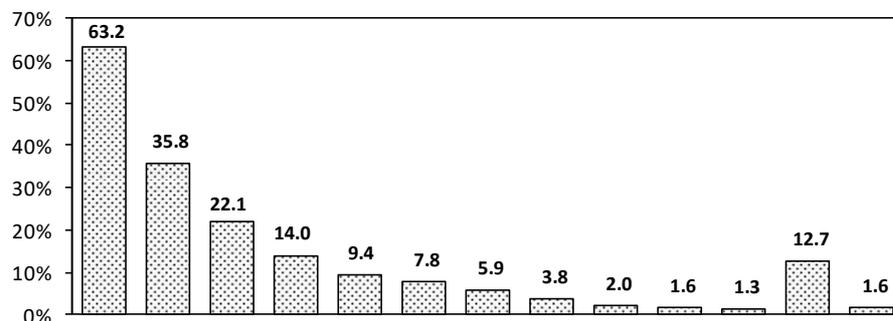


		家族・親族	友人・知人	職場の同僚・上司	インターネット、SNSなど	地域包括支援センター	市役所窓口	カウンセラー、医療機関	福祉施設・福祉サービス事業者	警察署	民生委員・児童委員	地域福祉推進員	社会福祉協議会	その他	誰にも相談しない	無回答
全体	N=901	83.8	51.9	12.9	8.5	7.9	6.9	4.3	2.8	2.4	1.8	1.0	1.0	1.1	4.4	2.1
男女	男性 N=391	81.3	43.0	12.5	9.2	5.9	8.7	3.6	2.3	4.1	2.6	1.3	1.0	1.0	6.1	1.3
	女性 N=491	85.3	58.7	13.0	8.4	9.0	5.7	4.9	3.3	1.2	1.0	0.6	1.0	1.0	3.3	2.6
年齢別	18～29歳 N=62	87.1	74.2	17.7	16.1	-	1.6	1.6	-	3.2	-	-	-	3.2	3.2	1.6
	30～39歳 N=83	90.4	59.0	13.3	15.7	1.2	2.4	3.6	2.4	1.2	-	-	-	2.4	3.6	-
	40～49歳 N=122	83.6	61.5	24.6	13.9	2.5	2.5	3.3	-	2.5	0.8	-	-	0.8	4.1	1.6
	50～59歳 N=148	81.1	53.4	24.3	10.8	4.1	3.4	5.4	2.7	1.4	1.4	-	-	-	7.4	0.7
	60～69歳 N=201	86.1	53.7	8.5	4.5	9.5	12.9	4.5	2.5	2.0	1.5	-	1.0	2.0	4.0	1.5
70歳以上 N=277	80.5	37.5	2.9	4.0	14.8	9.0	5.1	5.1	3.6	3.6	2.9	2.5	0.4	4.0	4.3	
地域別	城端地域 N=146	87.7	50.7	10.3	7.5	5.5	8.9	3.4	1.4	2.7	2.1	1.4	0.7	2.1	6.2	0.7
	平地域 N=14	100	71.4	28.6	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	上平地域 N=14	78.6	57.1	14.3	-	-	-	7.1	-	-	7.1	-	-	-	7.1	-
	利賀地域 N=8	87.5	12.5	-	-	-	-	-	12.5	-	12.5	-	12.5	-	12.5	-
	井波地域 N=144	83.3	59.0	13.2	7.6	10.4	6.9	2.1	3.5	2.1	3.5	1.4	1.4	0.7	3.5	1.4
	井口地域 N=29	93.1	51.7	20.7	6.9	3.4	6.9	3.4	3.4	-	-	-	-	-	-	3.4
	福野地域 N=227	81.5	45.8	13.2	9.3	11.9	8.8	5.7	4.0	4.0	0.9	0.9	0.9	1.3	5.3	2.6
福光地域 N=287	81.5	53.7	12.2	10.1	5.6	5.9	5.6	2.4	1.7	1.4	0.7	1.0	1.0	3.5	3.1	

問24. あなたは、市の福祉に関するサービスの情報をどこから入手していますか。

(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください)

- ・「南砺市の広報紙やホームページ」が63.2%で最も高く、次いで「家族・知人」が35.8%であった。
- ・男女別にみると「南砺市の広報紙やホームページ」において男女差が見られ、男性60.4%に対し女性65.6%となっている。
- ・年齢別にみると若年層は「インターネット・SNSからの情報」、高齢層は「南砺市の広報紙やホームページ」としている傾向が見られる。
- ・地域別にみると「家族・知人」の割合は、平地域で最も高く（42.9%）、井口地域で最も低い（31.0%）。



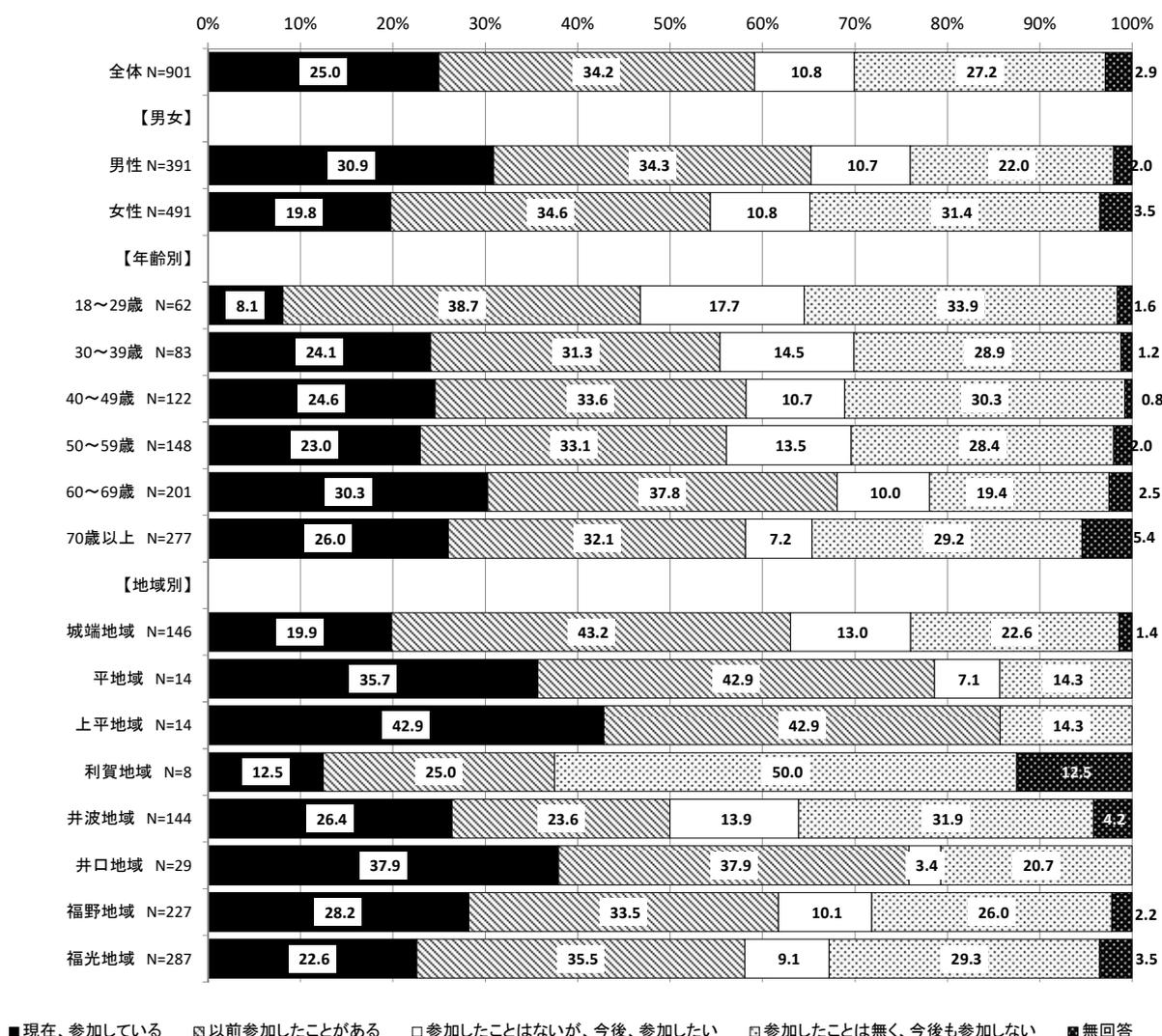
		南砺市の広報紙やホームページ	家族・知人	インターネット・SNSからの情報	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	地域包括支援センター	市役所窓口	医療機関	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	地域福祉推進員	その他	特にない	無回答
全体	N=901	63.2	35.8	22.1	14.0	9.4	7.8	5.9	3.8	2.0	1.6	1.3	12.7	1.6
男女	男性 N=391	60.4	36.3	24.6	15.3	8.4	6.4	5.6	3.8	2.0	1.8	1.3	13.6	1.5
	女性 N=491	65.6	34.6	20.0	12.6	10.2	8.8	6.1	3.9	1.8	1.4	1.4	12.0	1.4
年齢別	18～29歳 N=62	43.5	43.5	37.1	9.7	1.6	8.1	4.8	1.6	-	-	1.6	24.2	1.6
	30～39歳 N=83	51.8	37.3	34.9	12.0	1.2	4.8	2.4	-	1.2	-	3.6	22.9	-
	40～49歳 N=122	63.9	33.6	32.8	12.3	6.6	2.5	4.9	1.6	0.8	-	0.8	17.2	-
	50～59歳 N=148	58.8	31.8	26.4	6.8	7.4	6.8	6.8	2.0	-	-	2.0	12.8	2.0
	60～69歳 N=201	75.6	32.3	22.4	15.4	10.4	10.9	6.5	5.5	1.5	1.5	1.0	6.5	1.0
	70歳以上 N=277	64.6	39.7	7.9	18.8	15.2	9.0	6.5	6.1	4.7	4.0	0.7	8.7	2.9
地域別	城端地域 N=146	62.3	34.2	19.2	12.3	9.6	8.2	4.8	4.1	2.1	2.1	0.7	11.6	2.1
	平地域 N=14	50.0	42.9	28.6	28.6	7.1	7.1	7.1	-	7.1	-	-	14.3	7.1
	上平地域 N=14	57.1	35.7	21.4	21.4	-	14.3	7.1	7.1	7.1	-	7.1	14.3	-
	利賀地域 N=8	62.5	37.5	37.5	12.5	12.5	-	-	25.0	-	-	-	12.5	-
	井波地域 N=144	68.1	36.1	29.2	9.7	10.4	2.8	5.6	5.6	4.2	2.8	-	13.2	0.7
	井口地域 N=29	65.5	31.0	24.1	13.8	6.9	17.2	3.4	-	-	-	-	17.2	-
	福野地域 N=227	63.0	34.8	22.0	17.6	10.1	6.6	7.0	3.1	0.9	1.8	2.6	13.2	0.9
福光地域 N=287	63.1	36.9	20.2	12.9	9.1	9.4	6.3	3.5	1.7	1.0	1.0	11.5	2.4	

(5) 地域活動やボランティアについて

問25. あなたは地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。

(○は1つだけ)

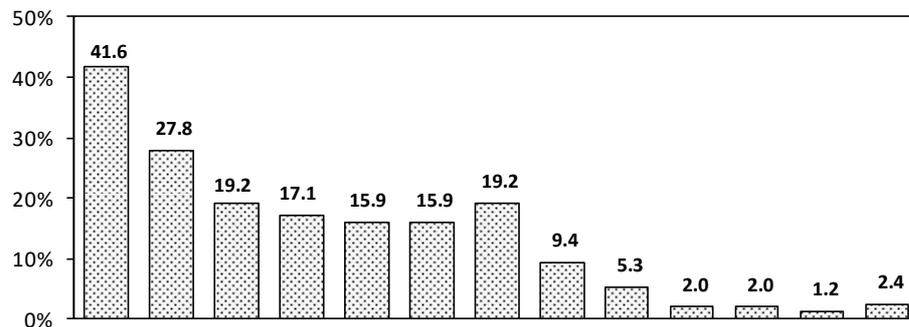
- ・「以前参加したことがある」が34.2%で最も高く、次いで「参加したことは無く、今後も参加しない」が27.2%であった。「現在参加している」は25.0%である。
- ・男女別にみると「現在、参加している」は「男性」30.9%に対し「女性」19.8%と「男性」が約11ポイント高い。
- ・年齢別にみると「現在参加している」は「60～69歳」が30.3%で最も高く、「18～29歳」が8.1%で最も低い。「参加したことはないが、今後、参加したい」は「18～29歳」では17.7%で最も高くなっている。
- ・地域別にみると「現在参加している」は「上平地域」で42.9%と最も高く、「井口地域」や「平地域」も3割を超えて高い。「参加したことはないが、今後、参加したい」の割合は、「井波地域」で最も高く（13.9%）、「城端地域」も13.0%と高い。



問25-2 あなたが「参加したことがなく、今後も参加しない」理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

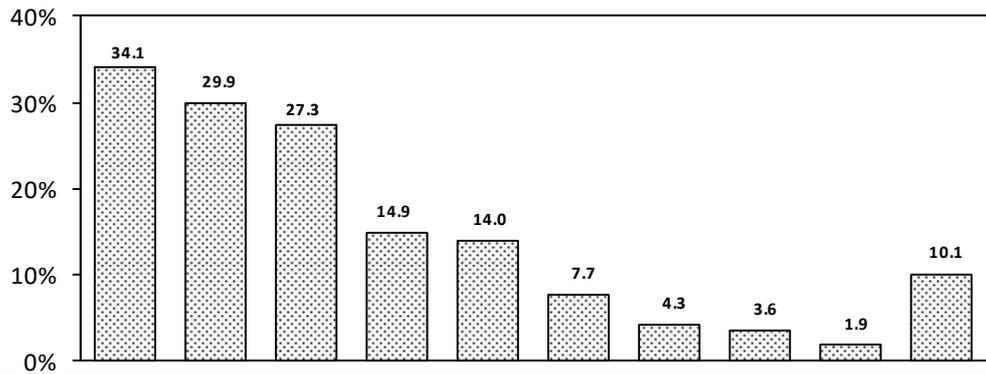
- ・「忙しく活動する時間がない」が41.6%で最も高く、次いで「体力や健康に自信がない」が27.8%、「興味や関心の持てる活動がない」が19.2%であった。
- ・男女別にみると「忙しく活動する時間がない」では「男性」の53.7%に対して「女性」が33.8%と「男性」が約5ポイント高い。一方、女性は「小さな子どもや介護を必要とする家族がいる」(16.2%)や「体力や健康に自信がない」(31.1%)という理由が男性より高い。
- ・年齢別に「忙しく活動する時間がない」について見ると、18～29歳(69.2%)や30代～50代の現役世代で高い。一方、70歳以上では「体力や健康に自信がない」(51.5%)が最も高い。



		忙しく活動する時間がない	体力や健康に自信がない	興味や関心の持てる活動がない	経済的な余裕がない	身近に活動グループや仲間がない	共感する参加したいと思う活動や身近に参加したいと思う活動がない	興味や関心の持てる活動がない	小さな子どもや介護を必要とする家族がいる	その他	活動場所への移動手段がない	家族の理解が得られない	職場の理解が得られない	無回答
全体	N=245	41.6	27.8	19.2	17.1	15.9	15.9	19.2	9.4	5.3	2.0	2.0	1.2	2.4
男女	男性 N=86	44.2	26.7	22.1	18.6	18.6	15.1	22.1	5.8	3.5	-	3.5	-	1.2
	女性 N=154	39.6	29.2	18.2	16.2	13.6	16.9	18.2	11.0	5.8	3.2	1.3	1.9	3.2
年齢別	18～29歳 N=21	66.7	9.5	28.6	4.8	14.3	19.0	28.6	-	9.5	-	-	9.5	-
	30～39歳 N=24	54.2	12.5	20.8	16.7	20.8	12.5	20.8	12.5	8.3	-	-	-	-
	40～49歳 N=37	67.6	8.1	13.5	13.5	21.6	13.5	13.5	13.5	-	2.7	2.7	2.7	2.7
	50～59歳 N=42	50.0	11.9	16.7	26.2	19.0	19.0	16.7	7.1	4.8	-	4.8	-	-
	60～69歳 N=39	35.9	33.3	23.1	25.6	10.3	28.2	23.1	12.8	5.1	2.6	2.6	-	2.6
	70歳以上 N=81	17.3	51.9	18.5	13.6	12.3	9.9	18.5	8.6	6.2	3.7	1.2	-	4.9
地域別	城端地域 N=33	36.4	33.3	12.1	18.2	15.2	15.2	12.1	6.1	9.1	-	-	-	3.0
	平地域 N=2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0
	上平地域 N=2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	利賀地域 N=4	25.0	75.0	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-
	井波地域 N=46	37.0	19.6	28.3	8.7	19.6	21.7	28.3	8.7	10.9	2.2	-	2.2	-
	井口地域 N=6	50.0	16.7	16.7	33.3	16.7	-	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-
	福野地域 N=59	30.5	30.5	20.3	25.4	16.9	20.3	20.3	13.6	3.4	1.7	3.4	-	1.7
	福光地域 N=84	53.6	25.0	17.9	16.7	14.3	14.3	17.9	8.3	2.4	1.2	3.6	1.2	3.6

問26. 地域活動やボランティア活動を活発にするにはどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの2つまで選んで○をつけてください）

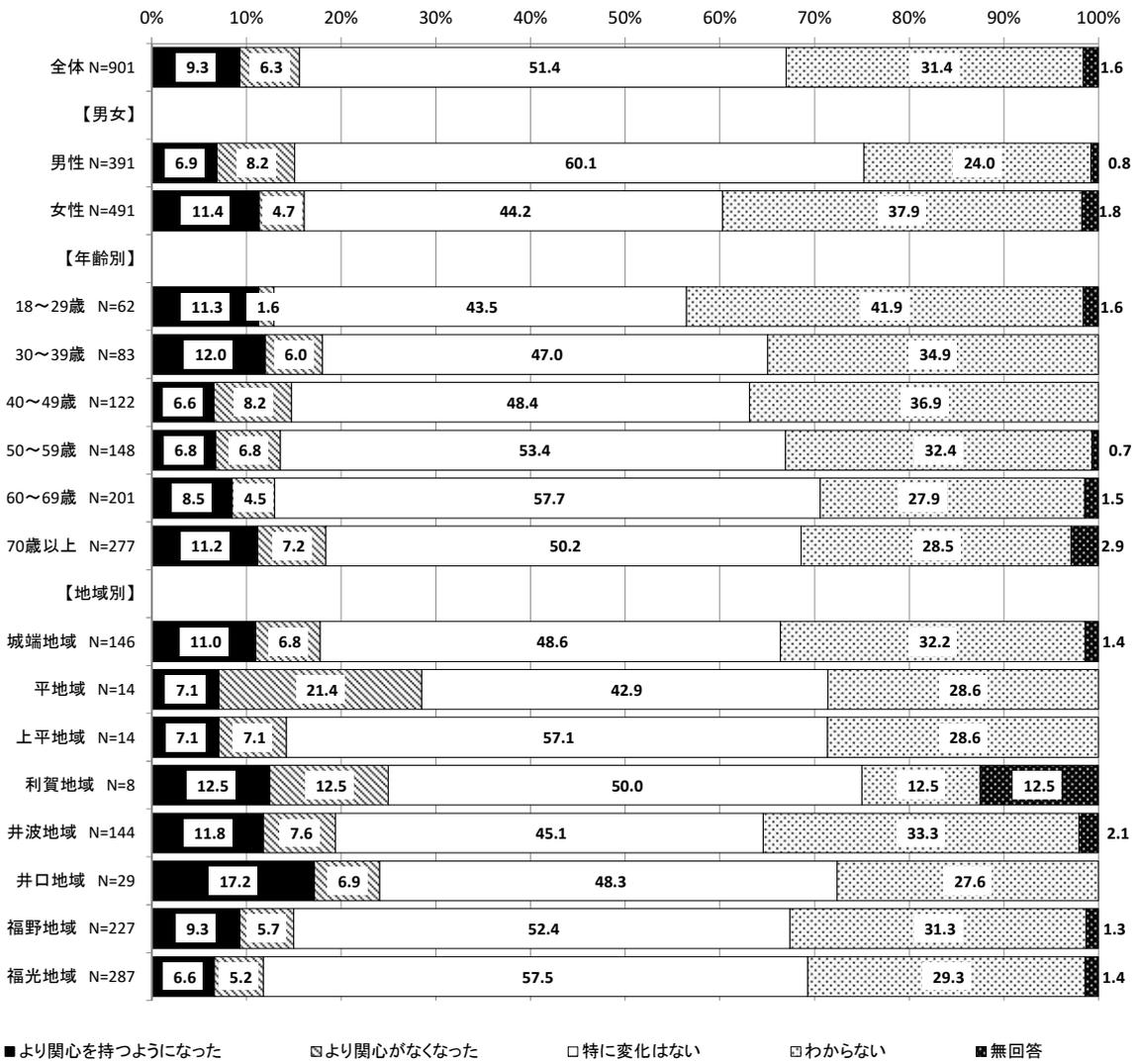
- ・「活動時間や曜日を選べたり、気軽に参加できる」が34.1%で最も高く、次いで「住民同士が困ったときに、助け合える関係をつくっていく」が29.9%であった。
- ・男女別にみると「活動時間や曜日を選べたり、気軽に参加できる」では「男性」26.9%に対し「女性」40.3%と「女性」が約13ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「活動時間や曜日を選べたり、気軽に参加できる」は「60～69歳」で41.3%都最も高く、「50～59歳」も38.5%と高い。「ボランティア活動に関する情報が一つの窓口（サイト）に集約されている」は「18～29歳」で35.5%で最も高い。
- ・地域別にみると、「情報の集約」の割合は、「平地域」、「上平地域」、「利賀地域」で37.5%と高い。



		どきる（個人での参加、1回限りの参加など）	活動時間や曜日の参加、1回限りの参加など	住民同士が困ったときに、助け合える関係	間・地域などが簡単に検索できる（興味・時	口（サイト）に集約されている（興味・時	自分の仕事や特技を活かせる	学校や地域の関係団体などと地域住民との	交流会やつながりを深めていく	集会所など地域活動が行える場所の整備	福祉施設などへのボランティアの受入れ体制の強化	ボランティア養成講座の積極的実施	その他	無回答
全体	N=901	34.1	29.9	27.3	14.9	14.0	7.7	4.3	3.6	1.9	10.1			
男女	男性	N=391	26.9	34.5	27.9	15.3	16.1	9.0	2.6	2.6	3.3	8.7		
	女性	N=491	40.3	25.9	26.9	15.1	12.4	6.9	5.3	4.3	0.8	11.2		
年齢別	18～29歳	N=62	27.4	24.2	35.5	16.1	27.4	4.8	1.6	3.2	3.2	4.8		
	30～39歳	N=83	36.1	21.7	27.7	18.1	14.5	6.0	1.2	1.2	6.0	7.2		
	40～49歳	N=122	31.1	23.8	27.0	22.1	19.7	4.9	5.7	4.1	4.9	3.3		
	50～59歳	N=148	38.5	25.7	33.1	16.2	14.9	5.4	3.4	4.7	0.7	7.4		
	60～69歳	N=201	41.3	33.8	31.8	16.9	10.9	4.5	5.0	6.0	1.0	6.5		
	70歳以上	N=277	29.2	35.4	19.5	8.3	9.7	13.7	5.1	1.8	0.4	18.8		
地域別	城端地域	N=146	31.5	32.9	26.0	15.8	13.7	12.3	3.4	4.1	2.7	8.2		
	平地域	N=14	28.6	28.6	35.7	35.7	28.6	14.3	-	-	-	14.3		
	上平地域	N=14	42.9	21.4	35.7	7.1	21.4	7.1	14.3	7.1	-	-		
	利賀地域	N=8	12.5	25.0	37.5	-	12.5	-	12.5	-	-	12.5		
	井波地域	N=144	32.6	30.6	27.1	13.9	13.2	9.7	6.9	1.4	1.4	10.4		
	井口地域	N=29	34.5	37.9	13.8	3.4	17.2	13.8	3.4	-	-	17.2		
	福野地域	N=227	35.2	28.2	25.6	17.2	11.0	7.5	3.1	4.4	2.2	11.0		
	福光地域	N=287	36.2	31.0	29.3	15.0	14.3	4.5	4.2	4.2	1.7	9.1		

問27. あなたのお住いの地域では、地域活動やボランティア活動についての関心は以前（約5年前）と比べて、どのように変化したと思いますか。（〇は1つだけ）

- ・「特に変化はない」が51.4%で最も高い。「より関心を持つようになった」9.3%、「より関心がなくなった」6.3%で、「より関心を持つようになった」が3ポイント高い。
- ・男女別にみると、「男性」は「より関心がなくなった」が「より関心を持つようになった」よりも約1ポイント高い一方、「女性」は「より関心を持つようになった」が11.4%で「より関心がなくなった」よりも約7ポイント高い。
- ・年齢別にみると、「18～29歳」では「より関心を持つようになった」が「より関心がなくなった」よりも約10ポイント高い。「40～49歳」では「より関心がなくなった」が「より関心を持つようになった」よりも約2ポイント高い
- ・地域別にみると、「井口地域」で「より関心を持つようになった」が17.2%と高く、「平地域」で「より関心がなくなった」が21.4%と高い。

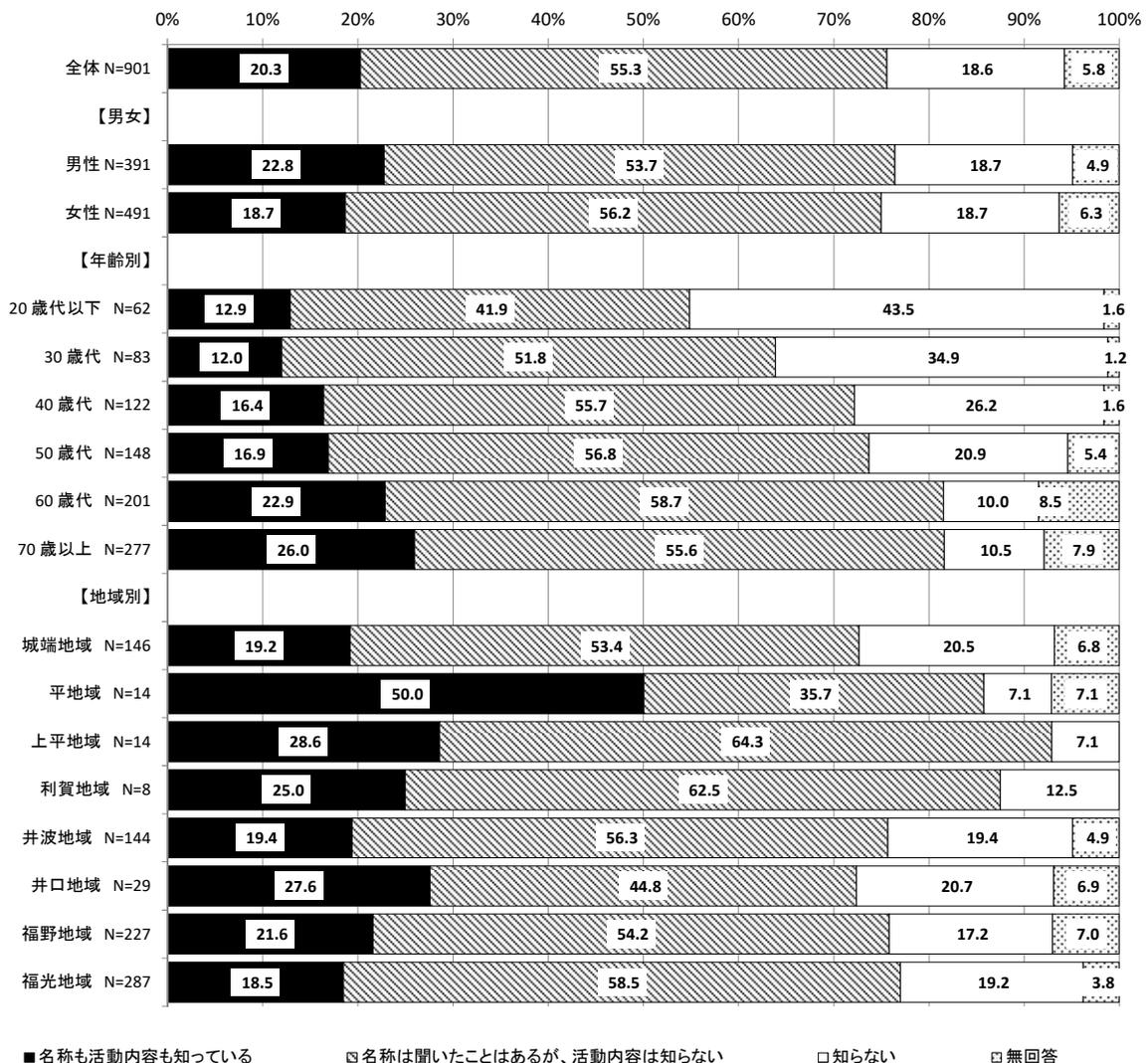


(6) 地域福祉にかかわる機関や団体について

【南砺市社会福祉協議会】

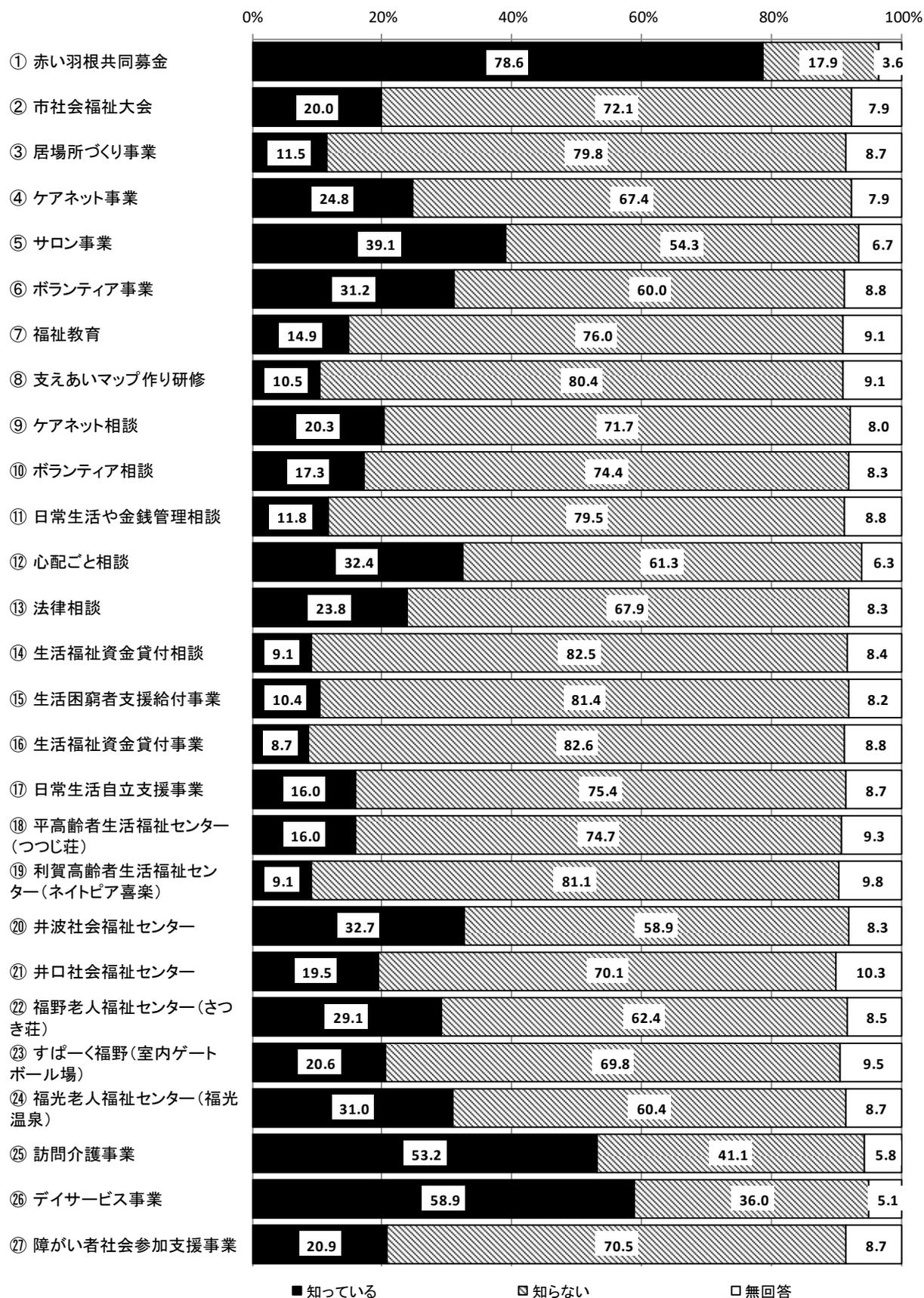
問28. あなたは南砺市社会福祉協議会のことを知っていますか。(○は1つだけ)

- ・「名称も活動内容も知っている」が20.3%、「名称は聞いたことはあるが、活動内容は知らない」が55.3%となり、認知層の合計は75.6%に達するが、活動内容まで理解している層は2割に留まる。「知らない」は18.6%となっている。
- ・男女別にみると「名称も活動内容も知っている」は、男性22.8%に対し女性18.7%と、男性の方がやや高い。
- ・年齢別にみると、「名称も活動内容も知っている」の割合は、「18～29歳」で12.9%、「70歳以上」で26.0%となり、年齢層が上がるほど認知・理解度が向上する。「18～29歳」では「知らない」が43.5%と高い。
- ・地域別にみると、「知らない」は「井口地域」、「城端地域」、「井波地域」、「福光地域」で2割前後と高い。



問29-1. あなたは南砺市社会福祉協議会が行っている以下の事業・活動をご存じですか。
(それぞれ1つに○)

- ・全27項目の活動・サービスについて、認知度（「知っている」の割合）を比較分析した。
- ・最も認知度が高いのは「①赤い羽根共同募金」で78.6%と突出しており、次いで「⑯デイサービス事業（58.9%）」、「⑮訪問介護事業（53.2%）」と続く。介護保険事業や募金活動など、歴史が長く生活に密着した事業は認知されている。
- ・地域活動・交流：「⑤ふれあいサロン事業」は39.1%、「⑥ボランティアセンター」は28.5%と中程度の認知度がある。「④ケアネット事業」は24.8%、「③居場所づくり事業」は11.5%などとなっている。
- ・相談・支援：「⑧心配ごと相談・法律相談」は32.4%あるが、「⑨生活福祉資金貸付（16.3%）」や「⑪権利擁護センター（成年後見）（14.3%）」といった専門的な相談・支援事業の認知度は10%台と低い。
- ・「⑳井波社会福祉センター（32.7%）」など、地域の拠点は一定の認知がある。



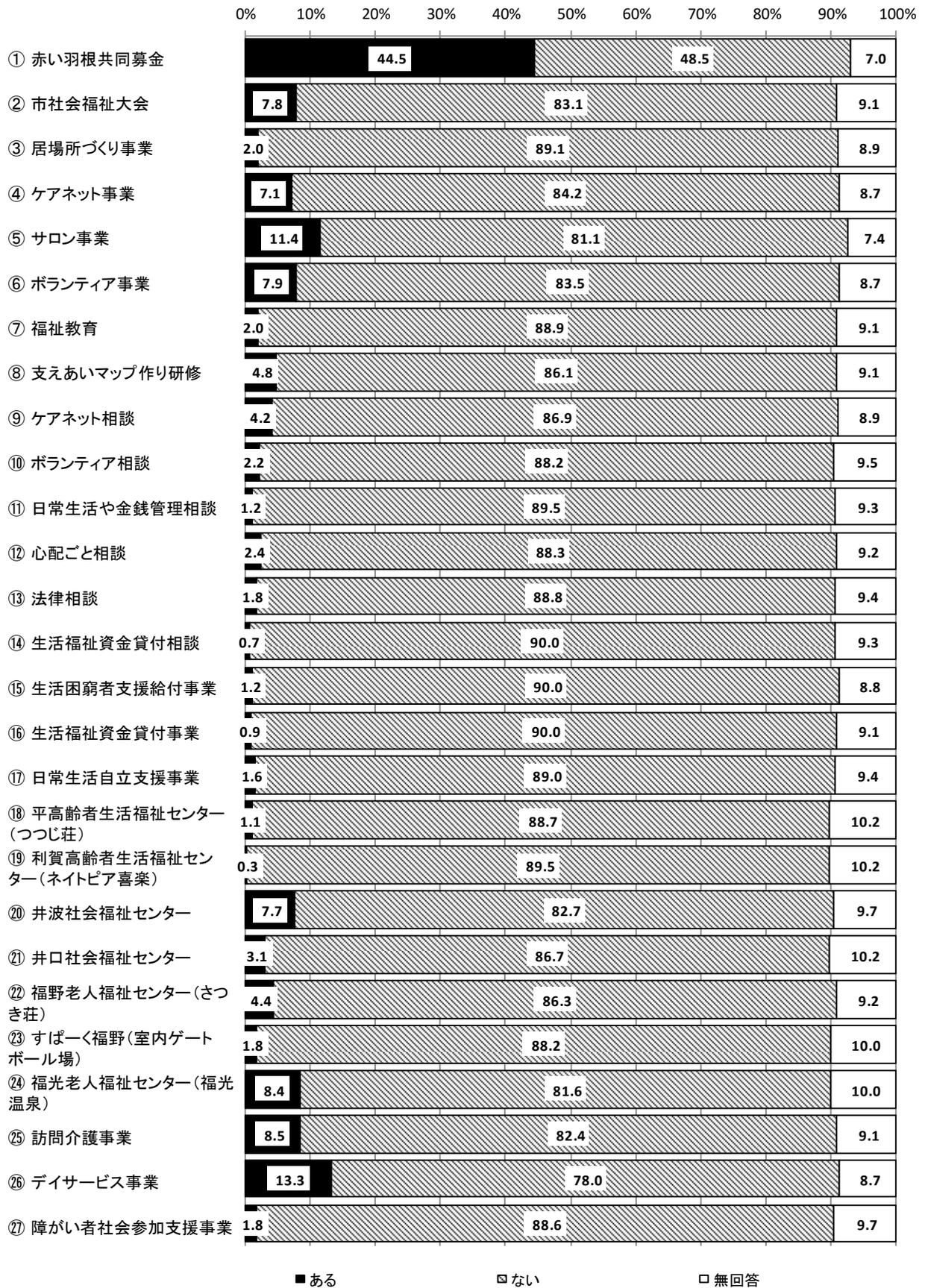
■ 知っている

□ 知らない

□ 無回答

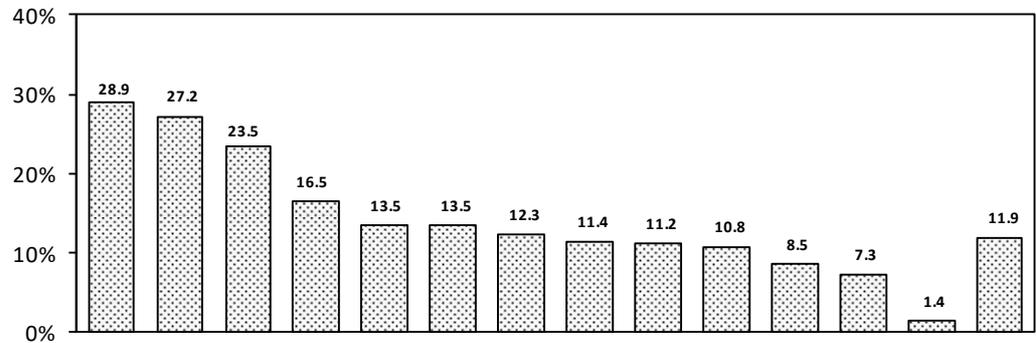
問29-2. あなたは南砺市社会福祉協議会が行っている以下の事業・活動に参加したり利用したことがありますか。（それぞれ1つに○）

- ・参加率が最も高いのは「①赤い羽根共同募金」で44.5%であった。しかし、認知度（78.6%）と比較すると約34ポイントの乖離があり、「知っているが協力していない」層が一定数存在する。これに次ぐのは「㉔デイサービス事業（13.3%）」、「⑤ふれあいサロン事業（11.4%）」であるが、いずれも1割台に留まる。
- ・ボランティア・地域貢献：「⑥ボランティアセンター（登録・活動）」の利用は3.7%、「⑰善意銀行（寄付）」は4.3%と低調である。
- ・相談・貸付：「⑧心配ごと相談」の利用は2.6%、「⑨生活福祉資金貸付」は1.2%と低い。これは利用対象者が限定される性質もあるが、相談のハードルが高い可能性も示唆される。
- ・施設利用：「㉔福光老人福祉センター（8.4%）」や「㉕井波社会福祉センター（7.7%）」など、入浴設備等を持つ施設の利用が一定数見られる。
- ・「認知度」と「利用率」のギャップが最も大きいのは「①赤い羽根共同募金」であり、次いで「㉖訪問介護」「㉗デイサービス」である。



問30. 南砺市社会福祉協議会が行う活動・支援として、今後充実して欲しいものは次のどれですか。（あてはまるもの3つまで○）

- ・「介護保険サービス」が28.9%、「情報提供、相談窓口の充実」が27.2%、「災害支援活動」が23.5%の順となっている。

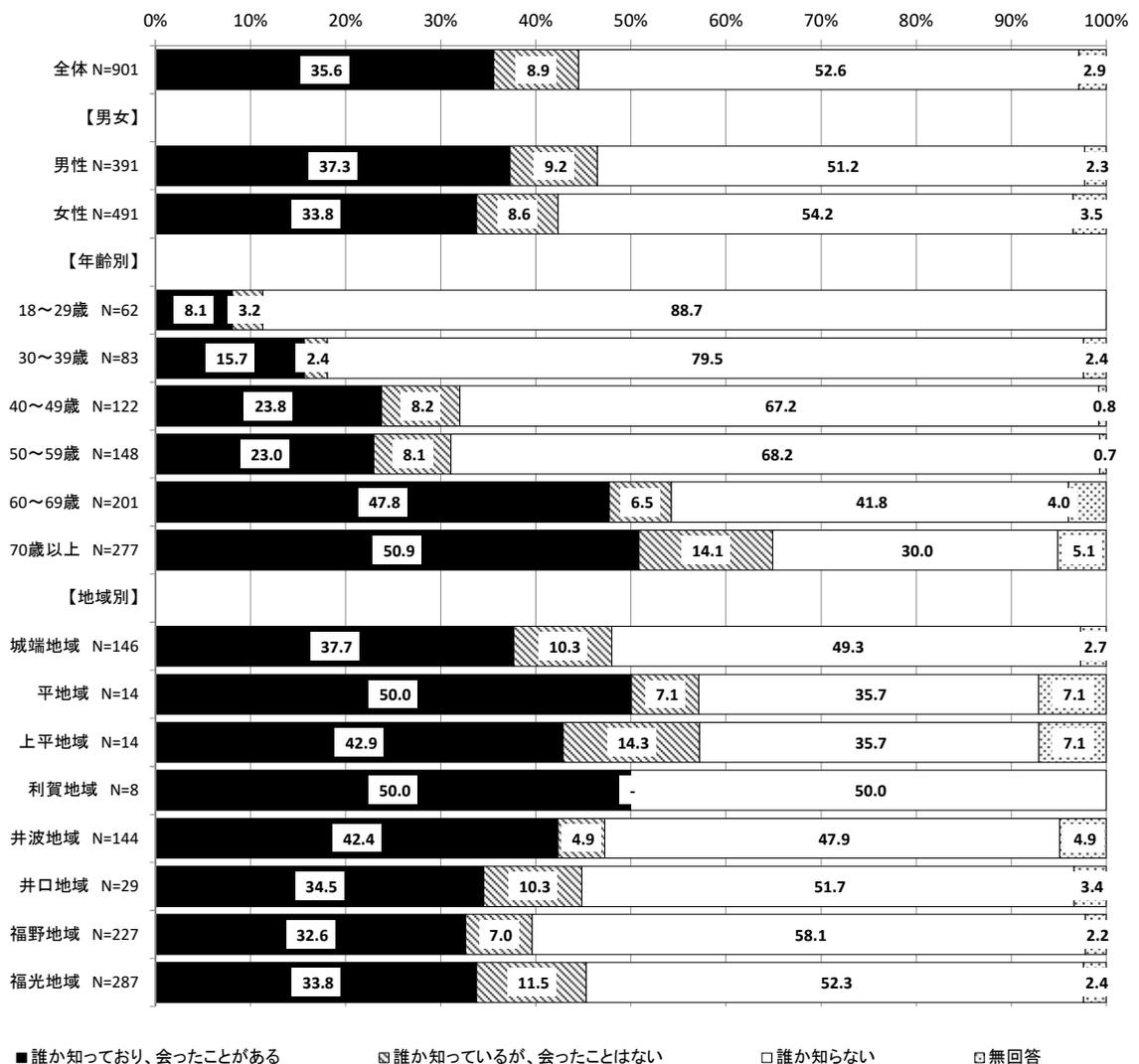


		介護保険サービス	情報提供、相談窓口の充実	災害支援活動	住民による地域見守り活動	子育てサロンへの支援	地域活動に携わる人材育成	地域づくり協議会と福祉活動の連携	ボランティア活動への参加促進支援	関係機関とのネットワークづくり	ふれあいサロンの支援	レクリエーション等の住民交流	福祉についての学習会・研修会	その他	無回答
全体	N=901	28.9	27.2	23.5	16.5	13.5	13.5	12.3	11.4	11.2	10.8	8.5	7.3	1.4	11.9
男女	男性 N=391	27.9	26.1	26.3	13.8	11.5	14.6	14.1	11.3	13.6	7.7	8.4	5.6	2.0	11.8
	女性 N=491	29.1	28.3	21.6	18.9	15.5	13.0	11.0	11.6	9.4	13.4	8.6	8.8	1.0	11.6
年齢別	18～29歳 N=62	21.0	24.2	16.1	14.5	35.5	16.1	-	14.5	8.1	1.6	8.1	6.5	-	12.9
	30～39歳 N=83	12.0	27.7	30.1	9.6	25.3	8.4	9.6	8.4	13.3	3.6	6.0	7.2	3.6	6.0
	40～49歳 N=122	19.7	30.3	24.6	18.9	22.1	7.4	11.5	13.9	13.1	7.4	10.7	3.3	1.6	5.7
	50～59歳 N=148	31.8	33.1	24.3	14.2	10.8	15.5	12.8	10.8	18.2	8.8	7.4	7.4	2.0	7.4
	60～69歳 N=201	35.8	32.8	23.4	16.9	9.5	14.4	14.4	10.4	10.9	10.4	9.0	10.4	1.0	11.4
	70歳以上 N=277	33.2	19.1	23.1	19.5	5.8	15.5	14.8	11.9	7.2	18.1	8.3	7.2	1.1	18.1
地域別	城端地域 N=146	29.5	28.1	26.0	19.2	13.0	13.0	8.9	10.3	10.3	8.9	10.3	12.3	2.1	13.0
	平地域 N=14	35.7	42.9	28.6	14.3	21.4	7.1	7.1	14.3	14.3	21.4	21.4	7.1	-	14.3
	上平地域 N=14	35.7	14.3	14.3	28.6	14.3	21.4	14.3	7.1	35.7	21.4	7.1	7.1	-	7.1
	利賀地域 N=8	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	25.0	-	-	12.5	12.5	-	-	25.0
	井波地域 N=144	27.8	29.9	27.1	16.0	13.9	13.9	10.4	12.5	9.7	11.8	7.6	5.6	2.1	11.1
	井口地域 N=29	27.6	20.7	10.3	10.3	10.3	13.8	27.6	10.3	-	17.2	6.9	3.4	3.4	17.2
	福野地域 N=227	29.1	28.6	21.6	16.3	13.2	14.1	12.3	11.5	8.8	12.3	7.5	8.8	1.3	11.5
	福光地域 N=287	28.2	26.1	25.1	17.1	13.6	13.2	13.6	12.5	13.9	8.7	8.7	5.9	1.0	9.8

【民生委員・児童委員について】

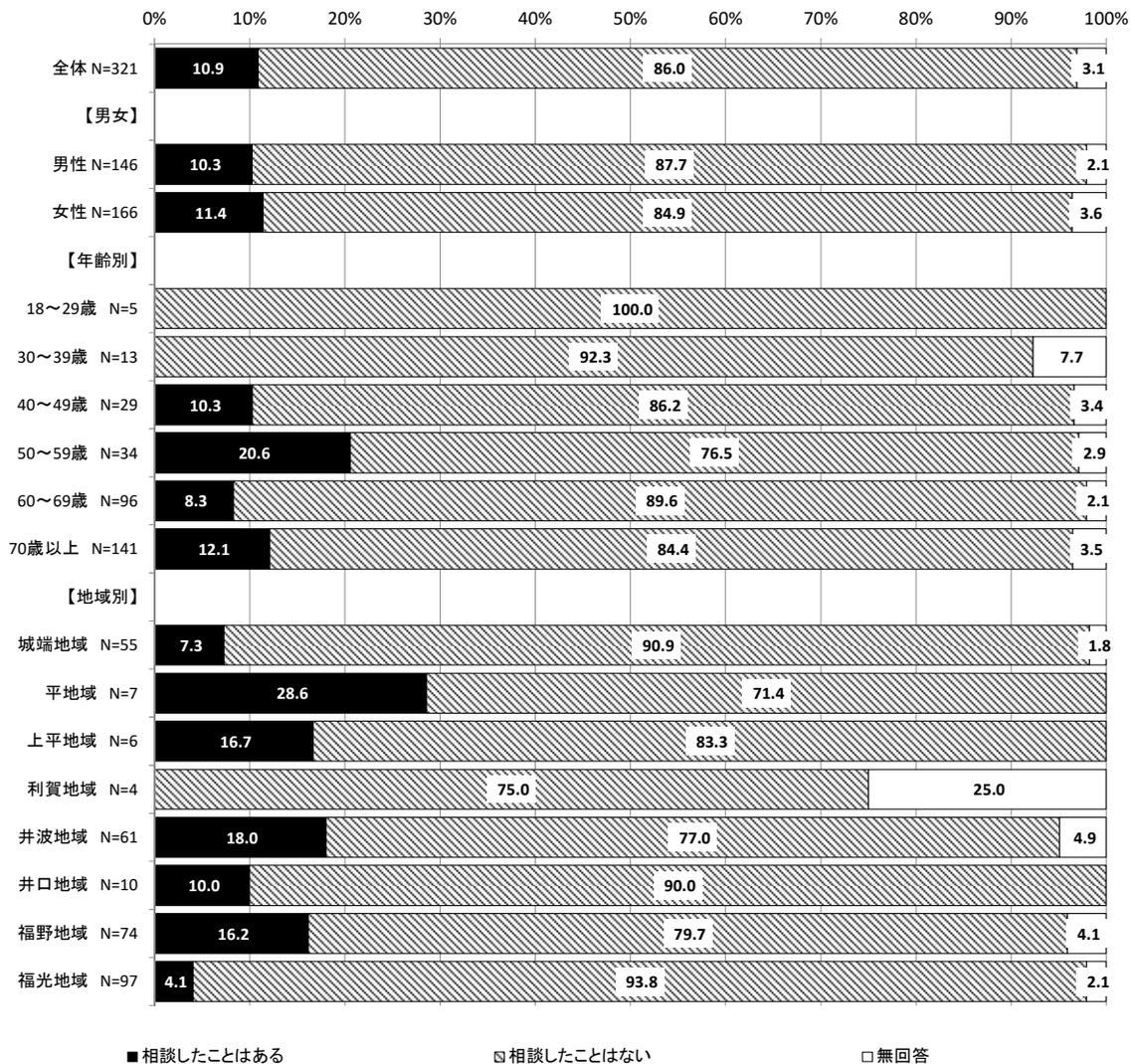
問31. あなたの住んでいる地域の民生委員・児童委員（主任児童委員含む）※（以下民生委員・児童委員という）が誰かご存じですか。（○は1つだけ）

- ・「誰か知らない」が52.6%で最も高く、次いで「誰か知っており、会ったことがある」が35.6%であった。「誰か知っており、会ったことがある（35.6%）」と「誰か知っているが、会ったことはない（8.9%）」を合わせても認知度は半数以下である。
- ・男女別にみると、「誰か知っており、会ったことがある」は「男性」37.3%、「女性」33.8%で「男性」が約4ポイント高い。
- ・年齢別にみると「知らない」は「18～29歳」で88.7%と最も高く、年齢が高くなるにつれて低くなり「70歳以上」で30.0%となっている。
- ・地域別にみると、「誰か知らない」は「井口地域」、「福野地域」、「福光地域」で5割を超えている。



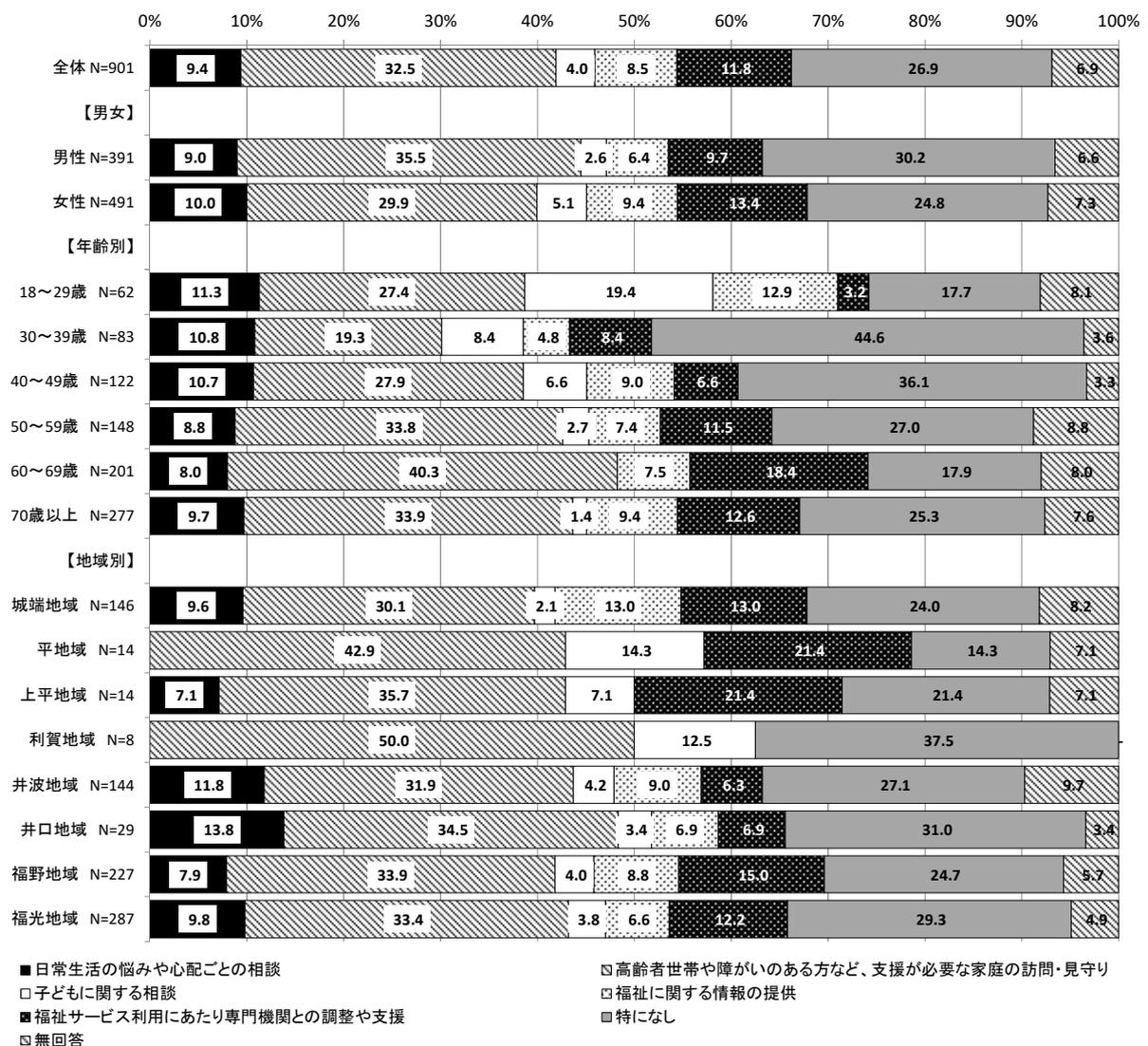
問31-1 あなたは民生委員・児童委員に相談したことはありますか。(○は1つだけ)

- ・「相談したことはある」が10.9%であった。
- ・男女間で大きな差異は見られない。
- ・年齢別にみると、18～39歳で相談経験があるとの回答はみられない。「相談したことはある」は「50～59歳」で20.6%と高い。
- ・地域別にみると「平地地域」で「相談したことはある」が28.6%と高い。



問32. 民生委員・児童委員の活動のうち、あなたが今後、特に充実してほしいと思う項目はどれですか。（〇は1つだけ）

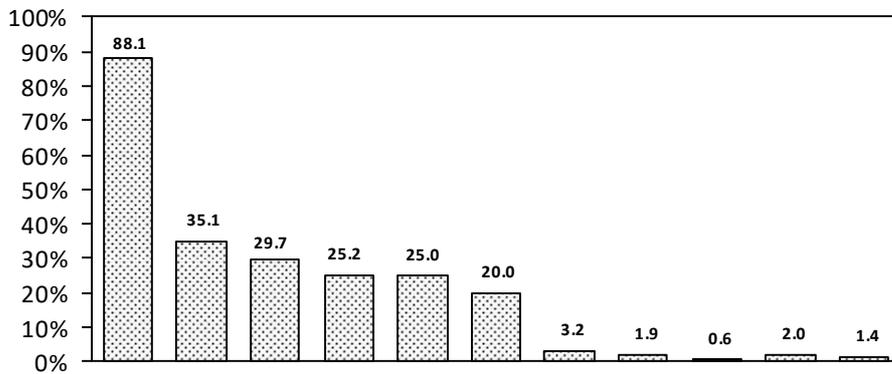
- ・「高齢者世帯や障がいのある方など、支援が必要な家庭の訪問・見守り」が32.5%で最も多く、「福祉サービス利用にあたり専門機関との調整や支援」が11.8%で続く。「特になし」が26.9%であった。
- ・男女別にみると「特になし」は「男性」30.2%、「女性」24.8%で「男性」が約5ポイント高い。
- ・年齢別にみると「子どもに関する相談」は「18～29歳」で19.4%と高い。「特になし」は「30～39歳」で44.6%と最も高く、年齢が高くなるにつれて低くなる傾向が見られる。
- ・地域別にみると「特になし」は、「利賀地域」や「井口地域」で3割を超えて高い。



(7) 地域防災への取り組みについて

問33. あなたは、ご自身が災害にあわれたとき、主にどこ（誰）を頼りにしますか。
 （あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください）

- ・「家族・親族」が88.1%で最も多く、次いで「近所の人」が35.1%であった。
- ・男女別にみると、「自治会・町内会」は「男性」34.0%に対して「女性」25.7%と「男性」が約8ポイント高い。
- ・年齢別にみると、「家族・親族」は全世代で80%以上と高く、30～49歳では9割を超える。
- ・「近所の人」は70歳以上で45.8%と高く、年齢が高くなるほど高くなる傾向が見られる。
- ・地域別にみると「近所の人」は「平地域」、「上平地域」「利賀地域」で5割を超えて高い。

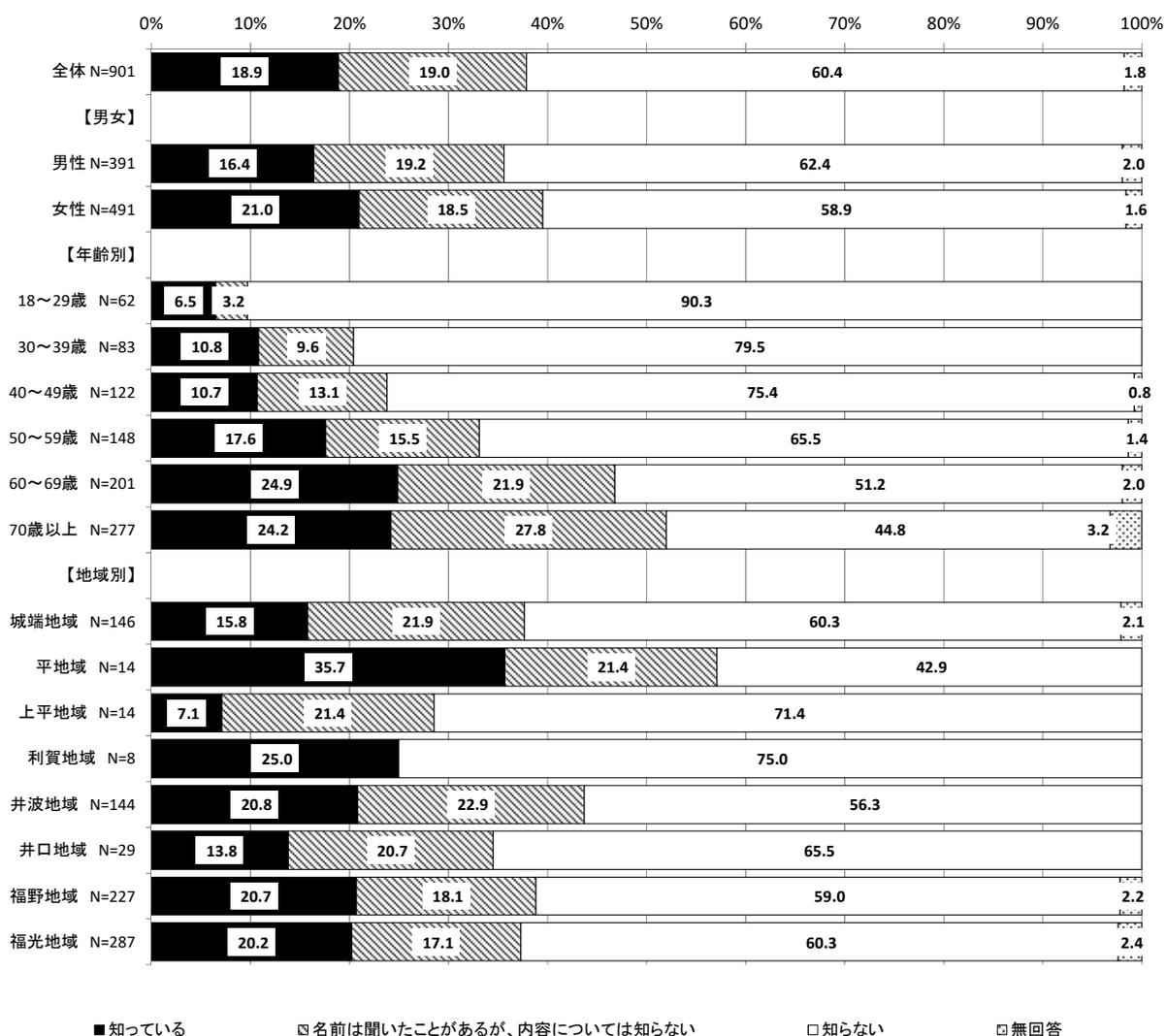


		家族・親族	近所の人	自治会・町内会	市役所	警察・消防署	友人	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	その他	特にない	無回答
全体	N=901	88.1	35.1	29.7	25.2	25.0	20.0	3.2	1.9	0.6	2.0	1.4
男女	男性 N=391	85.2	37.6	34.0	26.9	26.3	22.0	2.0	1.0	0.8	3.6	1.5
	女性 N=491	90.2	32.8	25.7	24.2	24.2	18.3	4.3	2.6	0.4	0.8	1.4
年齢別	18～29歳 N=62	88.7	19.4	12.9	25.8	27.4	33.9	-	-	1.6	4.8	1.6
	30～39歳 N=83	92.8	16.9	16.9	22.9	31.3	27.7	1.2	-	1.2	1.2	-
	40～49歳 N=122	92.6	27.0	27.0	27.0	31.1	19.7	2.5	1.6	-	-	-
	50～59歳 N=148	87.2	37.8	32.4	23.6	25.7	26.4	2.7	2.7	0.7	0.7	0.7
	60～69歳 N=201	88.6	35.8	29.4	29.9	27.4	14.4	2.5	1.0	-	3.0	2.0
	70歳以上 N=277	84.5	45.8	37.5	22.7	18.4	14.8	5.8	3.2	0.7	2.5	2.5
地域別	城端地域 N=146	87.0	31.5	28.1	26.0	28.1	15.1	3.4	2.1	-	1.4	2.1
	平地域 N=14	92.9	50.0	35.7	35.7	57.1	7.1	-	-	-	-	-
	上平地域 N=14	85.7	57.1	14.3	35.7	14.3	28.6	7.1	-	-	-	-
	利賀地域 N=8	87.5	50.0	50.0	12.5	25.0	12.5	-	12.5	-	-	-
	井波地域 N=144	90.3	29.9	29.9	21.5	28.5	22.2	3.5	3.5	1.4	3.5	-
	井口地域 N=29	93.1	34.5	27.6	27.6	20.7	13.8	6.9	3.4	-	-	3.4
	福野地域 N=227	87.2	33.5	26.9	31.3	24.2	19.8	4.4	1.3	0.4	2.6	1.3
	福光地域 N=287	88.2	39.0	33.8	20.9	23.3	22.3	1.7	1.4	0.7	1.0	2.1

問34. あなたは避難行動要支援者支援制度の取り組みを知っていますか。

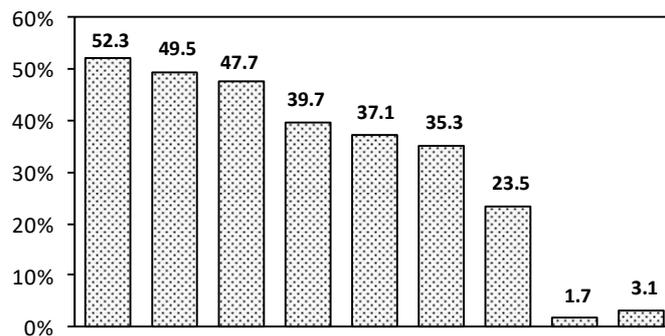
(○は1つだけ)

- ・「知らない」が60.4%で最も多く、次いで「知っている」が18.9%であった。
- ・男女別にみると「知っている」は「男性」16.4%、「女性」21.0%で「女性」が約5ポイント高い。
- ・年齢別にみると、「知らない」は「18～29歳」で90.3%、「70歳以上」で44.8%と年齢が高くなるに従って低くなる傾向が見られる。
- ・地域別にみると、「知らない」は、「平地域」で最も低く42.9%、「利賀地域」で最も高く75.0%となっている。



問35. あなたは、地域における災害時の備えとして、どのような取り組みが重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- ・「危険箇所や避難場所の把握」が52.3%で最も高く、「災害時の非常食の備蓄」が49.5%、「日頃からのあいさつ、声かけや関係づくり」が47.7%と続く。
- ・男女別にみると「日頃からのあいさつ、声かけや関係づくり」は「男性」39.9%に対し「女性」53.8%と「女性」が約14ポイント高く、「災害時の非常食の備蓄」も「女性」が約9ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると「災害時の非常食の備蓄」は年齢が低いほど高い傾向が見られる。
- ・地域別にみると、「危険箇所や避難場所の把握」は「上平地域」で85.7%と最も高い。



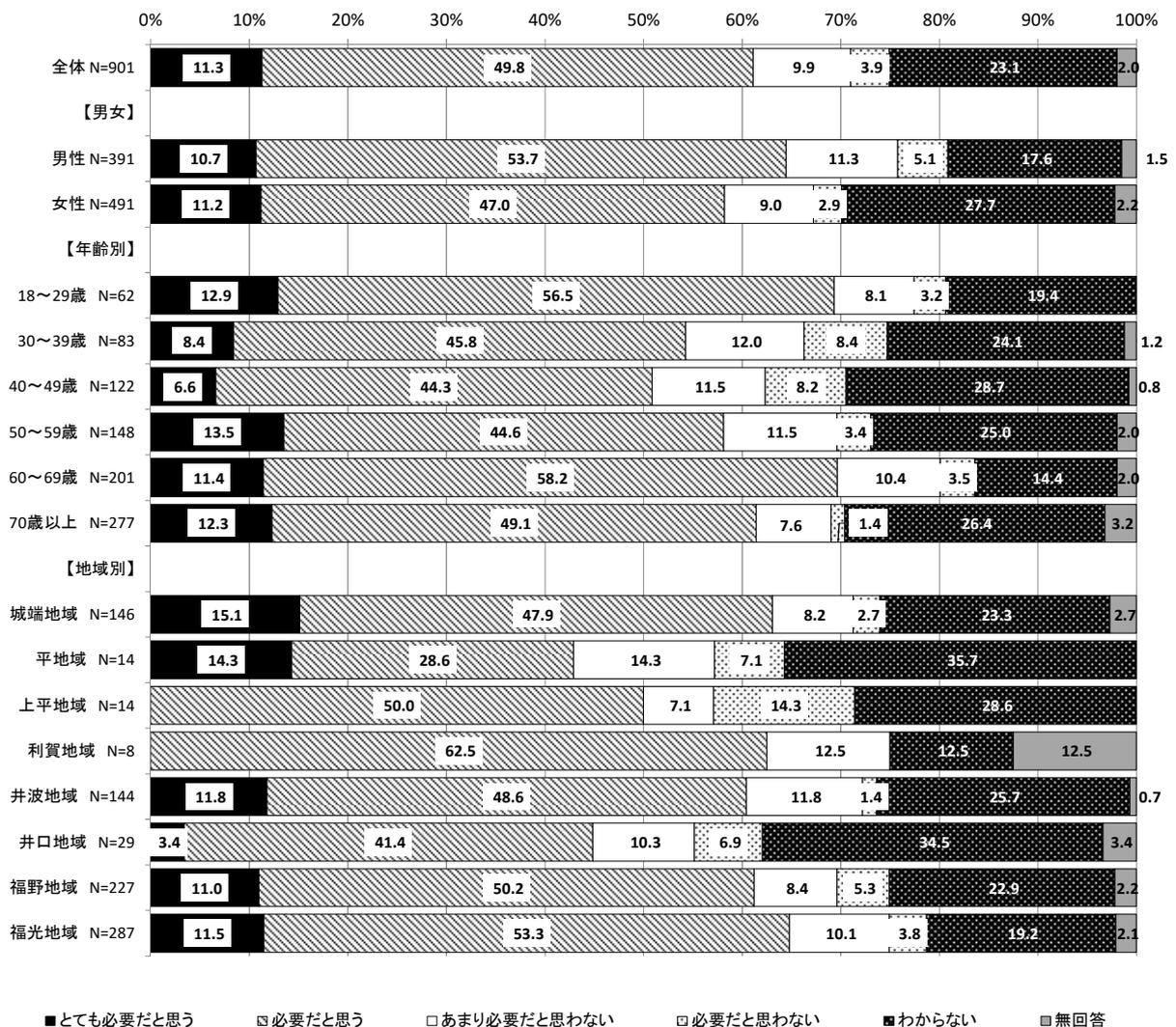
		危険箇所や避難場所の把握	災害時の非常食の備蓄	日頃からのあいさつ、声かけや関係づくり	防災訓練、避難訓練の実施	マットの作成	必要とする人への把握	避難行動要支援者への把握	災害ボランティア体制の整備	その他	無回答
全体	N=901	52.3	49.5	47.7	39.7	37.1	35.3	23.5	1.7	3.1	
男女	男性	N=391	52.7	44.5	39.9	39.1	36.3	32.5	20.7	2.6	3.3
	女性	N=491	52.5	53.8	53.8	40.5	38.1	37.7	26.3	1.0	3.1
年齢別	18～29歳	N=62	62.9	62.9	51.6	37.1	41.9	27.4	17.7	3.2	1.6
	30～39歳	N=83	48.2	65.1	41.0	26.5	34.9	26.5	21.7	2.4	1.2
	40～49歳	N=122	54.9	53.3	46.7	46.7	37.7	32.0	25.4	2.5	-
	50～59歳	N=148	51.4	49.3	48.0	38.5	35.1	32.4	27.7	0.7	2.0
	60～69歳	N=201	57.7	42.3	45.8	45.3	43.3	44.8	24.9	2.0	1.5
	70歳以上	N=277	47.3	45.8	50.5	37.9	32.9	36.8	21.7	0.7	7.2
地域別	城端地域	N=146	52.7	49.3	47.3	44.5	32.9	30.8	17.1	0.7	3.4
	平地域	N=14	64.3	57.1	64.3	35.7	28.6	64.3	42.9	-	-
	上平地域	N=14	85.7	42.9	50.0	35.7	21.4	42.9	35.7	-	-
	利賀地域	N=8	50.0	62.5	12.5	37.5	50.0	37.5	12.5	-	12.5
	井波地域	N=144	50.0	47.2	51.4	38.9	43.1	36.1	20.8	0.7	1.4
	井口地域	N=29	62.1	51.7	41.4	31.0	31.0	44.8	27.6	6.9	6.9
	福野地域	N=227	51.5	48.9	45.4	34.8	33.5	28.2	20.7	3.1	3.1
	福光地域	N=287	50.9	50.2	47.4	43.6	40.1	41.5	27.9	1.4	3.1

(8) 制度について

【生活困窮者自立支援制度】

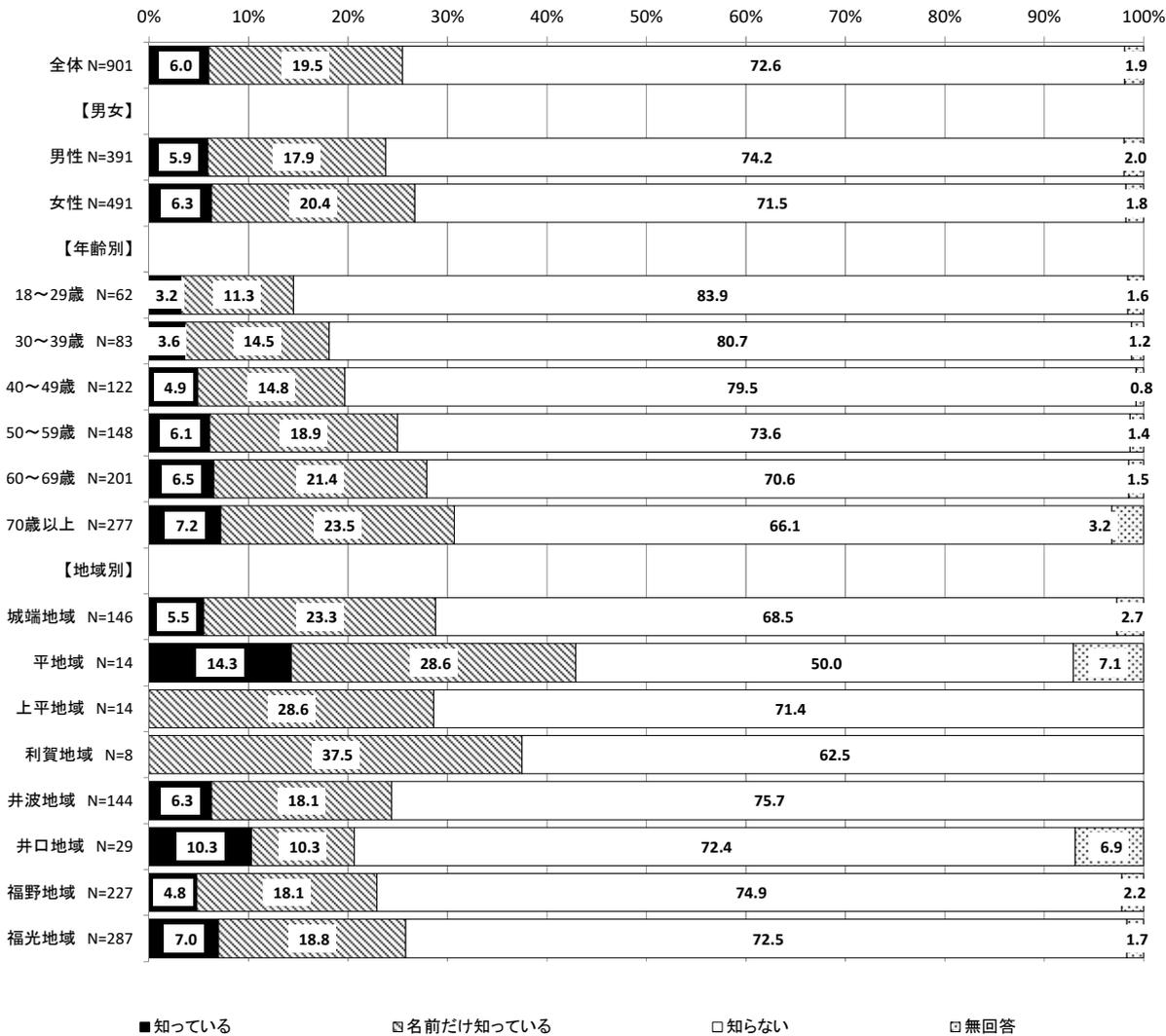
問36. あなたは、生活困窮者（仕事や生活に困っている人）を、地域で支えることが必要だと思いますか。（○は1つだけ）

- ・「必要だと思う」が49.8%で最も高く、次いで「わからない」が23.1%であった。『必要だと思う（「とても必要だと思う」＋「必要だと思う」）』は61.1%となっている。
- ・男女別にみると『必要だと思う』は「男性」64.4%、「女性」58.2%で「男性」が約6ポイント高い。
- ・年齢別にみると『必要だと思う』は「60～69歳」で69.6%と最も高く、「18～29歳」も69.4%と高い。「40～49歳」は50.9%と最も低くなっている。
- ・地域別にみると『必要だと思う』は「福光地域」で64.8%と最も高く、「平地域」、「井口地域」では5割を下回り低い。



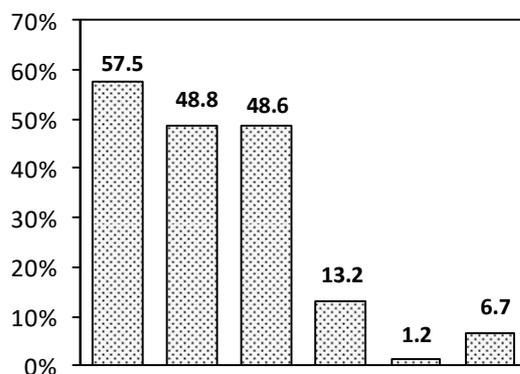
問37. 南砺市では、生活困窮者自立支援制度に基づく相談窓口として、市役所福祉課内に南砺市社会福祉事務所生活相談支援窓口を開設していますが、ご存知ですか。（〇は1つだけ）

- ・「知らない」が72.6%で最も多く、次いで「名前だけ知っている」が19.5%であった。
- ・男女別にみると、「知らない」は「男性」74.2%、「女性」71.5%で「男性」が約3ポイント高い。
- ・年齢別にみると「知らない」は「18～29歳」で83.9%、「70歳以上」で66.1%と年齢が高くなるに従って低くなっている。
- ・地域別にみると「知らない」は、「平地域」で50.0%と最も低く、「井波地域」で75.7%で最も高くなっている。



問38. 生活困窮者の自立支援に向けて、市が行うべき支援として望ましいと思うのはどのような取り組みですか。（あてはまるものすべてに○）

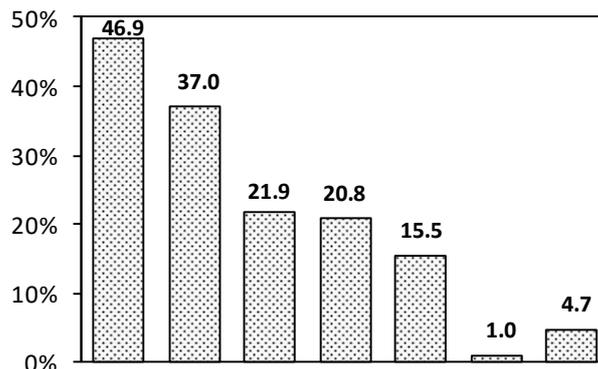
- ・「ハローワークと連携し、仕事を斡旋する」が57.5%で最も高く、次いで「相談支援窓口の充実」が48.8%、「職業訓練などの就労支援」が48.6%であった。
- ・男女別にみると「職業訓練などの就労支援」では「男性」42.7%に対し「女性」53.2%と「女性」が約11ポイント高い。
- ・年齢別にみると「ハローワークと連携し、仕事を斡旋する」は「18～29歳」で69.4%、「50～59歳」で66.9%と高い。
- ・地域別にみると「ハローワークと連携し、仕事を斡旋する」は、「井波地域」で最も高く66.0%、「上平地域」で最も低く28.6%となっている。



		しハロワークと連携	相談支援窓口の充実	職業訓練などの就労支援	生活再建に向けた貸付	その他	無回答	
全体		N=901	57.5	48.8	48.6	13.2	1.2	6.7
男女	男性	N=391	59.8	44.8	42.7	13.6	2.0	6.6
	女性	N=491	55.6	52.1	53.2	13.4	0.6	6.7
年齢別	18～29歳	N=62	69.4	30.6	51.6	9.7	1.6	1.6
	30～39歳	N=83	60.2	37.3	60.2	15.7	2.4	3.6
	40～49歳	N=122	60.7	42.6	59.8	15.6	0.8	4.9
	50～59歳	N=148	66.9	43.2	56.1	14.2	1.4	2.7
	60～69歳	N=201	58.2	61.7	50.7	16.4	1.5	2.5
	70歳以上	N=277	47.3	52.0	34.3	9.7	0.7	14.8
地域別	城端地域	N=146	58.2	47.3	49.3	11.0	0.7	9.6
	平地域	N=14	28.6	57.1	42.9	14.3	7.1	21.4
	上平地域	N=14	28.6	64.3	50.0	14.3	-	-
	利賀地域	N=8	37.5	62.5	12.5	25.0	-	12.5
	井波地域	N=144	66.0	50.0	45.8	11.8	0.7	6.3
	井口地域	N=29	62.1	51.7	51.7	6.9	-	-
	福野地域	N=227	56.4	45.4	48.0	13.7	2.6	8.8
	福光地域	N=287	55.1	50.5	50.9	15.0	0.7	3.8

問39. 地域で生活困窮者を支援する場合、あなたならどのような支援ができますか。
(あてはまるものすべてに○)

- ・「本人や家族に相談窓口に行くよう促す」が46.9%で最も多く、次いで「行政等の専門機関に相談する」が37.0%であった。「地域で支援はできない」は15.5%となっている。
- ・男女別にみると「本人や家族に相談窓口に行くよう促す」は「男性」42.5%に対して「女性」50.5%と「女性」が8ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「地域で支援はできない」は『30～39歳』で2割を超えて高くなっている。
- ・地域別にみると、「地域で支援はできない」は「井口地域」で31.0%と高い。

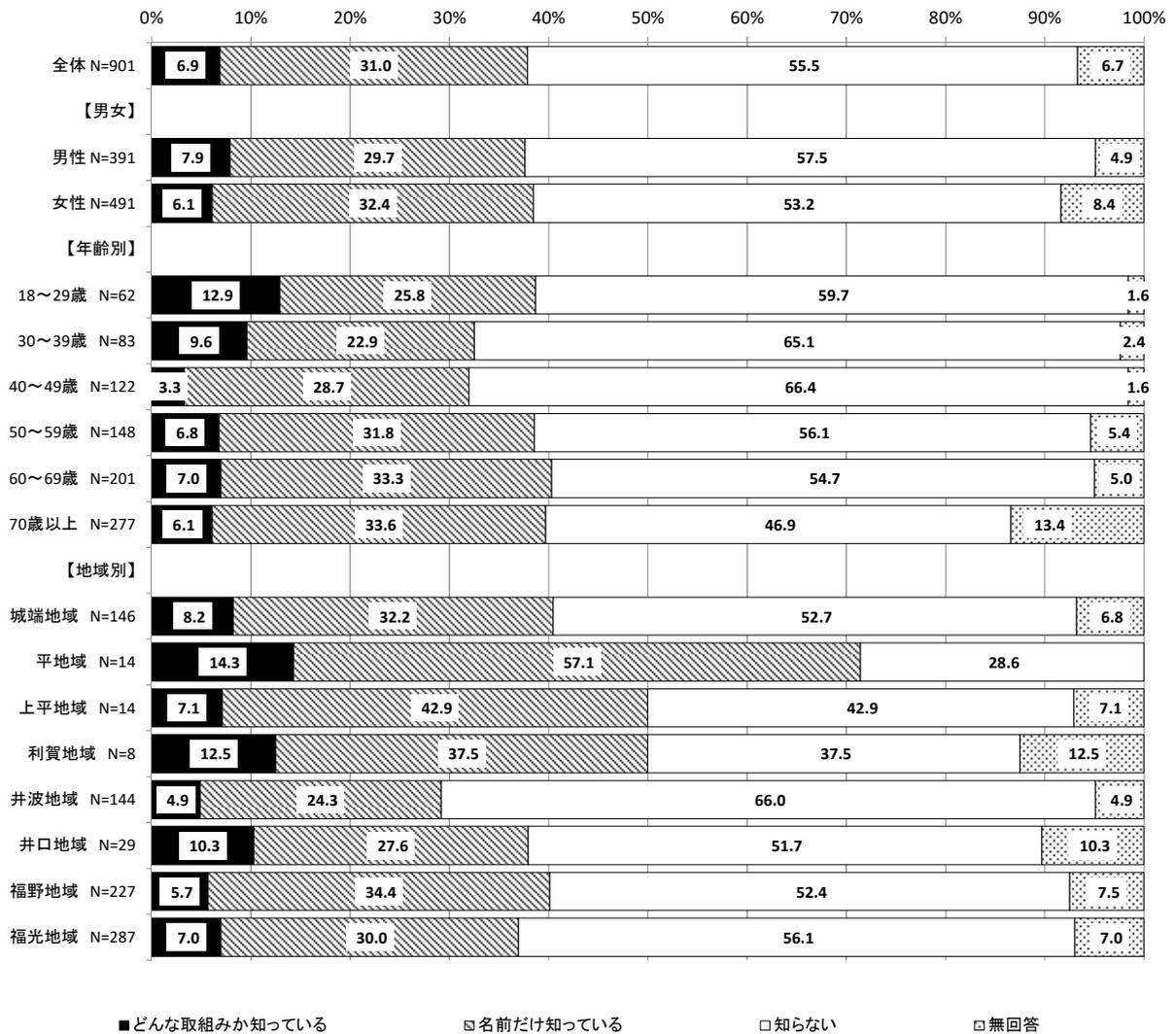


		に本人や家族に相談窓口	談する行政等の専門機関に相	相自治会長・町内会長に	相民生委員・児童委員に	地域で支援はできない	その他	無回答
全体	N=901	46.9	37.0	21.9	20.8	15.5	1.0	4.7
男女	男性 N=391	42.5	37.1	23.3	19.4	19.4	1.3	4.6
	女性 N=491	50.5	37.3	21.0	21.6	12.8	0.8	4.7
年齢別	18～29歳 N=62	51.6	35.5	11.3	16.1	14.5	1.6	3.2
	30～39歳 N=83	41.0	39.8	15.7	12.0	20.5	2.4	2.4
	40～49歳 N=122	48.4	30.3	13.9	10.7	23.8	-	3.3
	50～59歳 N=148	41.2	39.2	20.3	17.6	14.9	0.7	3.4
	60～69歳 N=201	44.3	45.3	29.4	27.9	12.9	1.5	2.0
	70歳以上 N=277	52.0	32.5	25.6	24.9	13.4	0.7	8.7
地域別	城端地域 N=146	45.9	34.9	17.8	26.0	13.7	1.4	7.5
	平地地域 N=14	42.9	35.7	28.6	21.4	28.6	-	7.1
	上平地地域 N=14	57.1	71.4	-	14.3	7.1	-	-
	利賀地域 N=8	37.5	25.0	25.0	50.0	25.0	12.5	12.5
	井波地域 N=144	46.5	39.6	21.5	25.7	12.5	1.4	2.1
	井口地域 N=29	44.8	20.7	20.7	13.8	31.0	-	-
	福野地域 N=227	45.8	38.8	22.5	15.4	15.9	0.9	5.3
福光地域 N=287	46.7	36.2	25.4	20.9	15.7	0.7	3.8	

【再犯防止の取り組み】

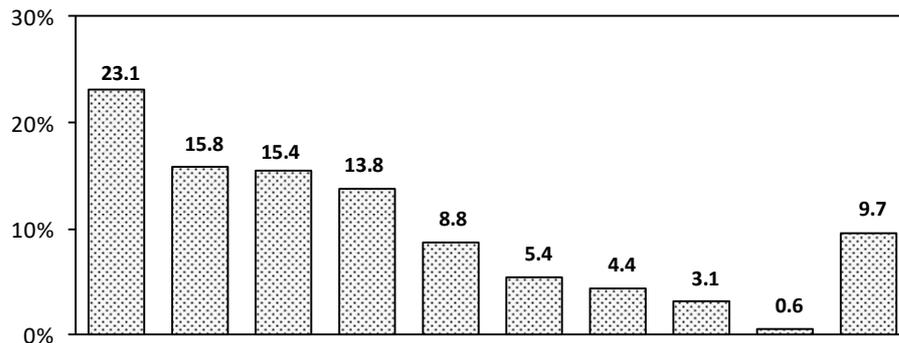
問40. あなたは、再犯防止の取組みをご存知ですか。（○は1つだけ）

- ・「知らない」が55.5%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」が31.0%であった。
- ・男女間で大きな差は見られない。
- ・年齢別にみると「知らない」は「40～49歳」で66.4%と最も高く、「70歳以上」で46.9%と最も低い。
- ・地域別にみると「知らない」は、井波地域で66.0%と最も高く、平地域で28.6%と最も低い。



問41. 犯罪をした人が円滑に社会復帰できるよう支援することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（○は1つだけ）

- ・「地域の安全・安心のためにはある程度の支援が必要」が23.1%で最も高く、次いで「市役所など行政や関係機関が責任をもって積極的に支援するべきである」が15.8%、「犯罪をした人とかかわりを持ちたくない」が15.4%であった。
- ・男女別にみると「一般住民として生活できるよう事業所や市民への啓発が必要」では「男性」10.2%に対して「女性」15.7%と、「女性」が約6ポイント高い。
- ・年齢別にみると「犯罪をした人とかかわりを持ちたくない」は『30～49歳』で2割を超えて高くなっている。

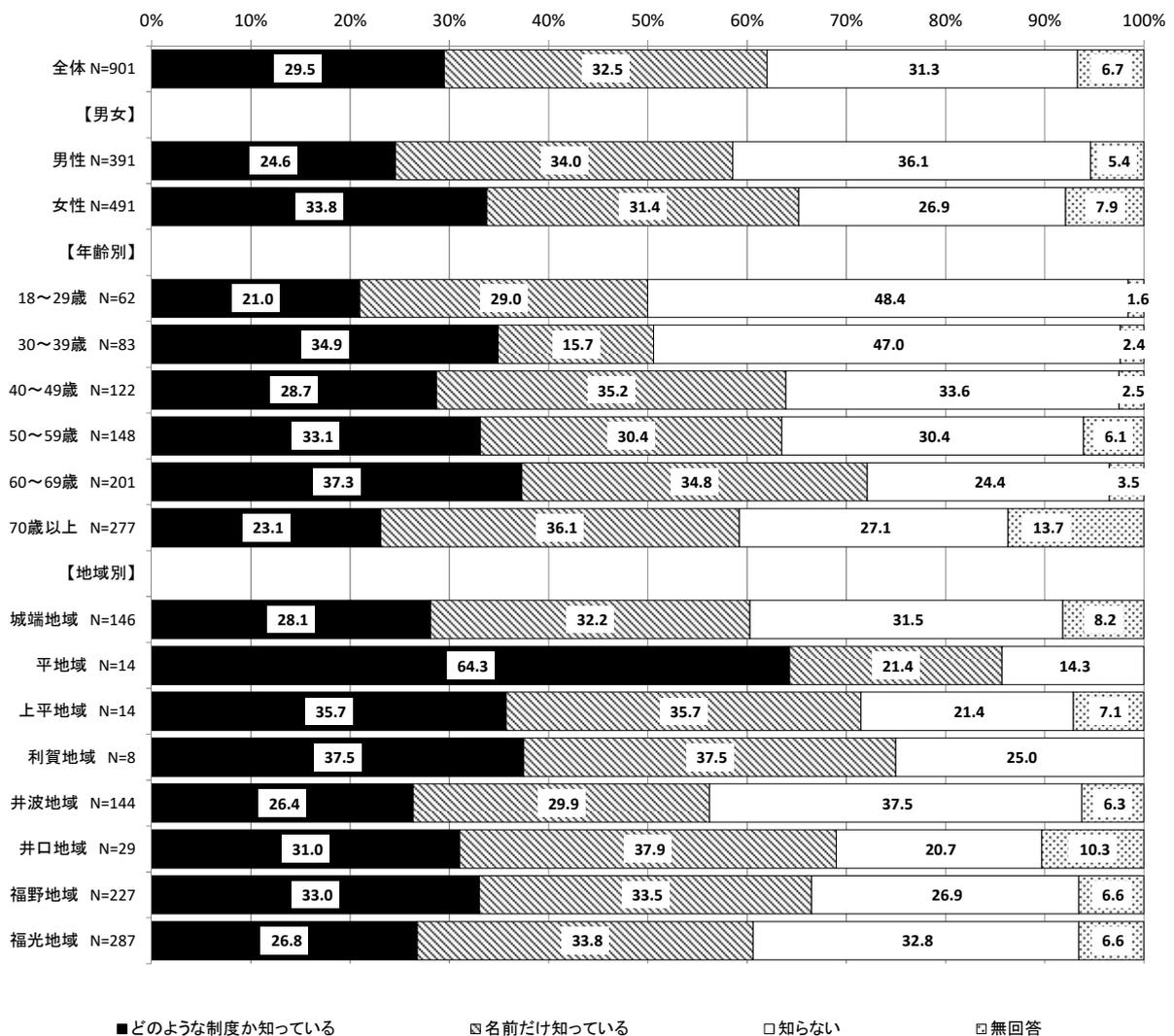


			度の地域の支援が必要	も市役所など行政や関係機関が責任を	ない犯罪をした人とかかわりを持ちたく	所一般住民として生活できるよう事業	極住民の協力を得て社会全体として積	興味・関心がない	に少年院からの出所については、積極的	特別な支援や配慮は必要ない	その他	無回答
全体	N=901		23.1	15.8	15.4	13.8	8.8	5.4	4.4	3.1	0.6	9.7
男女	男性	N=391	21.5	16.4	17.6	10.2	10.0	6.4	4.6	4.9	0.5	7.9
	女性	N=491	24.6	15.5	14.1	15.7	7.9	4.5	4.3	1.8	0.6	11.0
年齢別	18～29歳	N=62	25.8	9.7	19.4	17.7	3.2	8.1	8.1	3.2	1.6	3.2
	30～39歳	N=83	21.7	15.7	27.7	6.0	7.2	8.4	3.6	4.8	1.2	3.6
	40～49歳	N=122	22.1	15.6	26.2	5.7	7.4	7.4	4.9	4.9	-	5.7
	50～59歳	N=148	22.3	14.2	18.9	11.5	9.5	6.8	5.4	2.0	-	9.5
	60～69歳	N=201	22.9	19.9	11.4	18.4	10.0	3.0	5.0	2.0	1.5	6.0
	70歳以上	N=277	23.8	14.8	7.6	16.2	10.1	3.6	2.9	3.2	-	17.7
	地域別	城端地域	N=146	19.2	19.9	12.3	15.8	7.5	5.5	3.4	4.1	-
	平地域	N=14	21.4	-	7.1	21.4	14.3	7.1	7.1	7.1	-	14.3
	上平地域	N=14	28.6	14.3	14.3	28.6	-	-	7.1	-	-	7.1
	利賀地域	N=8	12.5	-	25.0	37.5	12.5	-	12.5	-	-	-
	井波地域	N=144	23.6	14.6	20.8	10.4	8.3	3.5	5.6	2.8	0.7	9.7
	井口地域	N=29	20.7	13.8	17.2	10.3	10.3	10.3	3.4	3.4	-	10.3
	福野地域	N=227	24.7	17.2	15.9	14.1	8.4	2.6	4.4	3.5	0.9	8.4
	福光地域	N=287	25.4	14.6	13.6	13.6	10.1	6.6	3.8	2.1	0.7	9.4

【成年後見制度について】

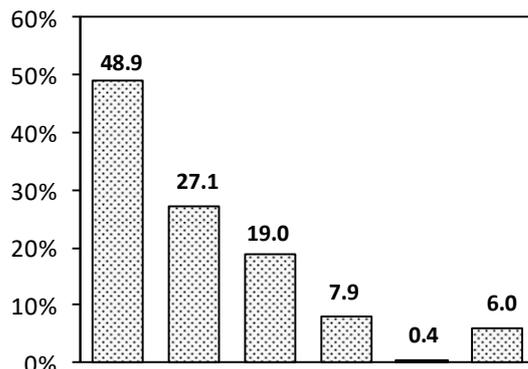
問42. あなたは成年後見制度を知っていますか。（○は1つだけ）

- ・「名前だけ知っている」が32.5%で最も多く、次いで「知らない」が31.3%であった。「どのような制度か知っている」は29.5%である。
- ・男女別にみると、「どのような制度か知っている」は「男性」24.6%に対して「女性」33.8%で、「女性」が約9ポイント高い。
- ・年齢別にみると「どのような制度か知っている」は「60～69歳」で37.3%、「30～39歳」で34.9%と高くなっているが「70歳以上」では23.1%と低い。
- ・地域別にみると「どのような制度か知っている」は「井波地域」で26.4%、「福光地域」で26.8%、「城端地域」で28.1%等と低い。



問43. あなた自身や親族が認知症などにより判断が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- ・「わからない」が48.9%で最も高く、次いで「親族に利用してもらいたい」が27.1%であった。
- ・男女間で大きな差異は見られない。
- ・年齢別にみると「自分自身が利用したい」は「50～59歳」で30.4%と最も高くなっている。「親族に利用して貰いたい」は「18～29歳」が40.3%と高い。

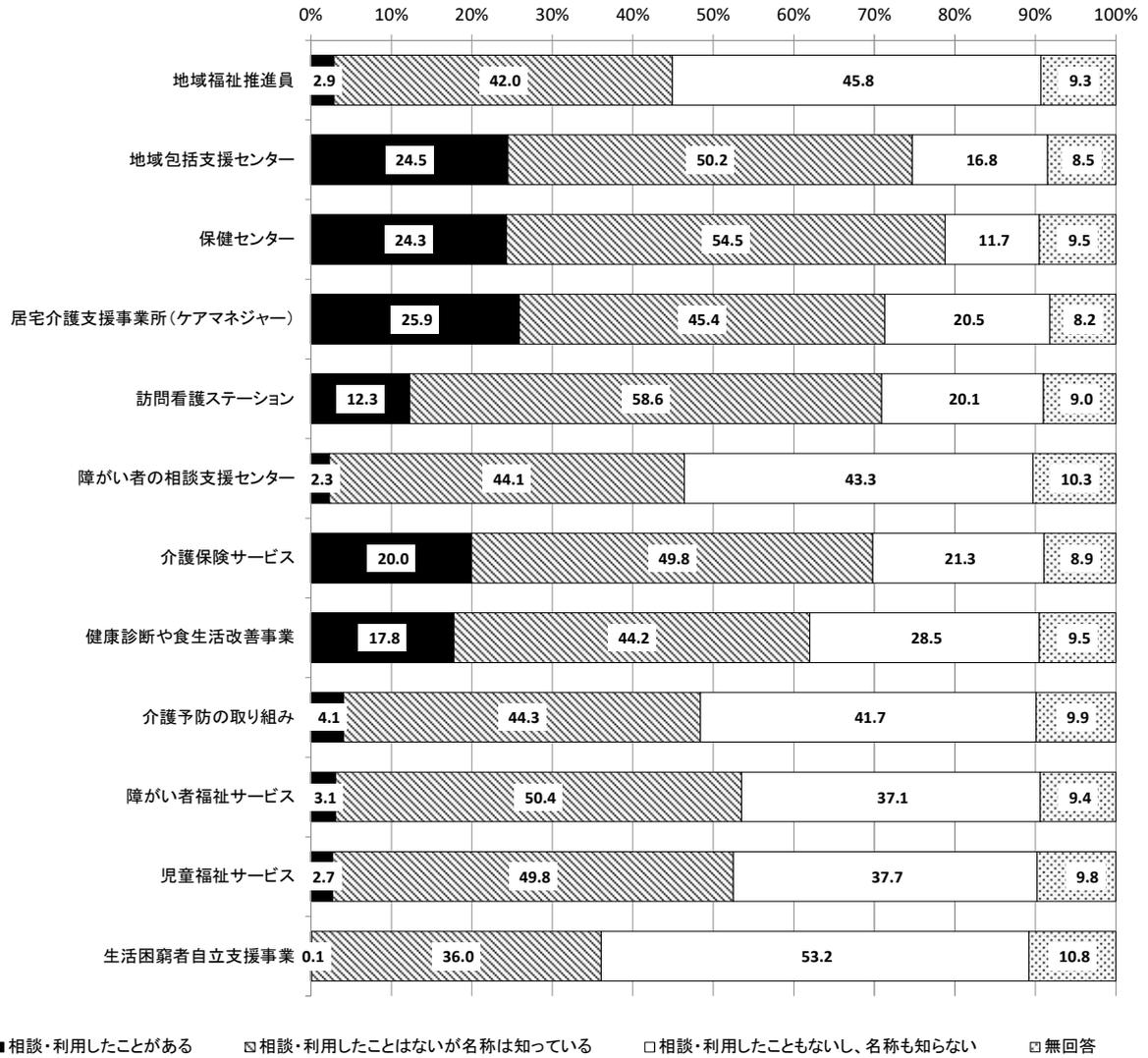


		わからない	親族に利用してもらいたい	自分自身が利用したい	利用したくない	その他	無回答
全体	N=901	48.9	27.1	19.0	7.9	0.4	6.0
男女	男性 N=391	47.3	28.4	20.7	8.7	0.3	3.8
	女性 N=491	49.7	26.5	17.7	7.3	0.6	7.7
年齢別	18～29歳 N=62	51.6	40.3	14.5	3.2	-	1.6
	30～39歳 N=83	62.7	26.5	14.5	6.0	-	-
	40～49歳 N=122	60.7	26.2	14.8	9.0	0.8	1.6
	50～59歳 N=148	42.6	29.7	30.4	4.1	0.7	5.4
	60～69歳 N=201	47.3	25.4	22.4	9.5	0.5	3.5
	70歳以上 N=277	43.3	24.5	15.2	9.7	0.4	13.0
地域別	城端地域 N=146	46.6	26.0	24.0	7.5	-	6.8
	平地域 N=14	42.9	57.1	21.4	-	-	-
	上平地域 N=14	50.0	42.9	7.1	-	-	7.1
	利賀地域 N=8	37.5	50.0	12.5	-	-	-
	井波地域 N=144	52.1	24.3	18.1	9.0	1.4	4.9
	井口地域 N=29	51.7	31.0	10.3	3.4	-	10.3
	福野地域 N=227	51.1	27.8	18.5	6.2	-	6.6
	福光地域 N=287	47.0	25.1	18.8	10.1	0.7	5.9

(9) 南砺市の地域福祉推進について

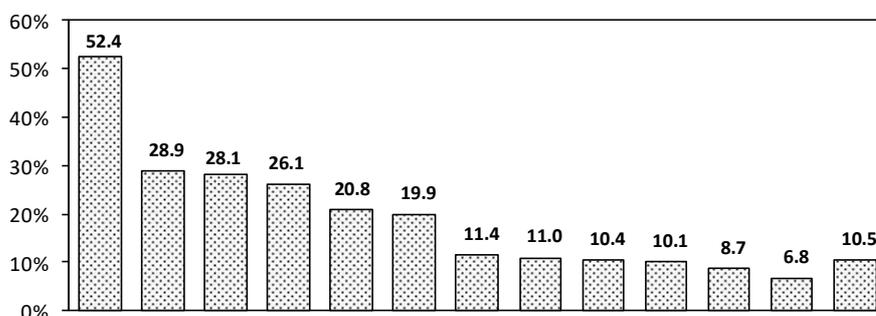
問44. 市の福祉に関する組織・機関やサービスの利用状況を教えてください。

- 各サービスへの認知・利用状況を見ると、「地域包括支援センター (24.5%)」や「保健センター (24.3%)」の利用率が高い一方、「生活困窮者自立支援事業 (0.1%)」などは低い。



問45. 地域の福祉を支えるために、特に充実する必要があると思われる組織・関係機関やサービスはどれですか。（あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください）

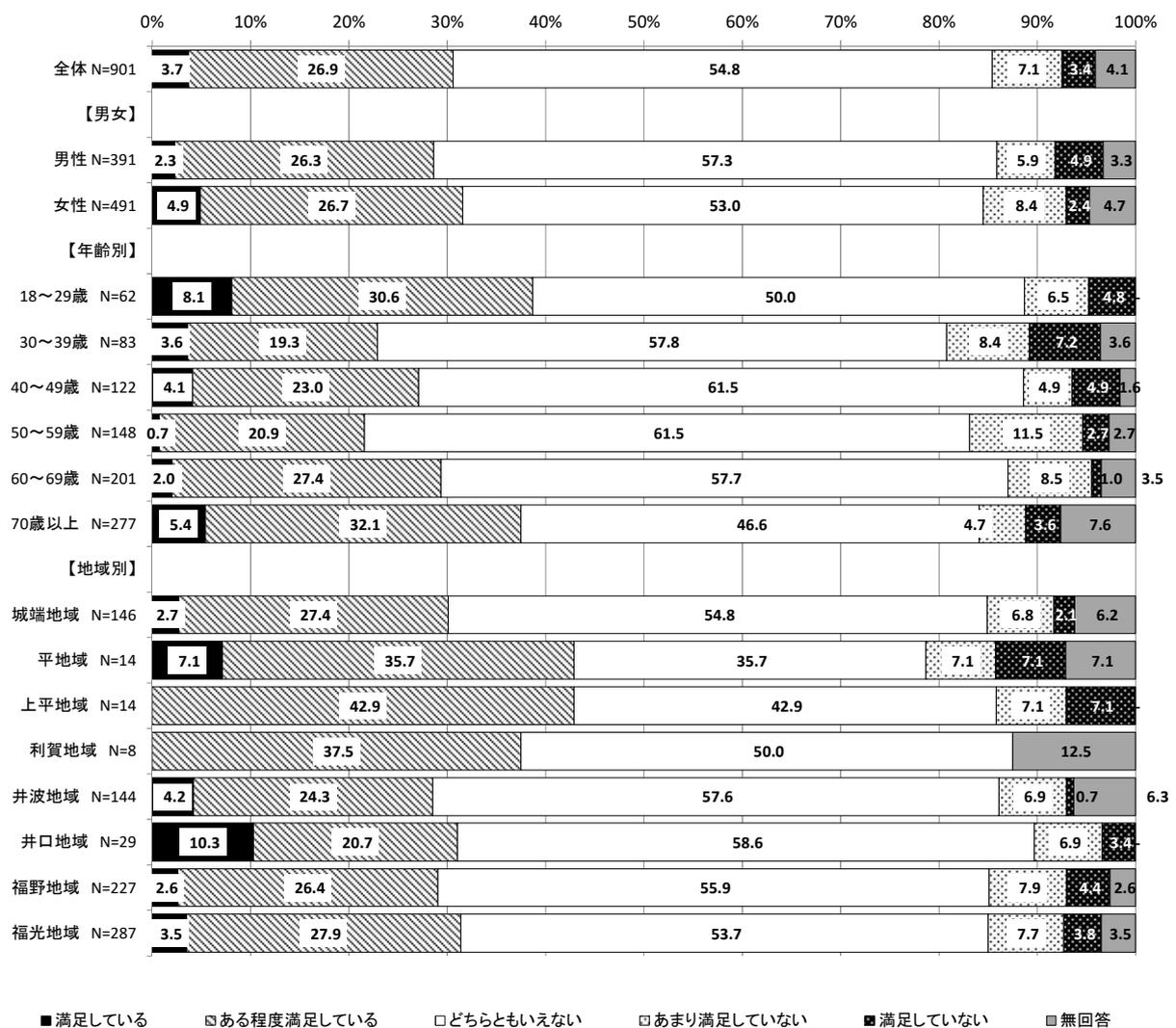
- ・「地域包括支援センター」が52.4%で最も高く、次いで「訪問看護ステーション」が28.9%、「居宅介護支援事業所（ケアマネージャー）」が28.1%、「介護保険サービス」が26.1%とほぼ同じ割合で続く。
- ・男女別にみると「介護予防の取り組み」で「男性」8.2%に対して「女性」14.1%と「女性」が約6ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「地域包括支援センター」は「50～59歳」で57.4%と最も高く、「60～69歳」、「70歳以上」でいずれも5割を超えて高い。「子育て支援センター」は「18～29歳」、「30～39歳」で4割を超えて高くなっている。
- ・地域別にみると「地域包括支援センター」は、「利賀地域」で62.5%と最も高くなっている、「上平地域」で28.6%、「平地域」で42.9%と他の地域に比べて低い。



	地域包括支援センター	訪問看護ステーション	居宅介護支援事業所 (ケアマネージャー)	介護保険サービス	子育て支援センター	保健センター	介護予防の取り組み	社会福祉協議会	障がい者福祉サービス	健康診断や食生活改善事業	民生委員・児童委員	生活困窮者自立支援事業	無回答
全体 N=901	52.4	28.9	28.1	26.1	20.8	19.9	11.4	11.0	10.4	10.1	8.7	6.8	10.5
男女													
男性 N=391	50.1	28.1	28.6	27.6	18.9	21.7	8.2	10.5	10.2	10.2	11.3	7.9	8.4
女性 N=491	54.6	29.1	27.3	24.4	22.6	18.7	14.1	11.6	11.0	10.2	6.7	5.5	12.0
年齢別													
18～29歳 N=62	50.0	22.6	8.1	19.4	43.5	22.6	9.7	8.1	6.5	11.3	3.2	11.3	9.7
30～39歳 N=83	45.8	15.7	16.9	20.5	41.0	30.1	7.2	13.3	13.3	8.4	4.8	7.2	3.6
40～49歳 N=122	45.1	27.0	24.6	18.9	35.2	18.0	10.7	6.6	16.4	10.7	8.2	8.2	9.0
50～59歳 N=148	57.4	27.0	29.1	24.3	23.6	23.0	11.5	9.5	10.8	9.5	10.1	7.4	9.5
60～69歳 N=201	55.2	34.3	35.3	34.8	12.4	16.9	10.0	14.9	9.5	10.0	10.4	6.5	7.5
70歳以上 N=277	53.8	31.0	31.8	27.4	6.9	17.0	14.4	11.2	8.7	10.8	9.0	5.1	16.2
地域別													
城端地域 N=146	50.0	24.7	29.5	30.1	21.2	17.8	10.3	11.6	11.0	12.3	9.6	6.2	13.7
平地域 N=14	42.9	42.9	28.6	50.0	21.4	7.1	7.1	21.4	21.4	-	-	-	14.3
上平地域 N=14	28.6	21.4	28.6	35.7	21.4	35.7	7.1	28.6	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
利賀地域 N=8	62.5	25.0	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	-	-	12.5	12.5	25.0
井波地域 N=144	56.9	30.6	35.4	22.2	18.1	16.0	10.4	9.0	9.7	8.3	10.4	8.3	9.0
井口地域 N=29	51.7	34.5	24.1	27.6	17.2	24.1	10.3	10.3	-	17.2	-	3.4	24.1
福野地域 N=227	51.1	26.9	25.6	25.6	19.8	23.3	11.5	10.6	11.0	9.3	10.6	8.8	8.4
福光地域 N=287	54.4	30.7	26.8	25.4	22.3	19.9	12.5	11.5	11.1	10.5	7.3	5.6	9.1

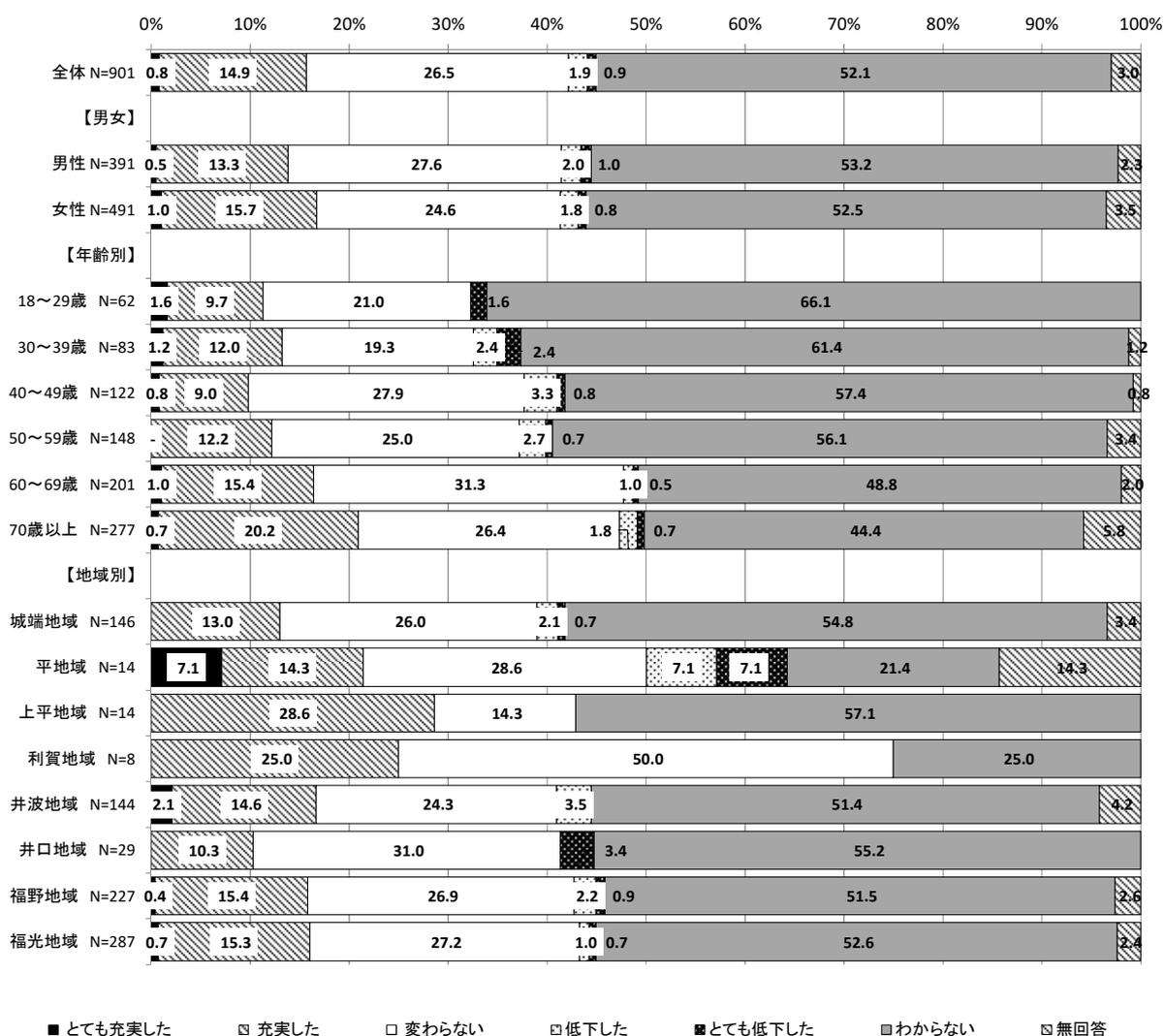
問46. あなたは、現在の南砺市が行う福祉施策に満足していますか。（○は1つだけ）

- ・「どちらともいえない」が54.8%で最も高い。『満足している（「満足している」＋「ある程度満足している」）』は30.6%、『満足していない（「あまり満足していない」＋「満足していない」）』は10.5%である。
- ・男女別にみると、『満足している』は「男性」28.6%、「女性」31.6%で「女性」が約3ポイント高い。
- ・年齢別にみると、『満足している』は「18～29歳」が38.7%で最も高く、「70歳以上」も37.5%と高い。「50～59歳」は21.6%、「30～39歳」は22.9%と他の年代に比べて低くなっている。
- ・地域別にみると、『満足している』は「平地域」で42.8%、「上平地域」で42.9%と他の地域に比べて高くなっている。



問47. あなたは、南砺市で行う福祉事業や活動は、以前（約5年前）と比べて、どのように変化したいと思いますか。（○は1つだけ）

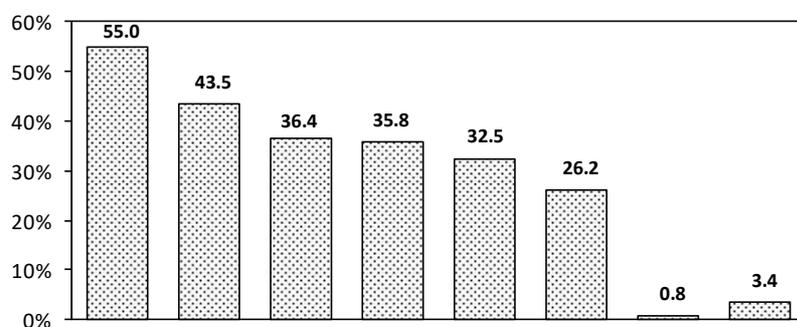
- ・「わからない」が52.1%で最も多く、次いで「変わらない」が26.5%であった。『充実した（「とても充実した」＋「充実した」）』は15.7%、『低下した（「低下した」＋「とても低下した」）』は2.8%であった。
- ・男女別にみると『充実した』は「男性」13.8%、「女性」16.7%で「女性」が約3ポイント高い。
- ・年齢別にみると、『充実した』は「70歳以上」が20.9%で最も高く、「60～69歳」も16.4%と高い。「40～49歳」が最も低く9.8%となっている。
- ・地域別にみると『充実した』は「上平地域」が28.6%で最も高く、「利賀地域」25.0%、「平地域」21.4%も高い。「井口地域」は10.3%、「城端地域」は13.0%と他の地域に比べて低くなっている。



問48. あなたはこれから南砺市をどんな「福祉のまち」にしたいと思いますか。

(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください)

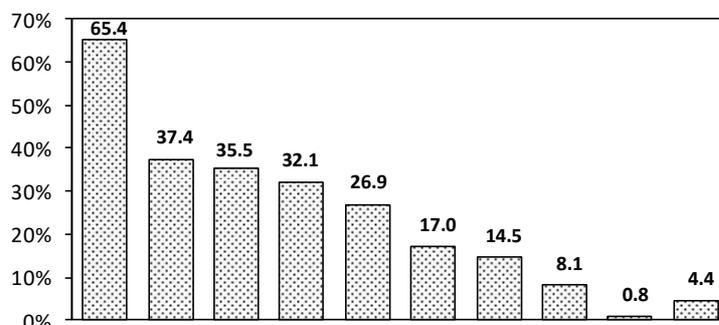
- ・「介護が必要になったとき、安心して介護福祉サービスが利用できるまち」が55.0%で最も高く、次いで「いつまでも生きがいをもって、健康に暮らせるまち」が43.5%であった。
- ・男女別にみると「介護が必要になったとき、安心して介護福祉サービスが利用できるまち」や「いつまでも生きがいをもって、健康に暮らせるまち」はともに「女性」が約10ポイント高い。
- ・年齢別にみると「介護が必要になったとき、安心して介護福祉サービスが利用できるまち」は「18～29歳」で21.0%と最も低く、「70歳以上」で67.9%と年齢が高くなるに従って高くなっている。『49歳以下』では「安心して子育てができるまち」が5割前後と高い。
- ・地域別にみると「介護が必要になったとき、安心して介護福祉サービスが利用できるまち」は、「井口地域」で69.0%と最も高く、「福野地域」、「利賀地域」も6割を超えて高い。



		介護が必要になったとき、安心して介護福祉サービスが利用できるまち	いつまでも健康に暮らせるまち	生まれ育つ場所や安心できるまち	お互いに支え合い、助け合いができるまち	安心して子育てができるまち	高齢者や障がいのある方も安心して働けるまち	その他	無回答	
全体	N=901	55.0	43.5	36.4	35.8	32.5	26.2	0.8	3.4	
男女	男性	N=391	49.6	37.6	40.7	35.8	33.0	24.6	1.3	3.6
	女性	N=491	59.7	47.9	33.0	36.0	32.0	27.5	0.4	3.3
年齢別	18～29歳	N=62	21.0	41.9	32.3	30.6	50.0	25.8	-	1.6
	30～39歳	N=83	28.9	32.5	47.0	27.7	51.8	15.7	2.4	1.2
	40～49歳	N=122	43.4	37.7	31.1	23.8	48.4	33.6	2.5	1.6
	50～59歳	N=148	54.7	39.2	33.8	36.5	33.8	31.8	-	3.4
	60～69歳	N=201	65.2	46.8	33.3	38.3	28.9	28.9	0.5	2.5
	70歳以上	N=277	67.9	49.8	40.1	43.3	17.7	21.7	0.4	6.1
地域別	城端地域	N=146	51.4	41.8	31.5	37.0	34.9	30.1	0.7	4.1
	平地地域	N=14	42.9	50.0	35.7	35.7	42.9	28.6	-	7.1
	上平地域	N=14	57.1	35.7	50.0	50.0	42.9	21.4	-	-
	利賀地域	N=8	62.5	62.5	37.5	62.5	25.0	25.0	-	-
	井波地域	N=144	44.4	41.7	34.7	38.9	34.0	25.0	-	4.9
	井口地域	N=29	69.0	44.8	37.9	27.6	31.0	10.3	-	3.4
	福野地域	N=227	63.0	44.1	40.1	31.3	27.3	27.3	1.3	2.6
福光地域	N=287	54.7	44.6	35.9	38.3	33.8	25.8	1.0	2.8	

問49. 今後、南砺市の「福祉」を充実させるうえで、何を重点的に推進すべきと思いますか。
(優先度が高いもの上位3つまで選んで○をつけてください)

- ・「安心して地域で老後を過ごせる高齢者福祉」が65.4%で最も高く、次いで「住民同士が助け合える地域づくり」が37.4%、「安心して子育てができる子育て支援」が35.5%であった。
- ・男女別にみると「要介護状態にならないための予防の取組み」では「男性」26.1%、「女性」37.1%と「女性」が約11ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると「安心して地域で老後を過ごせる高齢者福祉」は「18～29歳」で46.8%と最も低く「70歳以上」で73.6%と最も高く、年齢が高くなるに従って高くなっている。一方「安心して子育てができる子育て支援」は「30～39歳」が56.6%と最も高く、「70歳以上」で20.6%と最も低い。
- ・地域別にみると「安心して地域で老後を過ごせる高齢者福祉」は、「上平地域」で78.6%と最も高く「利賀地域」、「井口地域」でも7割を超えて高い。



		る安 高心 心し て地 域で 老後 を過 ごせ	く住 民同 士が 助け 合え る地 域づ り	て安 心し て子 育 てが でき る子 育 支 援	予 防の 取組 み	要 介 護状 態に なら ない ため の	ワ 様 々な 福祉 課題 に対 応で きる	い 安 心し て誰 もが 暮ら せる 障 が	活 生 活が 苦し い人 が自 立し た支 援	援 ボ ラン ティ アや 市民 活動 の支	そ の 他	無 回 答
全体	N=901	65.4	37.4	35.5	32.1	26.9	17.0	14.5	8.1	0.8	4.4	
男女	男性	N=391	62.9	37.3	35.8	26.1	22.5	18.4	14.6	9.2	1.0	4.6
	女性	N=491	67.2	36.9	35.0	37.1	30.8	16.1	15.1	7.3	0.6	4.1
年齢別	18～29歳	N=62	46.8	24.2	56.5	33.9	9.7	29.0	11.3	6.5	1.6	3.2
	30～39歳	N=83	48.2	27.7	56.6	18.1	24.1	20.5	12.0	7.2	1.2	3.6
	40～49歳	N=122	59.0	29.5	48.4	27.9	27.0	22.1	13.1	6.6	1.6	1.6
	50～59歳	N=148	66.9	33.1	37.2	29.1	35.8	16.9	18.2	5.4	-	4.7
	60～69歳	N=201	69.7	40.3	31.3	34.8	34.3	14.4	14.9	8.0	1.0	2.5
	70歳以上	N=277	73.6	46.6	20.6	37.5	21.7	13.0	14.8	11.2	0.4	7.6
地域別	城端地域	N=146	61.0	37.7	38.4	30.1	28.8	15.8	13.0	8.2	0.7	5.5
	平地域	N=14	64.3	42.9	50.0	42.9	21.4	7.1	7.1	-	-	7.1
	上平地域	N=14	78.6	42.9	42.9	14.3	14.3	28.6	14.3	21.4	-	-
	利賀地域	N=8	75.0	37.5	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-
	井波地域	N=144	65.3	38.2	34.7	39.6	25.0	18.1	13.2	9.7	-	5.6
	井口地域	N=29	72.4	41.4	41.4	27.6	24.1	10.3	10.3	3.4	-	6.9
	福野地域	N=227	66.5	32.6	33.5	31.7	30.8	20.7	14.1	7.0	1.3	2.6
	福光地域	N=287	65.2	40.4	33.1	30.3	24.7	15.7	17.4	9.1	1.0	4.2

問50. その他、地域福祉に関するご意見や、地域福祉を推進するためのアイデア・ご提案等がございましたら、ご自由にお書きください。

項目	主な内容	件数
①相談窓口・情報の周知と提供	窓口の場所が不明、事業内容が知られていないという不満に対し、SNS活用や個別訪問による積極的な広報（アウトリーチ）を求める。	16件
②移動支援・交通インフラ	公共バス（なんバス等）の路線見直し、デマンド交通の充実、買い物・通院難民への対策。	11件
③子育て・教育環境の整備	産科の欠如、放課後の居場所（児童館・図書館）の不足、県内の他市等との比較によるサービス向上要望。	10件
④地域コミュニティ・共助のあり方	プライバシー（噂話）への懸念、ボランティアの限界、役員の固定化、移住者と旧住民の壁の解消。	12件
⑤高齢者支援・介護サービスの充実	ショートステイ・訪問介護の拡充、定期的な家庭訪問、介護者（家族）へのサポート。	9件
⑥行政・財政・アンケートの運用	税金の使い道への批判、アンケート結果のフィードバック不足、職員の積極的な関与要望。	9件
⑦障がい者支援・多様性の尊重	親なき後の施設整備、引きこもり支援、障害年金の増額、子供への啓発教育（ノーマライゼーション）。	7件
⑧若者定住・労働環境・地域活性化	介護離職の防止、農業・若者の就労支援、金銭的・時間的ゆとりの創出。	5件
⑨医療・保健体制の維持向上	公立病院の維持、HPVワクチン助成、健康寿命延伸のためのスポーツ施設支援。	5件
⑩防災・防犯・住環境（除雪含む）	大雪時の除雪対策、カーブミラーの点検、夜間の街灯整備。	3件

III 民生委員・児童委員アンケート調査

1. アンケート調査の概要

(1) 調査目的

- ・「第4期南砺市地域福祉計画」の策定過程において、民生委員・児童委員の活動上の課題や問題、市に対する意見・提案から、地域の実情等を把握し、今後の地域福祉事業に役立てるためアンケート調査を実施した。

(2) 調査方法

- ・郵送配布による配布、回収は郵送とインターネットを併用

(3) 調査期間

令和7年11月

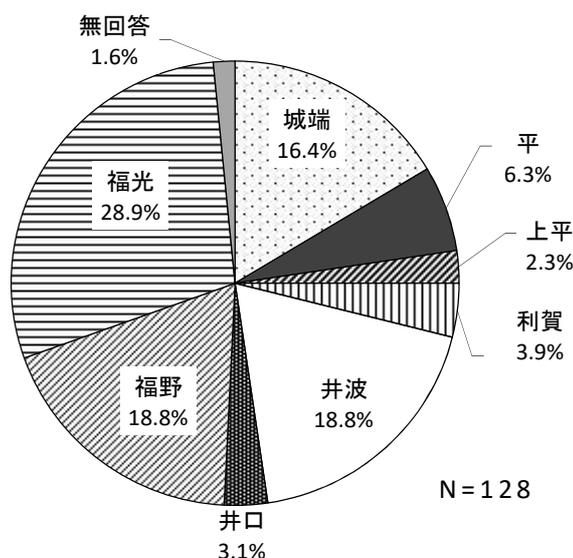
(4) 回収結果

- ・配布数 155件
- ・有効回答数 128件(郵送：98件、インターネット：30件)
- ・回収率 82.6%

2. アンケート調査の結果

(1) 担当地域

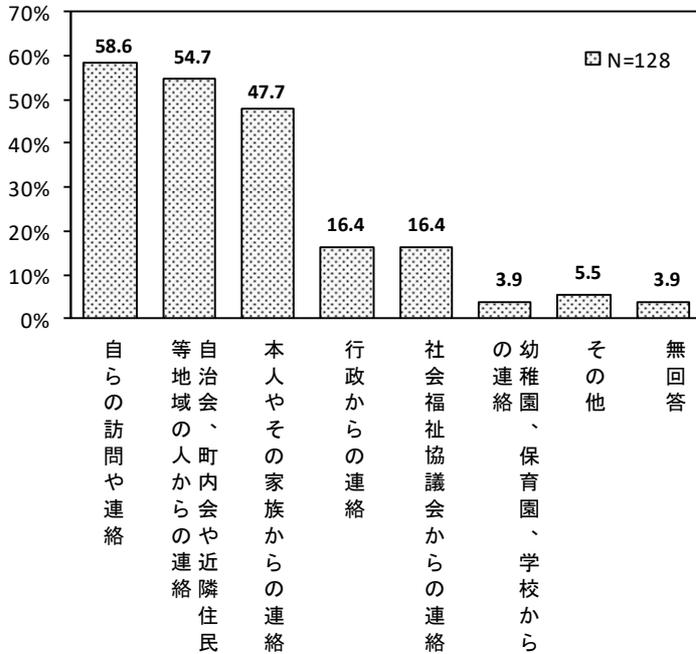
- ・福光地域が37名(28.9%)と最も多く、次いで井波地域および福野地域が各24名(18.8%)、城端地域21名(16.4%)となっている。平地域(8名)、利賀地域(5名)、井口地域(4名)、上平地域(3名)と続く。



(2) 相談を受けるきっかけ

1. 相談を受ける主なきっかけは何ですか

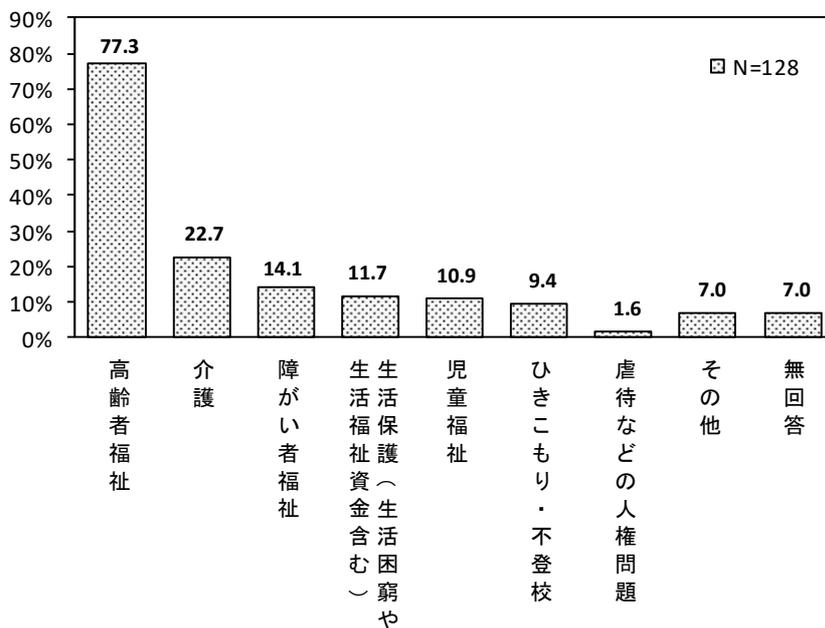
- ・相談を受けるきっかけとして最も多いのは「自らの訪問や連絡」で58.6%であった。次いで「自治会、町内会や近隣住民等地域の人からの連絡」が54.7%、「本人やその家族からの連絡」が47.7%と続く。



(3) 主な相談内容

2. 主な相談内容は何ですか

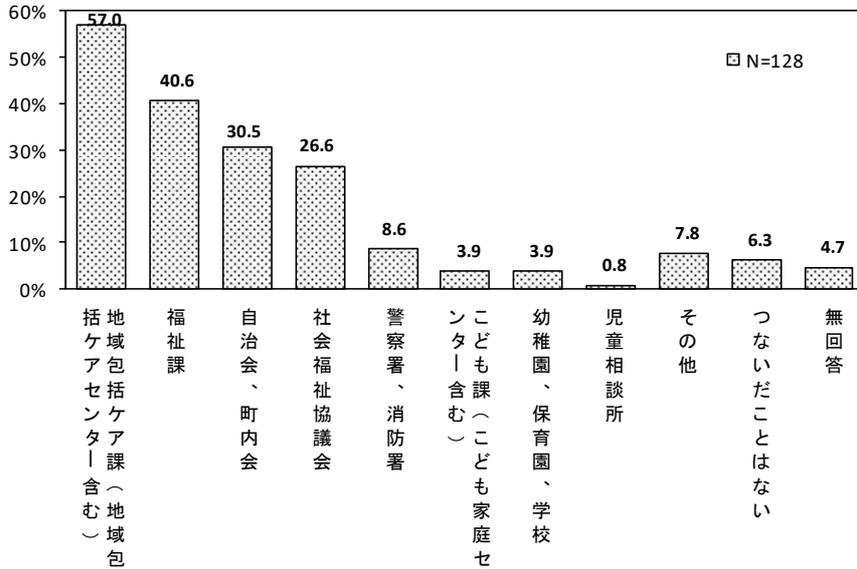
- ・相談内容では、「高齢者福祉」が77.3%と突出して高く、次いで「介護」が22.7%、「障がい者福祉」が14.1%であった。高齢者に関連する相談が活動の大部分を占めている。



(4) 相談のつなぎ先

3. 受けた相談は、主にどの関係機関につなぎましたか (あてはまるものに○)

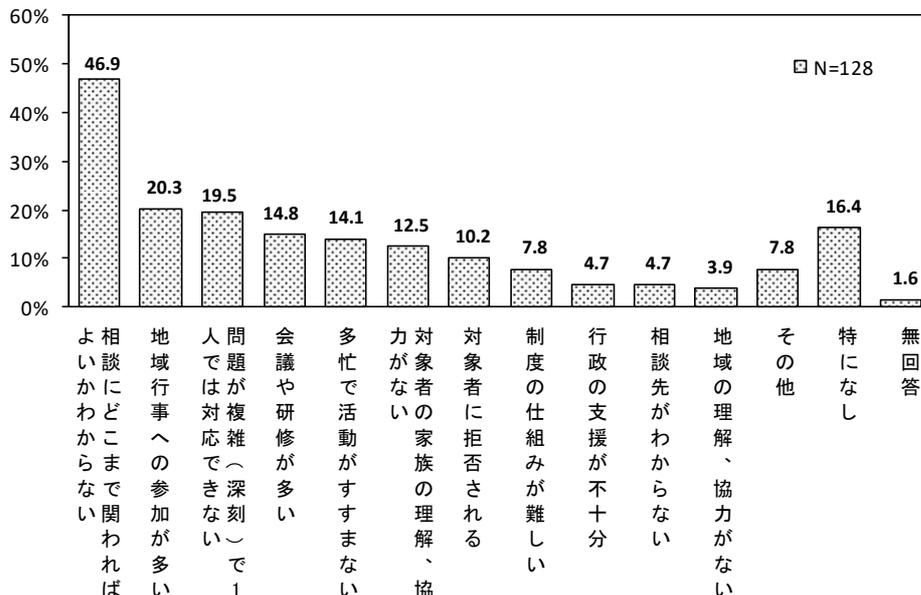
- ・相談を受けた後の関係機関へのつなぎ先は、「地域包括ケア課（地域包括ケアセンター含む）」が57.0%で最多であった。次いで「福祉課」が40.6%、「自治会、町内会」が30.5%、「社会福祉協議会」が26.6%となっている。



(5) 活動上の悩みや課題

4. 活動上の悩みや課題は何ですか

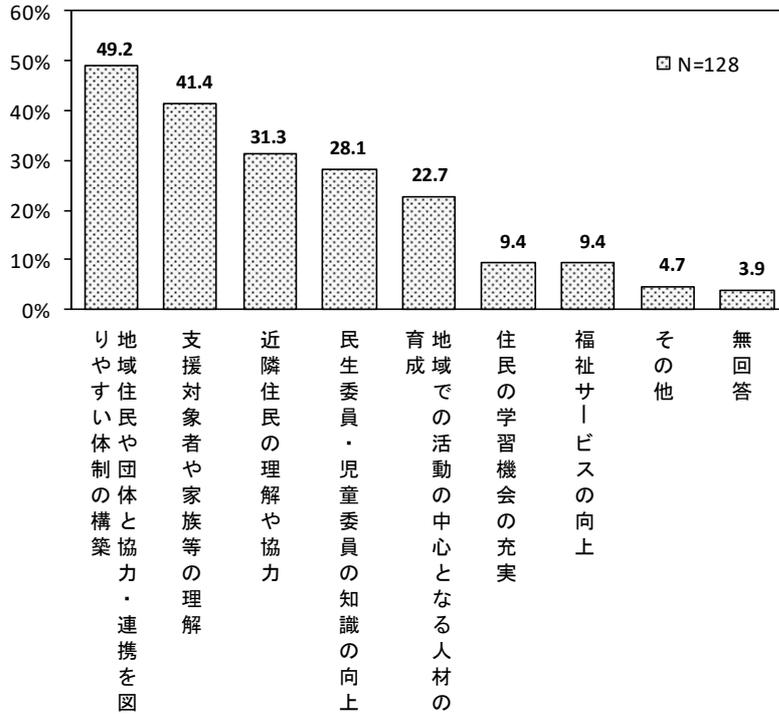
- ・活動における悩みとして、「相談にどこまで関わればよいかわからない」が46.9%と半数近くに達しており、役割の境界線に関する不安が強い。また「地域行事への参加が多い（20.3%）」、「問題が複雑（深刻）で1人では対応できない（19.5%）」といった負担感も目立つ。



(6) 活動しやすくなるための取り組み

5. 活動をしやすくなるには、どのような取り組みが必要だと思いますか

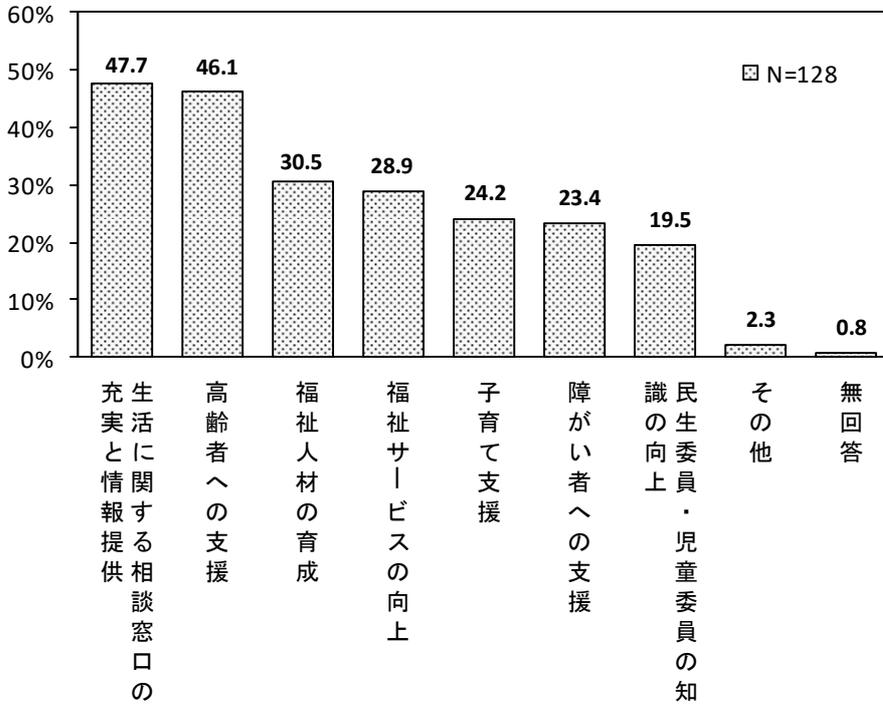
- ・活動の円滑化に必要なこととして、「地域住民や団体と協力・連携を図りやすい体制の構築」が49.2%で最も求められている。次いで「支援対象者や家族等の理解（41.4%）」、「近隣住民の理解や協力（31.3%）」が挙げられた。



(7) 安心して暮らせる市にするために注力すべきこと

6. 安心して暮らせる南砺市をつくるため、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか

- ・市に期待する施策として、「生活に関する相談窓口の充実と情報提供」が47.7%と最も高く、次いで「高齢者への支援（46.1%）」、「福祉人材の育成（30.5%）」の順であった。

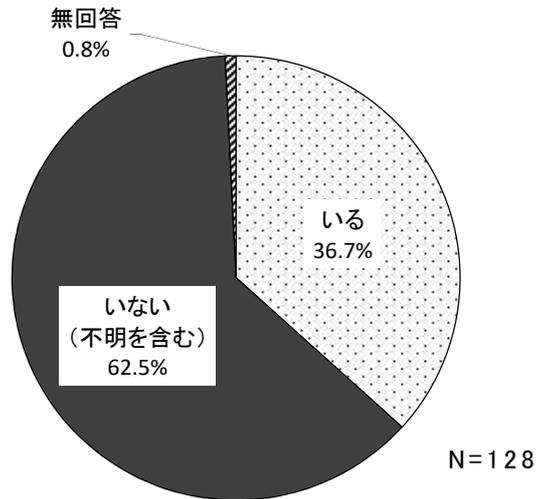


(8) ひきこもりに関する実態

①ひきこもりの有無

7. 担当地区に、ひきこもりの方または、ひきこもりの疑いのある方はいますか。

・担当地区にひきこもり（またはその疑い）の方が「いる」と回答したのは36.7%であった。



②ひきこもりの人数と属性

・合計87名の存在が把握されており、年代別では40歳代が26名で最多、次いで30歳代が17名。性別では男性が70名と圧倒的に多い。

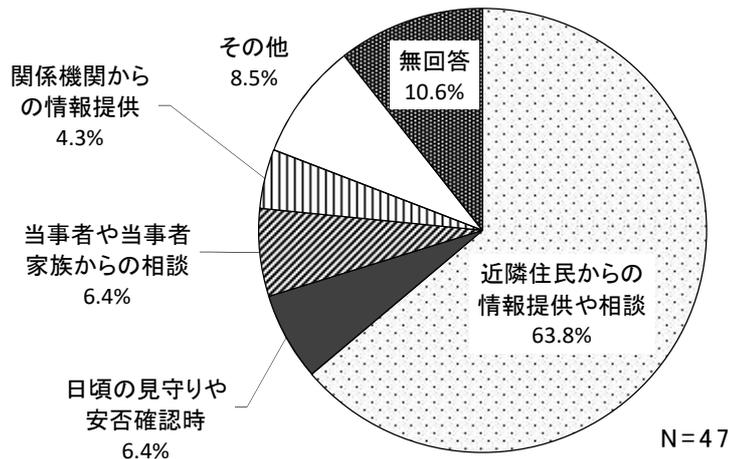
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	年齢不明	合計
男性	3	1	16	18	13	13	3	3	70
女性	0	1	1	8	1	1	3	2	17
合計	3	2	17	26	14	14	6	5	87

城端地域	平地地域	上平地地域	利賀地域	井波地域	井口地域	福野地域	福光地域	無回答	合計
10	2	0	0	16	1	11	43	4	87

③ ひきこもり把握のきっかけ

7-2. ひきこもり状態の方をどのように知りましたか

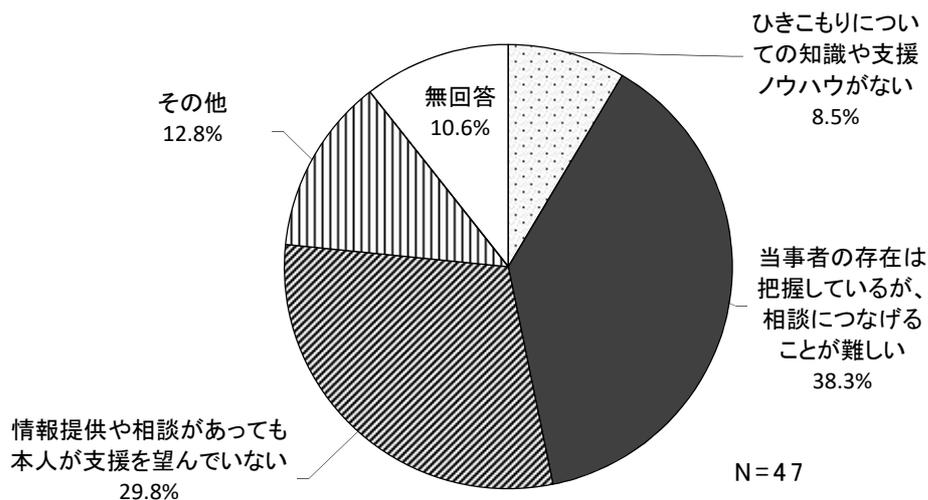
- ・「近隣住民からの情報提供や相談」が63.8%と圧倒的で、地域コミュニティを通じた把握が主である。



④ ひきこもり支援の課題

7-3. ひきこもり支援の際に困っていることはありますか

- ・「当事者の存在は把握しているが、相談につなげることが難しい」が38.3%、「本人が支援を望んでいない」が29.8%となっており、アプローチの難しさがうかがえる。



(9) 地域の課題

8. 現在、地域で問題となっていることはありますか。

・自由回答から地域で問題となっている課題をカテゴリーごとに整理すると、以下の通りとなる。

①高齢者の孤立・独居世帯の増加：24件

・一人暮らしや高齢者のみの世帯が増え、外部との接触が途絶えがち。

②地域コミュニティの希薄化・つながりの欠如：12件

・自治会活動の停滞、近所づきあいの減少、一体感の喪失。

③住環境の悪化（空き家・ゴミ・除雪）：12件

・管理されない空き家の増加、冬場の除雪不安、ゴミ出しの困難。

④福祉活動・地域行事の担い手不足：10件

・役員のなり手がおらず、特定の個人に負担が集中している。

⑤交通手段・外出支援の不足：8件

・免許返納後の移動手段の確保、買い物難民の問題。

⑥防災・防犯・災害時の支援不安：4件

・避難行動要支援者への対応責任の重さ、防災無線の聞こえにくさ。

⑦世代間の交流不足：3件

・若い世代が地域行事に参加せず、コミュニケーションが取れない。

(10) 活動の課題

9. 委員活動のなかで感じている課題はありますか。

- ・民生児童委員としての職務を遂行する上での実務的・心理的な課題を、カテゴリーごとに整理すると以下の通りとなる。

①活動範囲・役割の境界線の曖昧さ：14件

- ・どこまで踏み込んで支援すべきか、何でも屋になっていないかという悩み。

②個人情報保護による情報把握の困難：11件

- ・「個人情報」を理由に家族構成や実態を教えてもらえない、壁を感じる。

③関係機関との連携・情報共有の不足：10件

- ・行政や包括、社協からの情報提供が遅い、または一方通行である。

④相談者との距離感・信頼関係の構築：8件

- ・訪問を拒否される、心を開いてもらえない、特に男性独居者への対応。

⑤次期委員の選出・後継者不在：8件

- ・自分が辞めた後に引き受けてくれる人が見つからないという重圧。

⑥実態把握の難しさ（潜在化する課題）：7件

- ・表面化しない悩みや、ひきこもり等の所在が掴めない。

⑦精神的負担と体調管理：5件

- ・深刻な相談への対応による疲弊、自身の加齢による活動継続の不安。

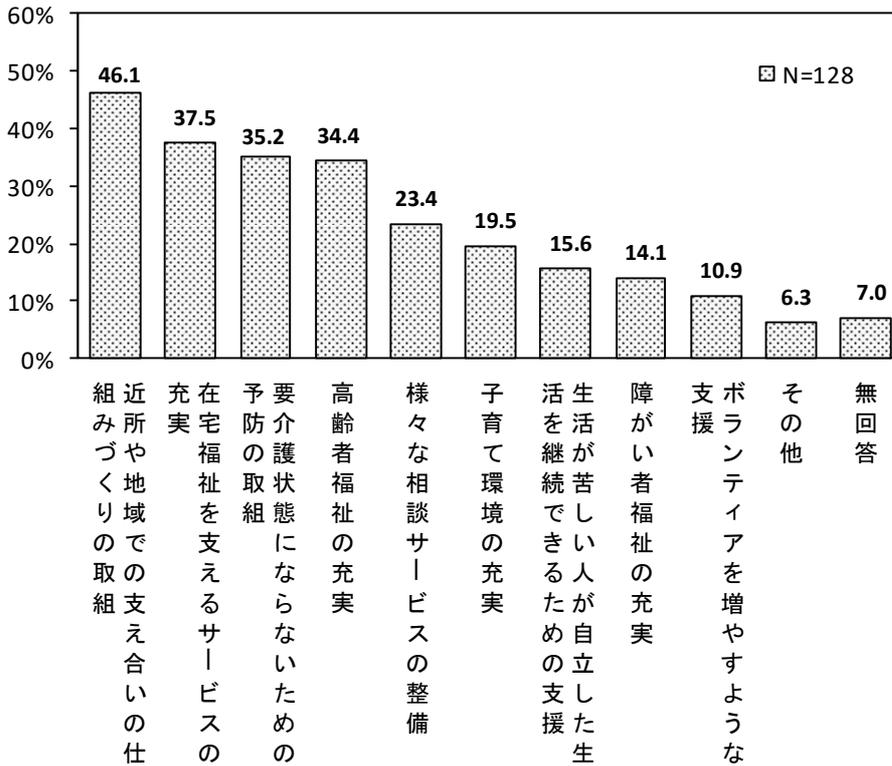
⑧活動に対する住民の理解不足：4件

- ・民生委員が何をしている人なのか地域に正しく認知されていない。

(11) 安心して暮らせる市にするために注力すべきこと

10. 安心して暮らせる南砺市をつくるため、市はどのようなことに注力すべきだと思いますか。

- ・「近所や地域での支え合いの仕組みづくりの取組」が46.1%で最も高く、次いで「在宅福祉を支えるサービスの充実（37.5%）」、「要介護状態にならないための予防の取組（35.2%）」、「高齢者福祉の充実（34.4%）」が重視されている。



IV 参考資料

1. 市民アンケート調査票

地域福祉計画策定のためのアンケート調査票

日頃より、南砺市の福祉行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

南砺市では、このたび、令和9年度から5年を期間とする「第4期地域福祉計画」の策定（令和9年3月）に向け、市民の皆さまの地域性や生活課題に合った地域福祉サービスの提供を目指し、今後の地域福祉事業に役立てるため、実情を把握するためのアンケート調査を行うことになりました。日常の暮らしや福祉サービス、今後どうなれば良いかなど、感じておられることをお聞きして、計画の参考にしたいと考えています。

この調査は満18歳以上の市民を対象に、住民基本台帳から2,000名を無作為に抽出して回答をお願いするものです。

この調査は、名前を書かずに答えて頂きますので、答えた方が誰かわかったり、答えた内容が明らかにされたりすることはありません。また、調査票は南砺市個人情報保護条例にしたがい、適切な管理をいたします。答えて頂いた内容は、計画をつくることや市の福祉を進めるための基礎資料としてのみ使用し、他の目的に使われることは一切ありません。調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年11月 南砺市 地域包括医療ケア部 福祉課

以下の①、②どちらかを選び、ご回答ください。

① 本調査票によりお答えいただく方

⇒次ページよりお答えください。

- ・本紙へ直接ご記入ください。
- ・該当する回答の数字を○で囲んでください。
- ・回答が終わりましたら同梱の返信用封筒に入れ、ご投函ください。
(切手不要です。)

② インターネットでお答えいただく方

- ・下記のQRコードもしくは、下記サイトよりお入りください。
- ・回答の際は、本調査票右上の「整理番号」の入力が必要になります。



(サイトURL)

<https://racss.jp/> ●●●

回答の〆切は 令和7年11月30日(日) です。

〈お問い合わせ先〉

南砺市 地域包括医療ケア部 福祉課 社会福祉係（地域包括ケアセンター内）

〒932-0293 南砺市北川166番地1

電話：0763-23-2009 FAX：0763-82-4657

1. あなた自身のことについて

問1. あなたのお住まいの地区はどちらですか。(○は1つだけ)

【城端地域】	1. 城端地区 2. 南山田地区 3. 大鋸屋地区 4. 蓑谷地区 5. 北野地区	【福野地域】	14. 福野中部地区 15. 福野北部地区 16. 福野東部地区 17. 高瀬西地区 18. 福野南部地区 19. 福野西部地区 20. 安居地区
【平地地域】	6. 平地区	【福光地域】	21. 福光地区 22. 石黒地区 23. 広瀬地区 24. 広瀬館地区 25. 西太美地区 26. 東太美地区 27. 吉江地区 28. 北山田地区 29. 山田地区 30. 太美山地区 31. 南蟹谷地区
【上平地地域】	7. 上平地区		
【利賀地域】	8. 利賀地区		
【井波地域】	9. 井波地区 10. 南山見地区 11. 山野地区 12. 高瀬地区		
【井口地域】	13. 井口地区		

問2. あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 答えたくない
-------	-------	--------	-----------

問3. あなたの年齢はおいくつですか。(令和7年11月1日現在)(○は1つだけ)

1. 18～29歳	5. 60～69歳
2. 30～39歳	6. 70～79歳
3. 40～49歳	7. 80歳以上
4. 50～59歳	

問4. 現在、あなたのお住まいの形態は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 持ち家（戸建て）	4. 賃貸住宅（集合住宅）
2. 持ち家（集合住宅）	5. 社宅・官舎・寮
3. 賃貸住宅（戸建て）	6. その他（ ）

問5. あなたのご職業は何ですか。(主なものに○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 1. 自営・自由業 | 6. 専業主夫・主婦 |
| 2. 会社員 | 7. 学生 |
| 3. 公務員・団体職員 | 8. 無職（年金生活者含む） |
| 4. パート・アルバイト・契約（派遣）社員 | 9. その他（ ） |
| 5. 農業 | |

問6. 南砺市での居住年数は何年ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 4. 10～20年未満 |
| 2. 1～5年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 5～10年未満 | |

問7. 今後も現在のところに住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 今後も住み続けたい | 3. 市外に転居したい |
| 2. 市内の他のところに転居したい | 4. わからない |

問8. 家族構成は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 単身（ひとり暮らし） | 4. 三世代（親と子と孫など） |
| 2. 一世代（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ） | 5. その他（ ） |
| 3. 二世代（親と子など） | |

問9. 同居家族の中にいる方は次のうちどれですか。(あてはまるものに○)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 乳児（1歳未満） | 5. 65歳以上の方 |
| 2. 乳児を除く小学校入学前の幼児 | 6. 介護を必要とする方 |
| 3. 小学生 | 7. 障がいのある方 |
| 4. 中学生・高校生 | 8. いずれもない |

2. 地域との関わりについて

問10. あなたにとって身近に感じられる「地域」の範囲を教えてください。
(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1. 隣近所 | 5. 旧町村単位 |
| 2. 自治会・町内会 | 6. 市全域 |
| 3. 行政区（地域づくり協議会単位） | 7. その他（ ） |
| 4. 小学校区・中学校区 | 8. わからない |

問11. あなたは、ご近所のお付き合いをどの程度していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 困ったときにはお互いに助け合う | 4. あいさつをする程度 |
| 2. お互いに訪問し合う | 5. ほとんど付き合いはない |
| 3. 会った時には立ち話をする | |

問12. あなたのお住まいの地域では、地域の人々がお互いに支え合い、助け合っていると感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても感じている | 4. あまり感じていない |
| 2. 少し感じている | 5. まったく感じていない |
| 3. どちらともいえない | |

問13. あなたは、お住まいの地域に暮らしやすさを感じていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 暮らしやすい | 4. どちらかというと暮らしにくい |
| 2. どちらかというと暮らしやすい | 5. 暮らしにくい |
| 3. どちらともいえない | |

問14. あなたがお住まいの地域や環境について、どのように感じていますか。
(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください)

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 1. 地域の助け合いや交流活動が活発である | 6. 高齢者の憩いの場や施設が充実している |
| 2. 地域活動やボランティア活動が活発である | 7. 買い物等の日常生活が便利である |
| 3. 道路や公共交通が充実している | 8. 除雪体制が整っている |
| 4. 治安がよく、安心して住める | 9. 病院や診療所等の医療施設が充実している |
| 5. 子どもの遊び場や公園が充実している | 10. 図書館や公民館等の生涯学習施設が充実している |
| | 11. その他（ ） |

問15. あなたがお住まいの地域では、どのような課題・問題があると感じていますか。(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください)

1. 地域の交流機会が少ない	8. 生活マナーが悪い(ゴミ、騒音等)
2. 地域活動の担い手が不足している	9. 買い物できる場所が少ない
3. 高齢者への支援	10. 道路や歩道が整備されていない
4. 障がいのある方への支援	11. 災害時の避難体制が整っていない
5. 子育て世帯への支援	12. 治安が悪い
6. 世代間交流が少ない	13. その他()
7. 他人に干渉され、プライバシーが守られない	14. 特になし

3. 地域福祉に対する考え方と参加意向について

問16. あなたは、地域福祉*という言葉や意味を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、意味は知らない
3. 知らない

※地域福祉とは…

それぞれの地域において人びとが安心して暮らせるよう、一人ひとりが地域社会の一員であることを認識しつつ、助け合い・支え合いの精神のもとに安心して暮らせるよう、「自助」・「互助」・「共助」・「公助」を包括的に連動させ、地域の福祉課題の解決に取り組むことです。

問17. あなたはお住いの地域でどのような役割を担っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治会、町内会の役員	7. スポーツクラブ指導者
2. 消防団員	8. 老人クラブ役員
3. 農業関係団体の役員	9. こども会等役員
4. 防犯・交通安全関係団体	10. 母子保健推進員
5. 日本赤十字奉仕団員	11. 食生活改善推進員
6. 民生委員・児童委員 (主任児童委員含む)	12. 保護司
	13. その他()
	14. 特になし

問18. あなたは、住民による自主的な助け合い、支え合いの関係が必要だと思いますか。(○は1つだけ)

1. とても必要だと思う	4. 必要だと思わない
2. 必要だと思う	5. わからない
3. あまり必要だと思わない	

問19. 住民同士の支え合いとして、あなたが近所の人にできることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 見守りや声かけ | 8. 市役所の書類などの作成支援 |
| 2. 悩みごとの相談 | 9. 地震など災害時の支援 |
| 3. 子育てや介護の相談 | 10. 短時間の障がいのある方の見守り |
| 4. 外出時の付き添い | 11. 短時間の子どもの預かりや送迎 |
| 5. 家の周りの掃除や除草 | 12. 短時間の高齢者の見守り |
| 6. 除雪の手伝い | 13. 特にできることはない |
| 7. ゴミ出しの手伝い | |

問20. あなたは、住民同士の支え合いとして、近所の人にどのような手助けをしてほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 見守りや声かけ | 8. 市役所の書類などの作成支援 |
| 2. 悩みごとの相談 | 9. 地震など災害時の支援 |
| 3. 子育てや介護の相談 | 10. 短時間の障がいのある方の見守り |
| 4. 外出時の付き添い | 11. 短時間の子どもの預かりや送迎 |
| 5. 家の周りの掃除や除草 | 12. 短時間の高齢者の見守り |
| 6. 除雪の手伝い | 13. 特にしてほしいことはない |
| 7. ゴミ出しの手伝い | |

問21. あなたご自身も含め、ご近所に、周囲の人の手助けや協力・支援が必要だと思われるご家庭がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家庭 | 7. 虐待が心配な家庭 |
| 2. 障がいのある方がいる家庭 | 8. ケアラー、ヤングケアラー*のいる家庭 |
| 3. 認知症の方や要介護者がいる家庭 | 9. 外国人の家庭 |
| 4. ひきこもり*状態の方がいる家庭 | 10. ゴミ屋敷 |
| 5. 地域とのつながりがなく、孤立している家庭 | 11. 生活が困窮している家庭 |
| 6. 不登校の子どもがいる家庭 | 12. その他 () |
| | 13. 気にかかる人はいない |

※「ひきこもり」の定義について(重度の障がい、疾病、高齢等で外出できない方をのぞく)
社会的参加(仕事・学校、家族以外の人との交流)ができない状態が6か月以上続き、自宅にひきこもっている状態で、時々買い物など他者と交わらない形で外出することはあるが、それ以外の社会的参加ができない状態です。

※ケアラー・ヤングケアラーとは…

「ケアラー」とは、高齢、障がい、疾病などにより援助を必要とする親族など 身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話や援助をしている方であり、そのうち18歳未満の方を「ヤングケアラー」といいます。

問21-1 そのような何らかの支援を必要としている方への支援(日常生活上の手助けや協力)について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(○は1つだけ)

1. 近所に住む者として、できる範囲で支援したい
2. 基本的に家庭や地域で助け合い、できない場合は行政が支援する
3. 行政と住民が協力し、共に取り組むべきである
4. 支援は行政が行うべきで、住民が特に協力することはない
5. 支援はしたくない
6. その他 ()

問21-2 ひきこもり状態の方に対し、どのような支援策があると良いと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|--------------------------------------|
| 1. 相談支援体制の充実 | 7. 医療機関の紹介 |
| 2. 各種相談窓口・支援機関の周知 | 8. 福祉サービスや生活保護など行政サービスの申請支援 |
| 3. ひきこもり状態の方が気軽に集える居場所の充実 | 9. ひきこもり支援の普及啓発
(市民向けの研修会や講演会の充実) |
| 4. 自宅等への訪問支援 | 10. その他 () |
| 5. 就労に向けたトレーニング | 11. 必要ない |
| 6. 当事者会や家族会の充実 | |

4. 日常生活について

問22. あなたは、日頃どのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 自分や家族の健康に関すること | 7. 将来(老後)に関すること |
| 2. 介護に関すること | 8. 治安に関すること |
| 3. 仕事に関すること | 9. 近所づきあいに関すること |
| 4. 子育てに関すること | 10. その他 () |
| 5. 経済的なこと | 11. 特にない |
| 6. 家族関係に関すること | |

問23. あなたは、困ったときや悩みがあるとき、どこ（誰）に相談しますか。

（あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください）

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 家族・親族 | 8. 社会福祉協議会 |
| 2. 友人・知人 | 9. 警察署 |
| 3. 民生委員・児童委員 | 10. カウンセラー、医療機関 |
| 4. 市役所窓口 | 11. 福祉施設・福祉サービス事業者 |
| 5. 地域包括支援センター | 12. インターネット、SNS など |
| 6. 職場の同僚・上司 | 13. その他() |
| 7. 地域福祉推進員 | 14. 誰にも相談しない |

問24. あなたは、市の福祉に関するサービスの情報をどこから入手していますか。

（あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください）

- | | |
|-------------------|--------------------------------------|
| 1. 家族・知人 | 8. 社会福祉協議会 |
| 2. 南砺市の広報紙やホームページ | 9. インターネット、SNS（ソーシャルネットワークサービス）からの情報 |
| 3. 市役所窓口 | 10. 医療機関 |
| 4. 地域包括支援センター | 11. その他() |
| 5. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 | 12. 特にない |
| 6. 民生委員・児童委員 | |
| 7. 地域福祉推進員 | |

5. 地域活動やボランティアについて

問25. あなたは地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。

（○は1つだけ）

- | |
|--|
| 1. 現在、参加している |
| 2. 以前参加したことがある |
| 3. 参加したことはないが、今後、参加したい
「1」「2」「3」を選んだ方は、下記の問25-1にお進みください |
| 4. 参加したことはなく、今後も参加しない
「4」を選んだ方は、次ページの問25-2にお進みください |

問25-1 どのような分野の地域活動やボランティア活動などに参加しました(してみたいです)か。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 地域づくり協議会や自治会、町内会 | 8. 文化・芸術活動 |
| 2. 子育てに関する活動 | 9. 国際交流に関する活動 |
| 3. 高齢者に関する活動 | 10. 青少年育成に関する活動 |
| 4. 障がいのある方に関する活動 | 11. 男女共同参画に関する活動 |
| 5. 清掃・環境美化活動 | 12. 観光振興に関わる活動 |
| 6. 防犯・防災活動 | 13. その他() |
| 7. スポーツやレクリエーション活動 | |

問25-2 あなたが「参加したことがなく、今後も参加しない」理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 忙しく活動する時間がない | 7. 経済的な余裕がない |
| 2. 活動場所への移動手段がない | 8. 身近に参加したいと思う活動や共感する団体がない |
| 3. 体力や健康に自信がない | 9. 興味や関心の持てる活動がない |
| 4. 小さな子どもや介護を必要とする家族がいる | 10. 家族の理解が得られない |
| 5. 興味や関心の持てる活動がない | 11. 職場の理解が得られない |
| 6. 身近に活動グループや仲間がいない | 12. その他 () |

問26. 地域活動やボランティア活動を活発にするにはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの2つまで選んで○をつけてください)

- | |
|---|
| 1. ボランティア活動に関する情報が一つの窓口(サイト)に集約されている
(興味・時間・地域などが簡単に検索できるなど) |
| 2. 住民同士が困ったときに、助け合える関係をつくっていく |
| 3. 学校や地域の関係団体などと地域住民との交流やつながりを深めていく |
| 4. 自分の仕事や特技を活かせる |
| 5. 活動時間や曜日を選べたり、気軽に参加できる
(個人での参加、1回限りの参加など) |
| 6. 集会所など地域活動が行える場所の整備 |
| 7. ボランティア養成講座の積極的实施 |
| 8. 福祉施設などへのボランティアの受入れ体制の強化 |
| 9. その他 () |

問27. あなたのお住いの地域では、地域活動やボランティア活動についての関心は以前(約5年前)と比べて、どのように変化したと思いますか。(○は1つだけ)

- | |
|------------------|
| 1. より関心を持つようになった |
| 2. より関心がなくなった |
| 3. 特に変化はない |
| 4. わからない |

6. 地域福祉にかかわる機関や団体について

【南砺市社会福祉協議会】

問28. あなたは南砺市社会福祉協議会のことを知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------------|---------|
| 1. 名称も活動内容も知っている | 3. 知らない |
| 2. 名称は聞いたことはあるが、活動内容は知らない | |

問29-1. あなたは南砺市社会福祉協議会が行っている以下の事業・活動をご存じですか。
(それぞれ1つに○)

区分	事業等	認知度	
		知っている	知らない
地域福祉事業	① 赤い羽根共同募金	1	2
	② 市社会福祉大会	1	2
	③ 居場所づくり事業	1	2
	④ ケアネット事業	1	2
	⑤ サロン事業	1	2
	⑥ ボランティア事業	1	2
	⑦ 福祉教育	1	2
	⑧ 支えあいマップ作り研修	1	2
総合相談事業	⑨ ケアネット相談	1	2
	⑩ ボランティア相談	1	2
	⑪ 日常生活や金銭管理相談	1	2
	⑫ 心配ごと相談	1	2
	⑬ 法律相談	1	2
	⑭ 生活福祉資金貸付相談	1	2
貸付事業	⑮ 生活困窮者支援給付事業	1	2
	⑯ 生活福祉資金貸付事業	1	2
在宅福祉支援事業	⑰ 日常生活自立支援事業	1	2
施設管理事業	⑱ 平高齢者生活福祉センター (つつじ荘)	1	2
	⑲ 利賀高齢者生活福祉センター (ネットピア喜楽)	1	2
	⑳ 井波社会福祉センター	1	2
	㉑ 井口社会福祉センター	1	2
	㉒ 福野老人福祉センター (さつき荘)	1	2
	㉓ すぱーく福野 (室内ゲートボール場)	1	2
	㉔ 福光老人福祉センター (福光温泉)	1	2
介護保険事業・障がい者事業	㉕ 訪問介護事業	1	2
	㉖ デイサービス事業	1	2
	㉗ 障がい者社会参加支援事業	1	2

問29-2. あなたは南砺市社会福祉協議会が行っている以下の事業・活動に参加したり利用したことがありますか。(それぞれ1つに○)

区分	事業等	参加や利用経験	
		ある	ない
地域福祉事業	① 赤い羽根共同募金	1	2
	② 市社会福祉大会	1	2
	③ 居場所づくり事業	1	2
	④ ケアネット事業	1	2
	⑤ サロン事業	1	2
	⑥ ボランティア事業	1	2
	⑦ 福祉教育	1	2
	⑧ 支えあいマップ作り研修	1	2
総合相談事業	⑨ ケアネット相談	1	2
	⑩ ボランティア相談	1	2
	⑪ 日常生活や金銭管理相談	1	2
	⑫ 心配ごと相談	1	2
	⑬ 法律相談	1	2
	⑭ 生活福祉資金貸付相談	1	2
貸付事業	⑮ 生活困窮者支援給付事業	1	2
	⑯ 生活福祉資金貸付事業	1	2
在宅福祉支援事業	⑰ 日常生活自立支援事業	1	2
施設管理事業	⑱ 平高齢者生活福祉センター（つつじ荘）	1	2
	⑲ 利賀高齢者生活福祉センター（ネットピア喜楽）	1	2
	⑳ 井波社会福祉センター	1	2
	㉑ 井口社会福祉センター	1	2
	㉒ 福野老人福祉センター（さつき荘）	1	2
	㉓ すぱーく福野（室内ゲートボール場）	1	2
	㉔ 福光老人福祉センター（福光温泉）	1	2
介護保険事業・障がい者事業	㉕ 訪問介護事業	1	2
	㉖ デイサービス事業	1	2
	㉗ 障がい者社会参加支援事業	1	2

問30. 南砺市社会福祉協議会が行う活動・支援として、今後充実して欲しいものは次のどれですか。(あてはまるもの3つまで○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. ボランティア活動への参加促進支援 | 8. 関係機関とのネットワークづくり |
| 2. 子育てサロンへの支援 | 9. 地域づくり協議会と福祉活動の連携 |
| 3. ふれあいサロンの支援 | 10. 災害支援活動 |
| 4. 住民による地域見守り活動 | 11. 地域活動に携わる人材育成 |
| 5. 介護保険サービス | 12. レクリエーション等の住民交流 |
| 6. 福祉についての学習会・研修会 | 13. その他 () |
| 7. 情報提供、相談窓口の充実 | |

【民生委員・児童委員について】

問31. あなたの住んでいる地域の民生委員・児童委員(主任児童委員含む)* (以下民生委員・児童委員という)が誰かご存じですか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 誰か知っており、会ったことがある →下記の問31-1にお進みください |
| 2. 誰か知っているが、会ったことはない |
| 3. 誰か知らない |

問31-1 あなたは民生委員・児童委員に相談したことはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 相談したことがある | 2. 相談したことはない |
|--------------|--------------|

※「民生委員・児童委員、主任児童委員」とは…

地域住民の見守り活動や、情報提供、困りごとの相談に応じたり、専門機関との「つなぎ役」として福祉活動に取り組んでいます。民生委員は全員、児童委員を兼ねています。その中で主任児童委員は子どもや子育てに関する支援を専門に担当しています。厚生労働大臣から委嘱された非常勤で無報酬の地方公務員です。

問32. 民生委員・児童委員の活動のうち、あなたが今後、特に充実してほしいと思う項目はどれですか。(○は1つだけ)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常生活の悩みや心配ごとの相談 |
| 2. 高齢者世帯や障がいのある方など、支援が必要な家庭の訪問・見守り |
| 3. 子どもに関する相談 |
| 4. 福祉に関する情報の提供 |
| 5. 福祉サービス利用にあたり専門機関との調整や支援 |
| 6. 特になし |

7. 地域防災への取り組みについて

問33. あなたは、ご自身が災害にあわれたとき、主にどこ(誰)を頼りにしますか。
(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 家族・親族 | 6. 民生委員・児童委員 |
| 2. 近所の人 | 7. 自治会・町内会 |
| 3. 友人 | 8. 警察・消防署 |
| 4. 市役所 | 9. その他 () |
| 5. 社会福祉協議会 | 10. 特にない |

問34. あなたは避難行動要支援者支援制度※の取り組みを知っていますか。
(○は1つだけ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 知っている |
| 2. 名前は聞いたことがあるが、内容については知らない |
| 3. 知らない |

※避難行動要支援者支援制度とは…

南砺市では、日頃から災害時に最も被害を受けやすい高齢者のみで生活されている方や障がいのある方などの、特に支援を必要とする方の把握や、災害時における速やかな避難支援を目的に、対象者を「避難行動要支援者名簿」に登録(本人申請)しています。災害時に自力で避難することが困難な方が住民相互の助け合いにより、安全に避難等が出来るようにするための制度です。

問35. あなたは、地域における災害時の備えとして、どのような取り組みが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 防災に関する講習会の開催や防災マップの作成 |
| 2. 日頃からのあいさつ、声かけや関係づくり |
| 3. 防災訓練、避難訓練の実施 |
| 4. 危険箇所や避難場所の把握 |
| 5. 避難行動要支援者(災害時に支援を必要とする人)の把握 |
| 6. 災害時の非常食の備蓄 |
| 7. 災害ボランティア体制の整備 |
| 8. その他 () |

8. 制度について

【生活困窮者自立支援制度】

問36. あなたは、生活困窮者(仕事や生活に困っている人)を、地域で支えることが必要だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. とても必要だと思う | 4. 必要だと思わない |
| 2. 必要だと思う | 5. わからない |
| 3. あまり必要だと思わない | |

問37. 南砺市では、生活困窮者自立支援制度※に基づく相談窓口として、市役所福祉課内に南砺市社会福祉事務所 生活相談支援窓口※を開設していますが、ご存知ですか。(○は1つだけ)

- | |
|--------------|
| 1. 知っている |
| 2. 名前だけ知っている |
| 3. 知らない |

※生活困窮者自立支援制度とは…

生活困窮者の自立支援策の強化を図るための制度であり、自立支援に向けた相談、住居の確保支援、就労支援、生活支援等が実施されています。

※南砺市社会福祉事務所 生活相談支援窓口とは…

生活困窮者自立支援法の施行を受け開設した相談窓口で、生活困窮者(経済的に困窮し、最低限度の生活の維持が難しくなる恐れのある人)等のお話をうかがい、一人ひとりの状況に応じた支援プランを作成し、他の専門機関と連携して解決に向けた支援を行います。

問38. 生活困窮者の自立支援に向けて、市が行うべき支援として望ましいと思うのはどのような取り組みですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. ハローワークと連携し、仕事を斡旋する | 4. 生活再建に向けた貸付を行う |
| 2. 職業訓練などの就労支援 | 5. その他 () |
| 3. 相談支援窓口の充実 | |

問39. 地域で生活困窮者を支援する場合、あなたならどのような支援ができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 自治会長・町内会長に相談する | 4. 本人や家族に相談窓口に行くよう促す |
| 2. 民生委員・児童委員に相談する | 5. 地域で支援はできない |
| 3. 行政等の専門機関に相談する | 6. その他 () |

【再犯防止の取り組み】

問40. あなたは、再犯防止の取組み*をご存知ですか。(○は1つだけ)

1. どんな取組みか知っている
2. 名前だけ知っている
3. 知らない

※再犯防止の取組みとは…

犯罪をした人等が再び罪を犯さないように指導・支援する取組みです。罪を犯した人の中には、住居や仕事が確保できないことや、認知機能の低下、周囲から理解されない障がいによって社会から孤立し、犯罪を繰り返してしまうケースがあります。自立には、本人の努力や強い意思が大切なことはもちろんですが、社会から排除し孤立させるのではなく、地域社会の一員として受け入れ、再び罪を犯すことなく暮らしていけるよう、社会全体で支えていくことが重要です。

問41. 犯罪をした人が円滑に社会復帰できるよう支援することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(○は1つだけ)

1. 住民の協力を得て社会全体として積極的に支援するべきである
2. 市役所など行政や関係機関が責任をもって積極的に支援するべきである
3. 少年院からの出所や認知症・障がいのある方の出所については、積極的に支援するべきである
4. 一般住民として生活できるよう事業所や市民への啓発が必要
5. 地域の安全・安心のためにはある程度の支援が必要
6. 特別な支援や配慮は必要ない
7. 興味・関心がない
8. 犯罪をした人とかかわりを持ちたくない
9. その他 ()

【成年後見制度について】

問42. あなたは成年後見制度*を知っていますか。(○は1つだけ)

1. どのような制度か知っている
2. 名前だけ知っている
3. 知らない

※成年後見制度とは…

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力の不十分な方が、自立して生活できるように、援助してくれる人(後見人等)を家庭裁判所が選任し、支援につなげていく制度です。

これにより、自分ひとりでは困難な不動産や預貯金等の財産の管理、各種契約が安全に行えるようになります。

問43. あなた自身や親族が認知症などにより判断が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分自身が利用したい
2. 親族に利用してもらいたい
3. 利用したくない
4. わからない
5. その他 ()

9. 南砺市の地域福祉推進について

問44. 市の福祉に関する組織・機関やサービスの利用状況を教えてください。
(下記のそれぞれの項目について該当するもの1つに○をつけてください)

(1)組織・機関について	相談・利用したことがある	相談・利用したことはないが名称は知っている	相談・利用したこともないし、名称も知らない
地域福祉推進員	1	2	3
地域包括支援センター	1	2	3
保健センター	1	2	3
居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)	1	2	3
訪問看護ステーション	1	2	3
障がい者の相談支援センター	1	2	3

(2)サービスについて	相談・利用したことがある	相談・利用したことはないが名称は知っている	相談・利用したこともないし、名称も知らない
介護保険サービス	1	2	3
健康診断や食生活改善事業	1	2	3
介護予防の取り組み	1	2	3
障がい者福祉サービス	1	2	3
児童福祉サービス	1	2	3
生活困窮者自立支援事業	1	2	3

問45. 地域の福祉を支えるために、特に充実する必要があると思われる組織・関係機関やサービスはどれですか。(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください)

1. 地域包括支援センター	7. 子育て支援センター
2. 保健センター	8. 介護保険サービス
3. 訪問看護ステーション	9. 健康診断や食生活改善事業
4. 民生委員・児童委員	10. 介護予防の取り組み
5. 社会福祉協議会	11. 障がい者福祉サービス
6. 居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)	12. 生活困窮者自立支援事業

問46. あなたは、現在の南砺市が行う福祉施策に満足していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 満足している | 4. あまり満足していない |
| 2. ある程度満足している | 5. 満足していない |
| 3. どちらともいえない | |

問47. あなたは、南砺市の行う福祉事業や活動は、以前(約5年前)と比べて、どのように変化したと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. とても充実した | 4. 低下した |
| 2. 充実した | 5. とても低下した |
| 3. 変わらない | 6. わからない |

問48. あなたはこれから南砺市をどんな「福祉のまち」にしたいと思いますか。
(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. お互いに支え合い、助け合いができるまち |
| 2. 安心して子育てができるまち |
| 3. 高齢者や障がいのある方も安心して、働けるまち |
| 4. いつまでも生きがいをもって、健康に暮らせるまち |
| 5. 生まれ育った場所で安心して、生活できるまち |
| 6. 介護が必要になったとき、安心して介護福祉サービスが利用できるまち |
| 7. その他 () |

問49. 今後、南砺市の「福祉」を充実させるうえで、何を重点的に推進すべきと思いますか。
(優先度が高いもの上位3つまで選んで○をつけてください)

- | |
|------------------------------|
| 1. 住民同士が助け合える地域づくり |
| 2. 様々な福祉課題に対応できるワンストップ相談窓口 |
| 3. ボランティアや市民活動の支援 |
| 4. 生活が苦しい人が自立した生活を継続できるための支援 |
| 5. 要介護状態にならないための予防の取組み |
| 6. 安心して誰もが暮らせる障がい者福祉の充実 |
| 7. 安心して子育てができる子育て支援 |
| 8. 安心して地域で老後を過ごせる高齢者福祉 |
| 9. その他 () |

問50. その他、地域福祉に関するご意見や、地域福祉を推進するためのアイデア・ご提案等
がございましたら、ご自由にお書きください。

これで質問を終わります。ご協力をありがとうございました。

お手数ではございますが、記入された調査票は同封の返信用封筒に入れ
11月30日(日)までにポストへ投函してください。

(郵送でご回答頂いた方は、インターネットでの回答は不要です)

整理番号: ●●●●

※整理番号は、回答の重複がないか確認するためのものであり、個人を特定するものではありません。

南砺市 民生委員・児童委員アンケート調査

ご協力をお願い

南砺市では令和9年度から5年を期間とする「第4期南砺市地域福祉計画」の策定に向け、福祉分野でさまざまな活動をされている民生委員・児童委員の皆様のご意見・ご提案をうかがい、参考とするためアンケート調査を実施します。ご協力をお願い申し上げます。

令和7年11月

南砺市 地域包括医療ケア部 福祉課 社会福祉係

以下の①、②どちらかを選び、ご回答ください。

① 本調査票によりお答えいただく方

⇒次ページよりお答えください。

- ・本紙へ直接ご記入ください。
- ・該当する回答の数字を○で囲んでください。
- ・回答が終わりましたら同梱の返信用封筒に入れ、ご投函ください。
(切手不要です。)

② インターネットでお答えいただく方

- ・下記のQRコードもしくは、下記サイトよりお入りください。
 - ・回答の際は、本調査票右上の「整理番号」の入力が必要になります。
- (サイトURL)
<https://racss.jp/●●●>



回答の〆切は 令和7年11月30日(日) です。

〈お問い合わせ先〉

南砺市 地域包括医療ケア部 福祉課 社会福祉係 (地域包括ケアセンター内)

〒932-0293 南砺市北川166番地1

電話 : 0763-23-2009 FAX : 0763-82-4657

担当地域	1. 城端 2. 平 3. 上平 4. 利賀 5. 井波 6. 井口 7. 福野 8. 福光
1. 相談を受ける主なきっかけは何ですか (あてはまるものに○)	1. 自らの訪問や連絡 2. 本人やその家族からの連絡 3. 自治会、町内会や近隣住民等 地域の人からの連絡 4. 行政からの連絡 5. 社会福祉協議会からの連絡 6. 幼稚園、保育園、学校からの連絡 7. その他 ()
2. 主な相談内容は何ですか (あてはまるものに○)	1. 児童福祉 2. 高齢者福祉 3. 障がい者福祉 4. 生活保護 (生活困窮や生活福祉資金含む) 5. ひきこもり・不登校 6. 介護 7. 虐待などの人権問題 8. その他 ()
3. 受けた相談は、主にどの関係機関につなぎましたか (あてはまるものに○)	1. 福祉課 2. こども課 (こども家庭センター含む) 3. 地域包括ケア課 (地域包括ケアセンター含む) 4. 社会福祉協議会 5. 児童相談所 6. 幼稚園、保育園、学校 7. 警察署、消防署 8. 自治会、町内会 9. つないだことはない 10. その他 ()
4. 活動上の悩みや課題は何ですか (あてはまるものに○)	1. 相談にどこまで関わればよいか わからない 2. 地域の理解、協力が ない 3. 行政の支援が不十分 4. 相談先がわからない 5. 制度の仕組みが難しい 6. 問題が複雑(深刻)で1人では 対応できない 7. 対象者に拒否される 8. 対象者の家族の理解、協力が ない 9. 会議や研修が多い 10. 地域行事への参加が多い 11. 多忙で活動がすすまない 12. 特になし 13. その他 ()
5. 活動をしやすい ようになるには、どのような 取り組みが必要だと思いますか (あてはまるものに○)	1. 支援対象者や家族等の理解 2. 近隣住民の理解や協力 3. 地域住民や団体と協力・連携を 図りやすい体制の構築 4. 地域での活動の中心となる人材 の育成 5. 住民の学習機会の充実 6. 民生委員・児童委員の知識の 向上 7. 福祉サービスの向上 8. その他 ()
6. 安心して暮らせる南砺市 をつくるため、市はどのような ことに力を入れるべきだと思 いますか(あてはまるものに○)	1. 生活に関する相談窓口の充実と 情報提供 2. 高齢者への支援 3. 障がい者への支援 4. 子育て支援 5. 福祉人材の育成 6. 民生委員・児童委員の知識の 向上 7. 福祉サービスの向上 8. その他 ()

<p>7. 担当地区に、ひきこもりの方または、ひきこもりの疑いのある方はいますか。 (○はひとつだけ・記載)</p>	<p>1. いる (下の質問に続く) 2. いない (不明を含む)</p>																																								
<p>●本調査におけるひきこもりの定義 ※重度の障がい、疾病、高齢等で外出できない方をのぞく ・社会的参加(仕事・学校、家族以外の人との交流)ができない状態が6か月以上続き、自宅にひきこもっている状態 ・時々買い物など他者と交わらない形で外出することはあるが、それ以外の社会的参加ができない状態</p>																																									
<p>→「1.いる」と回答した方 7-1. 担当地域におけるひきこもりの方、または引きこもりの疑いのある方の人数をお書き下さい。</p>	<p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" data-bbox="448 916 1453 1144"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>合計</th> <th>19歳以下</th> <th>20歳代</th> <th>30歳代</th> <th>40歳代</th> <th>50歳代</th> <th>60歳代</th> <th>70歳代以上</th> <th>年齢不明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	性別	合計	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	年齢不明	男性										女性										合計									
性別	合計	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	年齢不明																																
男性																																									
女性																																									
合計																																									
<p>→「1.いる」と回答した方 7-2. ひきこもり状態の方をどのように知りましたか (○はひとつだけ)</p>	<p>1. 近隣住民からの情報提供や相談 2. 日頃の見守りや安否確認時 3. 当事者や当事者家族からの相談 4. 関係機関からの情報提供 5. その他 ()</p>																																								
<p>→「1.いる」と回答した方 7-3. ひきこもり支援の際に困っていることはありますか (○はひとつだけ)</p>	<p>1. ひきこもりについての知識や支援ノウハウがない 2. 当事者の存在は把握しているが、相談につなげることが難しい 3. 情報提供や相談があっても本人が支援を望んでいない 4. その他 ()</p>																																								
<p>裏面に続く</p>																																									

<p>8. 現在、地域で問題となっていることはありますか。 (自由記載)</p>	
<p>9. 委員活動のなかで感じている課題はありますか。 (自由記載)</p>	
<p>10. 安心して暮らせる南砺市をつくるため、市はどのようなことに注力すべきだと思いますか。 (あてはまるものに○)</p>	<p>1. 近所や地域での支え合いの仕組みづくりの取組 2. 様々な相談サービスの整備 3. ボランティアを増やすような支援 4. 生活が苦しい人が自立した生活を継続できるための支援 5. 在宅福祉を支えるサービスの充実 6. 障がい者福祉の充実 7. 子育て環境の充実 8. 高齢者福祉の充実 9. 要介護状態にならないための予防の取組 10. その他 ()</p>

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、令和7年11月30日(日)までにポストに投函下さい。(郵送でご回答頂いた方は、インターネットでの回答は不要です)